

凡例及び序言

本書は世間にあつては、地理教科書の目録中に更に一の贅物を加へんが、世に公せしには、従來の地理教科書は、多くは普通教育に於ける地理的教料の眞價を發揮せず、従ひて教科中、地理科が最も輕視せられつゝある現状を打破して、少くも地理教授の止むを得ざる革新の機會を與へ、其の眞價を示さんことを期せしものなり。一本書は地理の範圍を嚴密に本邦と外國とに區別するの見解を採らず、世界の地理的舞臺は、悉く邦人活動の範圍たらしめんことを期するものなり。従つて外國地理に於ても、すべて本邦の見地より之れを記述し、ことに域外に於ける邦人活動の有様を審かにせんことを勉め、苟も邦人の居留する所は、多少を論せず、必ず其の數を記入し、又其の主として従事する職業の種類をも説明せり。又材料の排列の如きも、成るべく邦人活動の順序を示すの指針たらしめんことを目的とせし。たとへば南洋諸島を説明するに、一は小笠原島より、今一つはハワイより漸次南に向ふて記載し、又シベリア若くはアメリカ合衆國の記載にも、大平洋沿海地方より始めて漸次内地に進ふしが如し。之れ其の國記載の順序より云へば、或は前後顛倒の場合ある

明治 27
27
内記

凡例及び序言

べしと雖も、之れを我が普通教育の地理書として考ふるときは、必ず當然の順序なればなり。

一 經濟實業の思想を養ひ、兼ねて之れが將來の活動舞臺を知らしむるは、地理科の主要なる目的の一なり。従つて本書全部を通じて最も重きを此の點に置きて材料を撰擇せり。蓋本會の考ふる所によれば、我が國の現状にては、邦人をして域外の自然物資を利用して、致富の策を講せしめんこと、最も急務なればなり。

一 地理科に於て最も必要なるは、個々の地理的現象を孤立的に知らしめずして、自然力と人力との結合の結果として、必然的に起るものたる所以を知らしむるにあり。故に從來無意義の地名物産を羅列せし代りに、多少重複の恐れある場合をも忍びて、自然力人力の關係を知悉せしめんことを期せり。故に本書を一讀するものは、何故にオーストラリア、アルヘンチナに牧羊業の盛大なるや、又何故にベルギー、イギリス、ドイツのサキソニア地方に製造工業盛大なるや、又本邦に輸入する重要原料品、たとへば棉花、米、石油等の如き、其の産地と共に輸入額をも詳にすることを得べし。又欄外に地理學上最も注意すべき關係、又清韓兩國にては其の歴史的關係を特書せしも亦同一の目的に出でたるものなり。

一 從來本邦地理には帝國文化の中心點を明記せず、全國一様に記載するを例とせり。されど本會は少くも帝國の二大中心は、他の一般府縣誌と特立せしむるの必要ありと信するものなり。現に二大中心地の外國貿易額が、帝國全額の七割を占むる事實は、此の地方が帝國に取りて如何程重きを成せるかを證するに足らん。故に本書中本邦の部に於て府縣の初めに特に之を記述することとせり。

一 本書の記事は、國々によりて大に繁簡粗密の度を異にせり。之れ本書が本邦の現在將來に對する關係の多少によりて、材料の取捨撰擇を異にしたるが爲なり。支那朝鮮の如きは、此の趣旨に基きて殊に詳密を加へたり。蓋本會の考ふる所によれば、將來我が中等教育を受けたる人士の常識中には、必ず清韓兩國につき、本書所載以上の知識を有せんことを要するものなり。

一 本書をして特に師範學校の教科用書に適切ならしめんために、本邦の部に於ては各地方毎に其の教育情況の一斑を明示すべき地圖を挿入し、外國の部に於ても次版に於て重要諸國の教育現狀を附記せんとす。又本書挿圖はすべて從來の名所繪的圖畫を廢し、成るべく産業貿易に關係あるものを撰び、殊に重要地區には多くの小地圖を挿みて、直觀的に重要なる地理的關係を明かならしめんことを勉めたり。

以上は本書が従來の地理書と其の撰を異にせる要點なり。本書所載の地名人名の稱呼は概ね明治三十五年文部省調査報告外國人名地名取調一覽に基き更に英語を傍記して對照に便せり。又支那朝鮮の地名も各調査報告の方針に基き開港場其の他人口に膾炙したる名稱にして舊來の字音に異なるものに限りに其の讀み方を傍記せり。又イギリスフランスロシアドイツアメリカ合衆國の如きは之れを英佛露獨及び單に合衆國と略記せる所多し。本書が採用したる圖表統計は明治三十五年發刊の日本帝國第二十一統計年鑑千九百三年政治家年鑑等を主とし又斬新なる報告によりて取捨したる所多し。本書の編纂は草野甚太郎小田内通敏兩氏主として其の任に當り更に本書全體の結構及び材料の取捨撰擇等の如きは本莊太一郎氏の詳密なる批評によれるものとす。又本書の挿地圖及び附圖はすべて秋田兼吉氏の揮毫に成り又本書の挿圖中東京帝國大學理科大學人類學教室其他外國留學又は漫遊の人々より得たるもの少なからず又人類に關する記述は坪井正五郎鳥井龍藏兩氏に負ふ所多し。今特に茲に明記して感謝の意を表す。

明治三十七年一月

地理教授研究會

師範學校
新地理教科書目次 本邦之部

緒 說

地球……………一

方位及び位置……………二

氣候帶……………四

六大洲及び五大洋……………五

總 說

帝國の位置及び四隣……………七

帝國の領土及び國民……………八

帝國の地勢……………一〇

河及び平野……………一三

海岸及び海面……………一五

氣候……………二〇

帝國の區劃……………二二

地方誌

帝國の二大中心地

東京

大阪、京都

關東地方

東京府

神奈川縣

埼玉縣

千葉縣

茨城縣

栃木縣

群馬縣

甲信越地方

山梨縣

長野縣

二三

二三

二三

二七

三一

三三

三五

三六

三七

三九

四一

四三

四四

四五

四六

新潟縣

奥羽地方

福島縣

宮城縣

巖手縣

山形縣

秋田縣

青森縣

北州及び千島

北州

千島

北陸地方

富山縣

石川縣

福井縣

四九

五二

五四

五五

五七

五八

六〇

六一

六三

六四

七二

七三

七五

七六

七七

東海地方

静岡縣

七九

愛知縣

八一

三重縣

八三

岐阜縣

八六

近畿地方

八八

滋賀縣

九〇

京都府

九二

奈良縣

九三

和歌山縣

九五

大阪府

九八

兵庫縣

一〇〇

中國地方

一〇一

岡山縣

一〇三

廣島縣

一〇四

鳥取縣

一〇六

島根縣

一〇九

山口縣

一一〇

四國

一一二

香川縣

一一三

德島縣

一一五

高知縣

一一六

愛媛縣

一一八

九州

一二九

福岡縣

一二一

佐賀縣

一二四

長崎縣

一二五

熊本縣

一二九

大分縣

一三一

宮崎縣

一三二

鹿兒島縣	一三三
琉球及び臺灣	一三五
沖繩縣	一三七
臺灣	一三九
括論	一四六
帝國の天産及び産業	一四六
帝國の交通	一五三
帝國の商業貿易	一五四
帝國の人口	一五六
帝國の教育	一五八
帝國の神社及び宗教	一六〇
帝國の族制及び政體	一六一
帝國の軍備	一六三
(本邦之部終)	

師範學校

新地理教科書

本邦之部

彩色版地圖目錄

世界之地圖	一三
帝國ノ四隣及び國民分布之圖	六七
富士山附近之圖	一一三
東京市	一一四
京都市、大阪市	一二九
交通圖	一五二
陸海軍區劃圖	一六四
官立諸學校所在地并ニ中學校生徒地方別比較圖	以下至終
關東地方教育普及狀況比較圖	以下至終
甲信越地方教育普及狀況比較圖	以下至終
奥羽地方教育普及狀況比較圖	以下至終
北州及千島教育普及狀況比較圖	以下至終
北陸地方教育普及狀況比較圖	以下至終

東海地方教育普及状況比較圖……………以下至終

近畿地方教育普及状況比較圖……………以下至終

中國地方教育普及状況比較圖……………以下至終

四國地方教育普及状況比較圖……………以下至終

九州教育普及状況比較圖……………以下至終

琉球及臺灣教育普及状況比較圖……………以下至終

以上

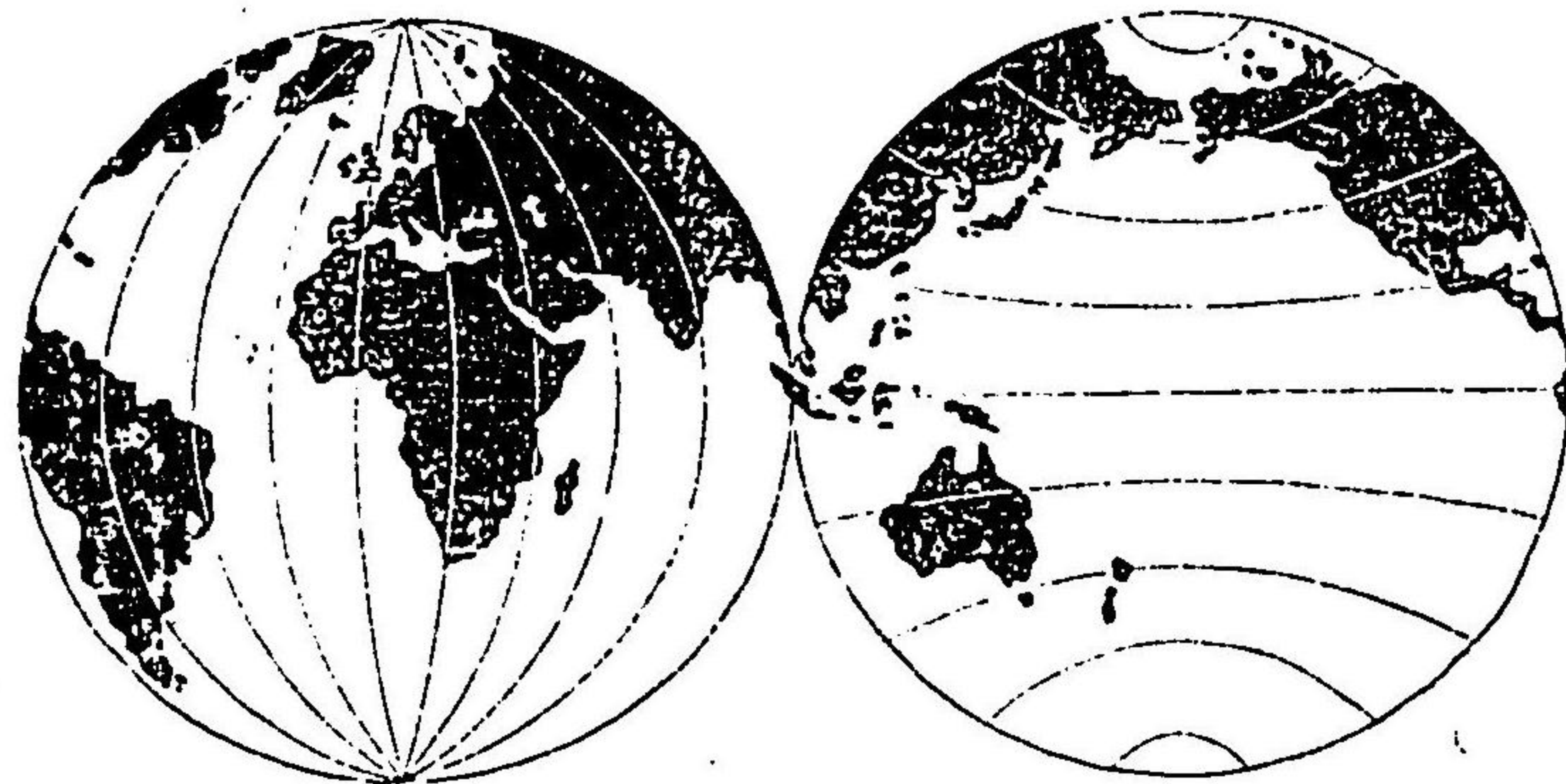
師範學校
新地理教科書
 本邦之部

緒説

地球の形

地球 今吾等は海濱に立ちて、沖なる船を望み見るに、往くものは、船體次第に隠れて、帆柱のみ残り、來るものは、先づ帆柱見え初めて、漸くに船體現るべし。又地球を一周せんには、東に向ひて進むも、西に向ふも、凡そ六週間を経れば、再び出發せる場所に歸り着くことを得べし。これ皆地球の形體の圓きこころの如くなるが故なり。吾等の生活する所は、此の地球の表面なり。

經線經度

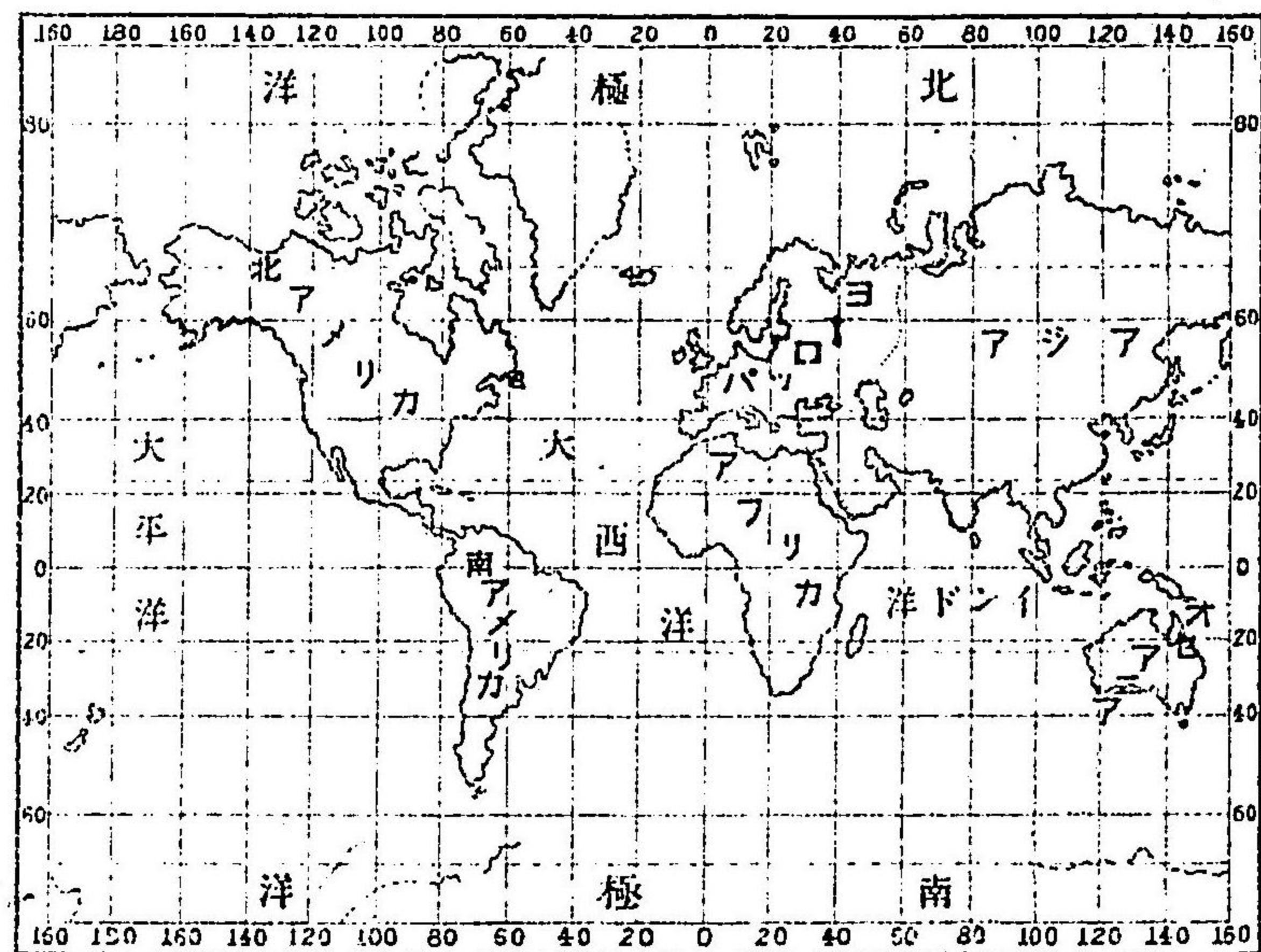
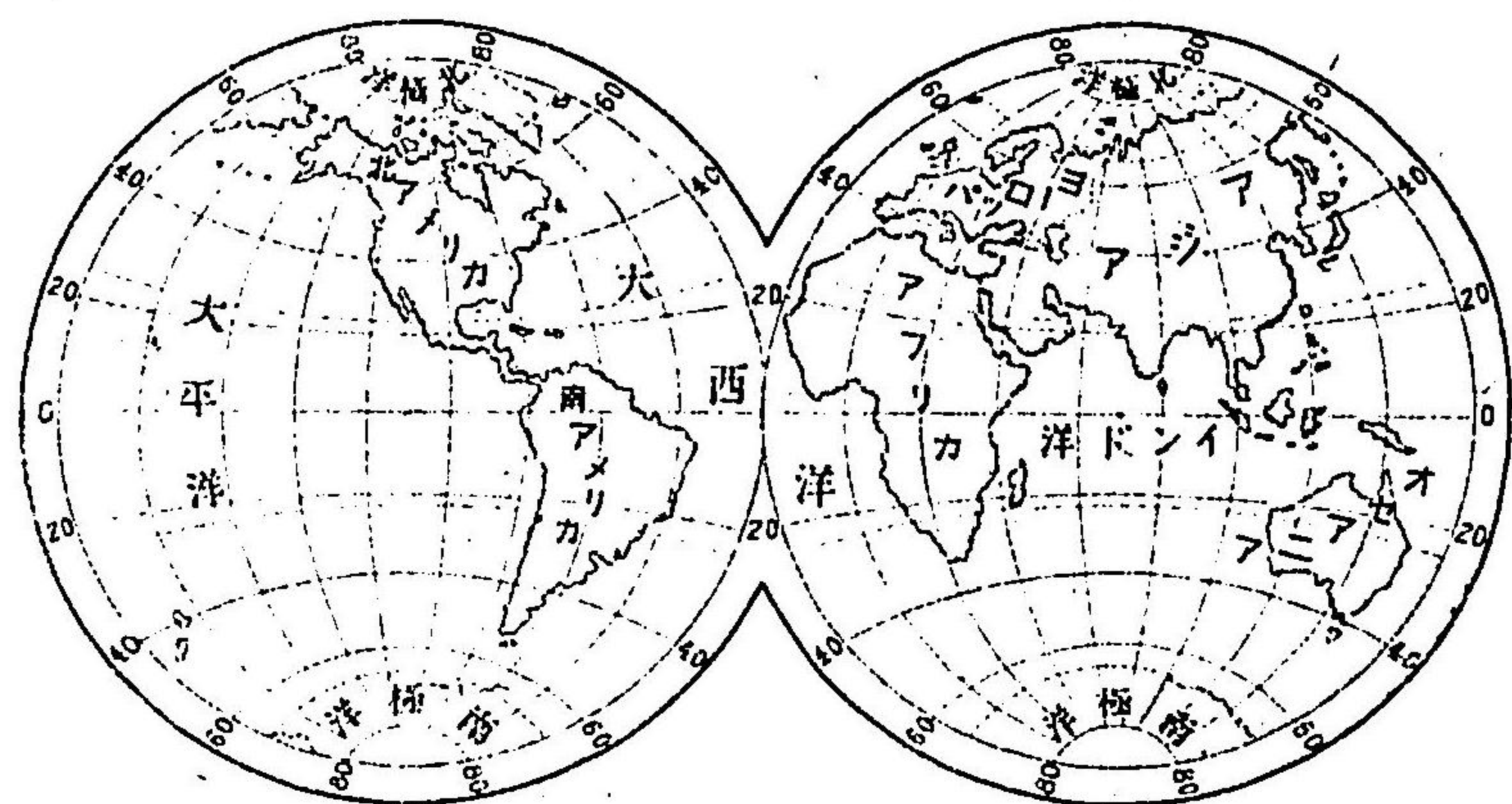


圖の線經

圖の線緯

方位及び位置 地球上の方位を定めんには、先づ地面に眞直なる竿を立て置き、其の影に注意せよ。正午に其の影の指す方は**正北**にして、同時に之れに反する方は**正南**なり。此の南北線に直角に交る線を畫くときは、其の兩端は**東西**を指す。

今地球の表面に正南北線を書き延すと假定するときは、其の北端は地球の北極に達して止まり、其の南端は南極に至つて終るべし。北極・南極の間に畫ける正南北線を経線と稱す。地球の表面を三百六十に等分する經線を書くときは、其の一部を一經度と云ふ。



緯線

赤道

緯度

本初子午線

經線と直角に交りて、地面を東西に一周する圈線を緯線と稱す。兩極よりの中間にあたる最大の緯線を赤道と云ふ。赤道の南北を各九十に等分する緯線を畫くと假定するときは、其の一部を一緯度と稱す。

故に經度は基線即ち本初子午線と定めたるものを零度として、これより東西に百八十度まで數へて、東經又は西經何度と云ひ、緯度は赤道を零度とし、これより南北に九十度まで數へて、北緯又は南緯何度と云ふ。之れによりて地面上のあらゆる位置を定む。

現今帝國にて本初子午線と定まれるは、イギリス國グリニチ天文臺を通過する經線なり。

帝國の位置

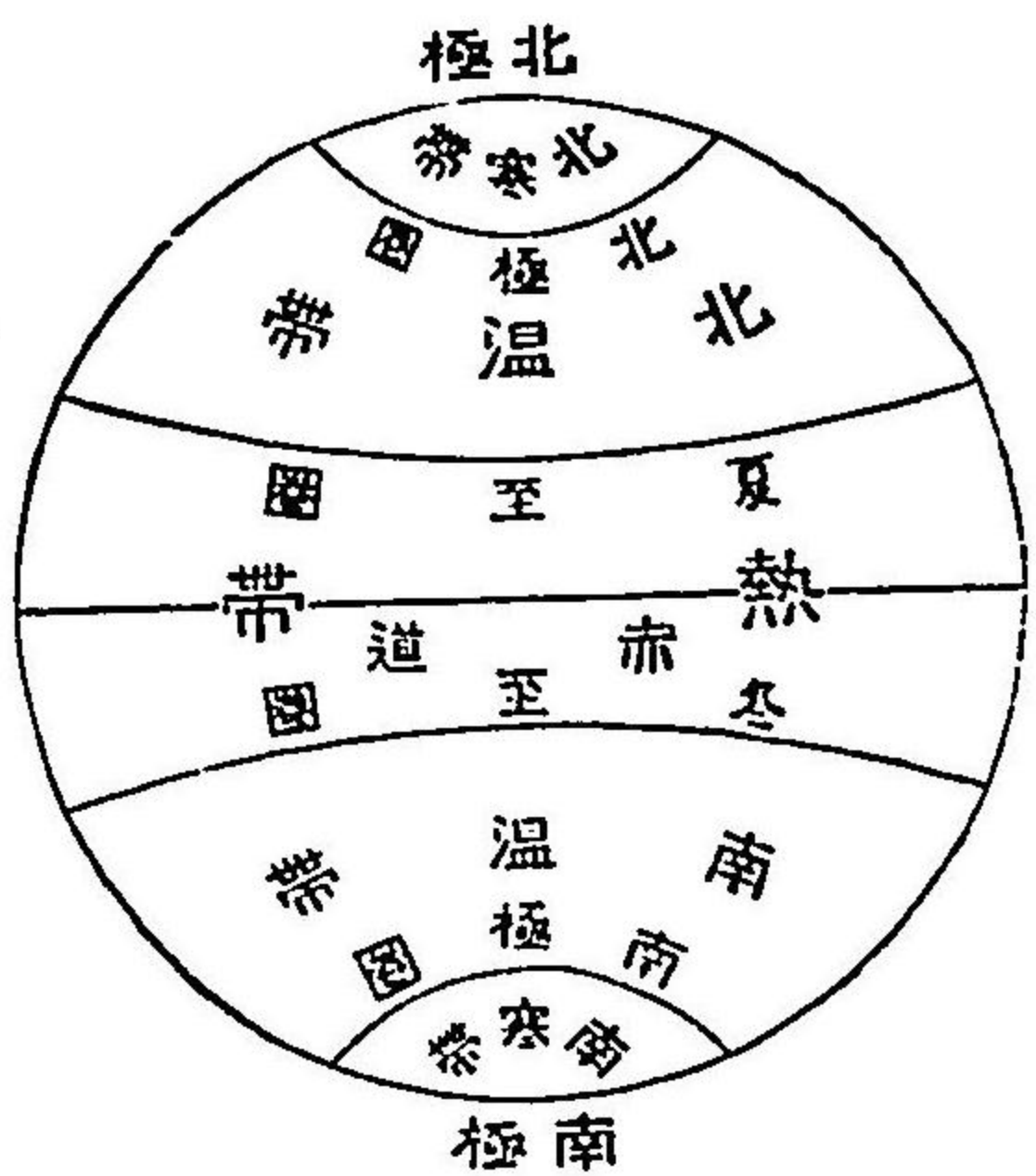
北端 千島アライト島 北緯 五一度 南端 臺灣南岬 北緯 二二度

東端 千島^{シムシュ}占守島 東經 一五六度 西端 澎湖^{ホウコ}列島 東經 一一九度
 經緯度を以て地面上の位置を最も精密に測定するには更に度を六十に分ちて分とし、分を六十に分ちて秒とし、何度何分何秒と稱す。例へば東京天文臺は北緯三十五度三十九分十六秒、東經百三十九度四十四分三十秒の位置に在るが如し。

氣候帶 赤道と平行して畫ける緯度圏中、重要なもの四あり。夏至圏・冬至圏・北極圏・南極圏之れなり。

夏至圏とは北半球の夏至に、太陽を其の圏線の眞上に見るを以て云ひ、冬至圏とは冬至に、太陽を其の圏線の眞上に見るを以て云ふ。又太陽を夏至線の眞上に仰ぐときは、其の光線の及ぶ所は、南半球にては南極圏を限り、其の以南は全く暗黒なり。之に反して太陽を冬至線の眞上に仰ぐときは、其の光線は北極圏以北に達せず。これによりて氣候上地球に五帶の別を生ず。

北半球の夏至は六月廿一日頃、冬至は十二月廿一日頃なり。



五帶の圖
 夏至北極圏 緯度三十三度半
 北緯線 緯度三十三度
 赤道 緯度零度
 南緯線 緯度三十三度
 冬至南極圏 緯度三十三度半

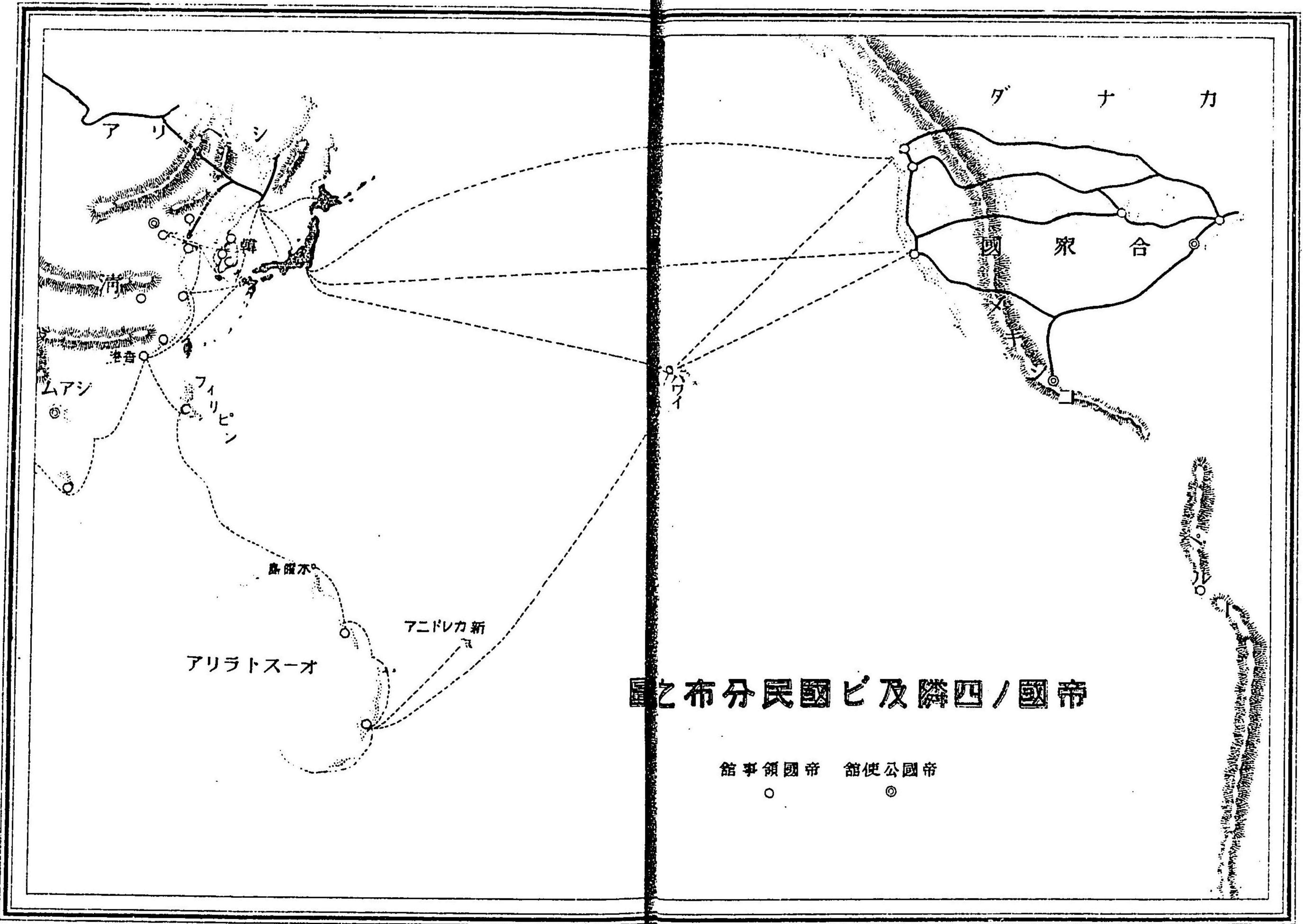
熱帶 夏至・冬至兩圏の間に在る地方にして、年中氣候炎熱なり。我が臺灣の南部は熱帶に屬す。
温帶 南北兩帶あり。夏至圏と北極圏との間にある地方は北温帶にして、冬至圏と南極圏との間

にある地方は南温帶なり。氣候は寒暖中を得て最も人類の發達に適す。帝國の大部分は北温帶にあり。

寒帶 南北兩帶あり。即ち南極圏又は北極圏を以て限れる兩極地方なり。氣候寒くして年中氷雪絶えず。

六大洲及び五大洋 地球の表面は水・陸二部に分れ、陸面は水面の三分一に過ぎず。陸地は吾等の生活する所にして、水面は吾等の最も便利なる交通路なり。陸地をアジア(亞洲)・

ヨーロッパ(歐洲)・北アメリカ(北米)・南アメリカ(南米)・オセアニア(大洋洲)・アフリカの六大洲に分ち、水面を大平洋・印度洋・大西洋・南極洋・北極洋の五大洋に分つ。水陸の相交る部分には、半島・岬・港・灣海などありて、水陸交通の要路に當るもの多し。アジア洲は大洲中の最も大なるものにして、大部は北温帯にあり。アジアの島帝國なる本邦の外、東部に清(支那)・韓(朝鮮)、北部にロシア領シベリア、南部にシム(暹羅)等の諸國あり。大平洋は大洋中の最も大なるものにして、アジア・アメリカ兩大洲の間に在りて、南部にはオーストラリア(濠洲)及び大洋洲の島々散布す。帝國民に取りては最も重要なる海洋にして、其の水の打ち寄する島々、及び沿海の諸地方には、帝國民の移住せる所多し。それ等の土地と帝國との間には、概ね定期航海の便ありて、往來最も容易なり。



アリ

シ

南

ムアジ

フィリピン

島羅

アリラトスーオ

アンドレカ新

カ ナ ダ

合衆國

帝國四隣及比國分佈之圖

帝國領事館 帝國公使館

○

◎

帝國の北
西にシベ
リア朝鮮
あり

總説

帝國の位置及び四隣 我が大日本帝國はアジア大陸の東岸に懸れる一鏈の島嶼にして、其の北東より南西に向ひて、千二百餘里の間に連れる大小許多の島嶼は、大陸に向ひて彎曲し、自ら三箇の弓狀をなす、北弓の千島は大陸との間にオホーツク海を抱き、中弓をなせる北州、本州、四國は日本海を隔て、シベリア及び朝鮮と相對す。朝鮮は我れに最も近き國にして、其の釜山は本州の西端下關よりの航程僅かに十時間に過ぎず。此の國在留の帝國民は二萬以上あり。又シベリアにも帝國民の住居するもの四千餘人あり。其の海

帝國の西に清國あり

南にフィリピン群島濠洲あり

東に北米大陸及びハワイあり

港ウラチボストクは日本海岸の敦賀又は七尾より四十時間にして達すべし
 東海を擁して南弓を成せる九州琉球及び臺灣は清國と相對す。其の南清地方は臺灣に最も近く、十九時間の航海にて達すべし。帝國民の清國に在留するもの四千餘人あり。臺灣の南バシー海峽を隔て、フリピン群島あり。帝國民千人以上居住す。其の遙か南方に位する濠洲にも亦三千人の帝國民あり。又我が國の東には大平洋上二週間の航程を隔て、北米大陸あり。其の合衆國及びカナダには、帝國民の移住者殊に多く、合衆國の属島ハワイに在るものを合すれば、其の數九萬を超ゆ。帝國の四隣に位する以上の諸國は、何れも我れと重要な關係を有す。

帝國の領土及び國民 帝國の領土は本州・四國・九州・北州

帝國の五大島

帝國民を成せる諸民族

臺灣の五大島と四百有餘の小島とより成る。本州・四國・九州の三大島及び附近の島嶼は、文化夙に開け、人口最も密なり。古之れを大八洲と總稱せり。北方の大島北州は古、蝦夷が島と稱し、之れに屬する千島と共に、人口粗にして土地未だ開けず。九州の南にある臺灣及びこれに屬する澎湖列島は、帝國の領土となりし以來、日尙ほ淺きを以て、未だ全く我が邦の文化に浴せず。以上の諸島嶼を合すれば、全領土の面積二萬七千方里あり。
 帝國民は萬世一系の天皇を奉戴し、東洋無比の強大國を成せる大和民族を主とし、北州に住居するアイヌ族、南清地方より移住せる支那人の子孫たる臺灣人、及び臺灣土着の蕃人にして、領内の人口四千七百萬に及び、更に海外各地に移住せるもの亦十二萬人あり。而して人口と面積との割合は

一方里に一千七百三十五人に當る。

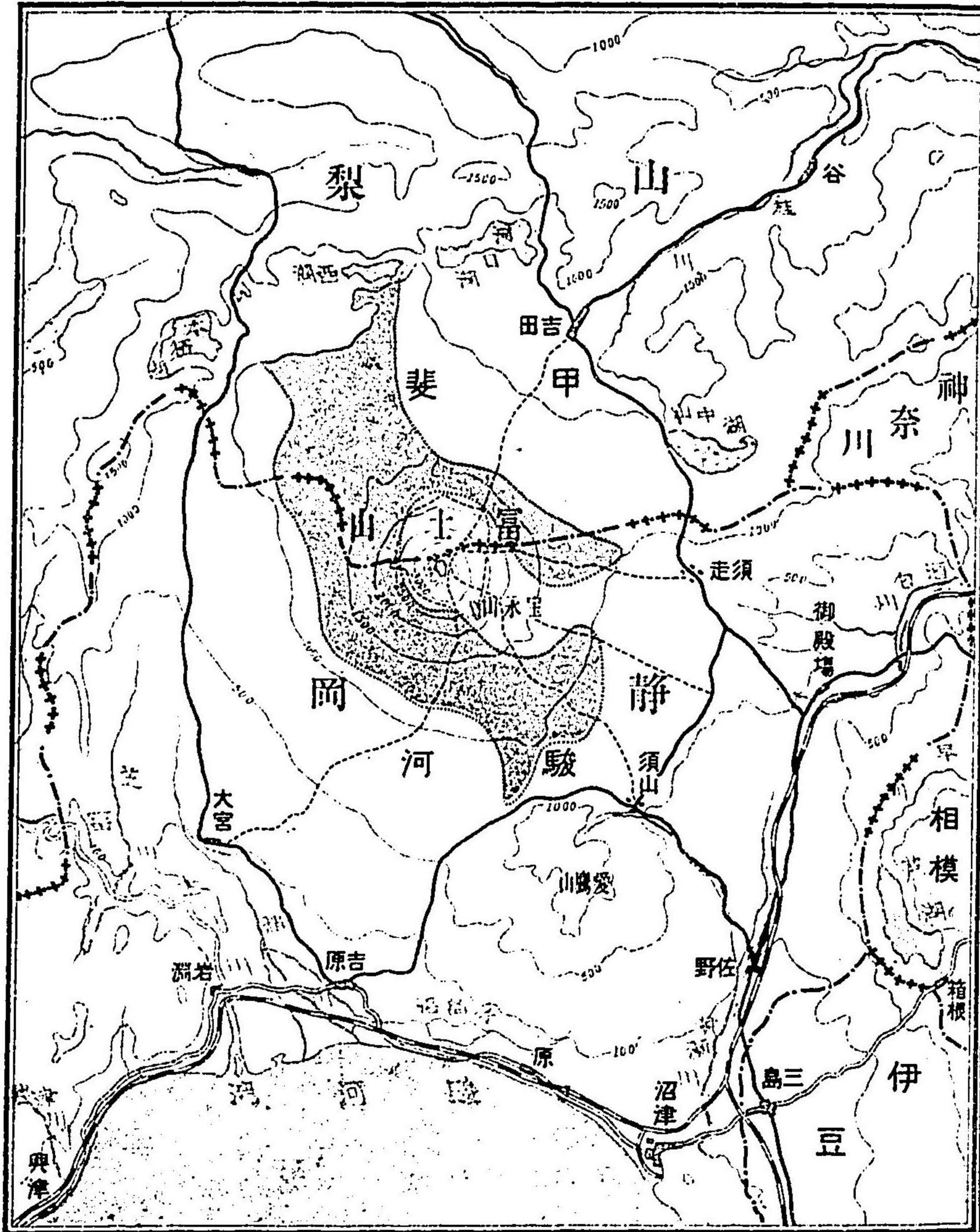
地勢は氣
候産業等
に影響す

帝國の地勢 帝國の地勢を支配する所の主要なる山脈は樺太、崑崙の二大山系及び富士、千島、霧島の三火山脈なり。樺太山系はシベリアの樺太島に起り、北州にては其の北端より稍南東に走り、東北山脈、日高山脈となりて海に没す。本州に入りては太平洋岸に沿ひて南走し、鐵礦多き北上山脈となりて一たび海に没し、さらに丘陵狀なる阿武隈山脈を起し、それより關東平野の西方を限れる關東山脈となる。北上、阿武隈兩山脈と并走して、本州の中央を貫くものを中央分水山脈とす。其の脈中に那須火山脈に屬する諸火山あり。中央分水山脈の西方には、更に、銀銅に富める岩木火山脈ありて、これと并走すれども、屢、河道に斷たれて、連續せる山脈を成さず。此等の山脈あるに由り、北州中部及び本州東北

部は、山地多くして寒氣強し。千島火山脈はシベリアのカムチャツカ半島より來りて南西の方向に進み、千島列島を貫きて北州に入り、同島の中央部に於て樺太山系に交る。

崑崙山系は支那の崑崙山系より其の脈を延き來りて、南西より北東の方向に走る。其の中央部に阿蘇火山脈、瀬戸内海あるにより、分れて内外二帶の山脈となる。外帶山脈は九州にて九州南部山脈を起し、四國に入りて四國山脈となり、本州に入りて重厚なる紀伊山脈を起し、更に渥美半島に現はれ、高峻なる赤石山脈となりて、本州中央部に達す。内帶山脈は九州北部に石炭多き筑紫山脈を起し、本州に入りて砂鐵に富める中國山脈となり、東進して本州中部に濃飛高原を起す。此等の諸山脈あるが爲め、外帶の南面には雨多くして樹木繁茂し、内帶の北面にも亦雨雪多し。之れに反

富士山附近之圖



高さは米突にて示す(一米突は三尺三寸なり)

尺本日 尺之一分万十四 尺突米

- | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|---|---|-----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 凡例 | 火口 | 高距離 | 川 | 湖 | 森林帯 | 國境 | 縣界 | 登山道 | 國道 | 鐵道 | 都邑 | 村落 |
|----|----|-----|---|---|-----|----|----|-----|----|----|----|----|

して其の中間の瀬戸内海は雨少くして製鹽に適す。霧島火山脈は九州南部山脈に接する霧島の活火山を其の主峯とし、其の脈琉球諸島を貫きて臺灣に達す。樺太・崑崙二大山系の會合する本州中央部には、秀麗全國に冠たる富士山屹立す。富士火山脈は其の南北に通ずる大火山脈にして、其の脈南は太平洋に入りて豆南諸島・硫黃島を貫き、遠く南洋諸島に達す。

北日本
南日本

富士火山脈により帝國を二大部に分つ。樺太山系に屬する地方を北日本と稱し、崑崙山系に屬する部分を南日本と稱す。千島は北日本の北東に、琉球は南日本の南西に連る。臺灣は地勢上自ら別區をなす。臺灣山系東に偏して本島を南北に貫き、其の殆ど中央部に帝國の最高地點たる新高山(二萬四千尺餘あり)西部の地方は田野開け人口密なれども、

富士山は規模宏大なる休火山にして、裾野は遠く延きて萱野をなし、次第に木立となり、頂上に近ければ一面の焼野となる、頂上には圓形の火口ありて、八個の峯巒其の周圍に聳え、西方の劍ヶ峯最も高くして、海面上一萬二千四百尺に達す。山頂の温度は年中最高を七度とし、最低を零下三十三度とす。十月に至れば降雪あり。山麓には山中河口等の富士八湖あり。夏季登山するもの多く、道を須走、須山、大宮、吉田等に取、山中に一宿するを常とす。

川の沿岸には産業發達し都會起る

東部は人跡未だ到らざる深林多し。

河及び平野 帝國の全長千二百里を超ゆれども、其の幅は最も廣き所にて僅に百里に過ぎず。而して之れを貫ける數條の山脈多くは嶮はしければ、地勢は自ら海岸に向ひて急斜面をなす。從ひて河流は概ね急なり。されど山脈に沿ひ、若くは平野を緩流して、國中の大河を成せるものあり。大會は大抵其の沿岸に發達せり。

本州の主要なる河は大平洋に注ぐものには、關東平野を流る、利根川を第一とす。東京・前橋・水戸・宇都宮等の都會は此の平野にあり。東北には北上・阿武隈の大河あり。此の二大流域地の中間に仙臺あり。本州中部には木曾川あり。地味最も肥沃なる濃尾平野を灌漑す。其の流域には名古屋・岐阜の都會あり。日本内海に注ぐ淀川は利根川に次げる主要

の河にして、琵琶湖より發し畿内の平野を貫流す。川口には大阪あり。其の支流の流域には京都あり。信濃川は日本海に注ぐ最大の河にして、其の上流犀川、千曲川は善光寺平に會し、下流は越後の平野を灌漑す。長野・新潟は其の流域内にあり。

北州の大河は石狩川にして其の貫流する石狩の平野は北州中、田野最もよく開けたり。其の流域に札幌、旭川の新都會あり。

四國の大河吉野川は其の流域四國山脈に沿ひて東西に長し。川口附近に徳島あり。

九州の大河を筑後川とす。其の沿岸地に佐賀、久留米あり。

北日本

樺太山系に屬す

南日本

崑崙山系に屬す

大河大平野多し

北方に至れば未開の地多く人口粗なり

大河大平野に乏し

文化夙に開け人口密なり

東京を文化の中心とす

大阪・京都を文化の中心とす

海岸及び海面

帝國の海岸線は全長七千五百里に達し、面積三方里半毎に海岸線一里の割合に當り、世界中最も海岸線に富める國の一なり。されば海運の便殊に宜しく、又沿海には寒暖の海流ありて、水産に富むを以て漁業の利最も大なり。

大平洋沿岸

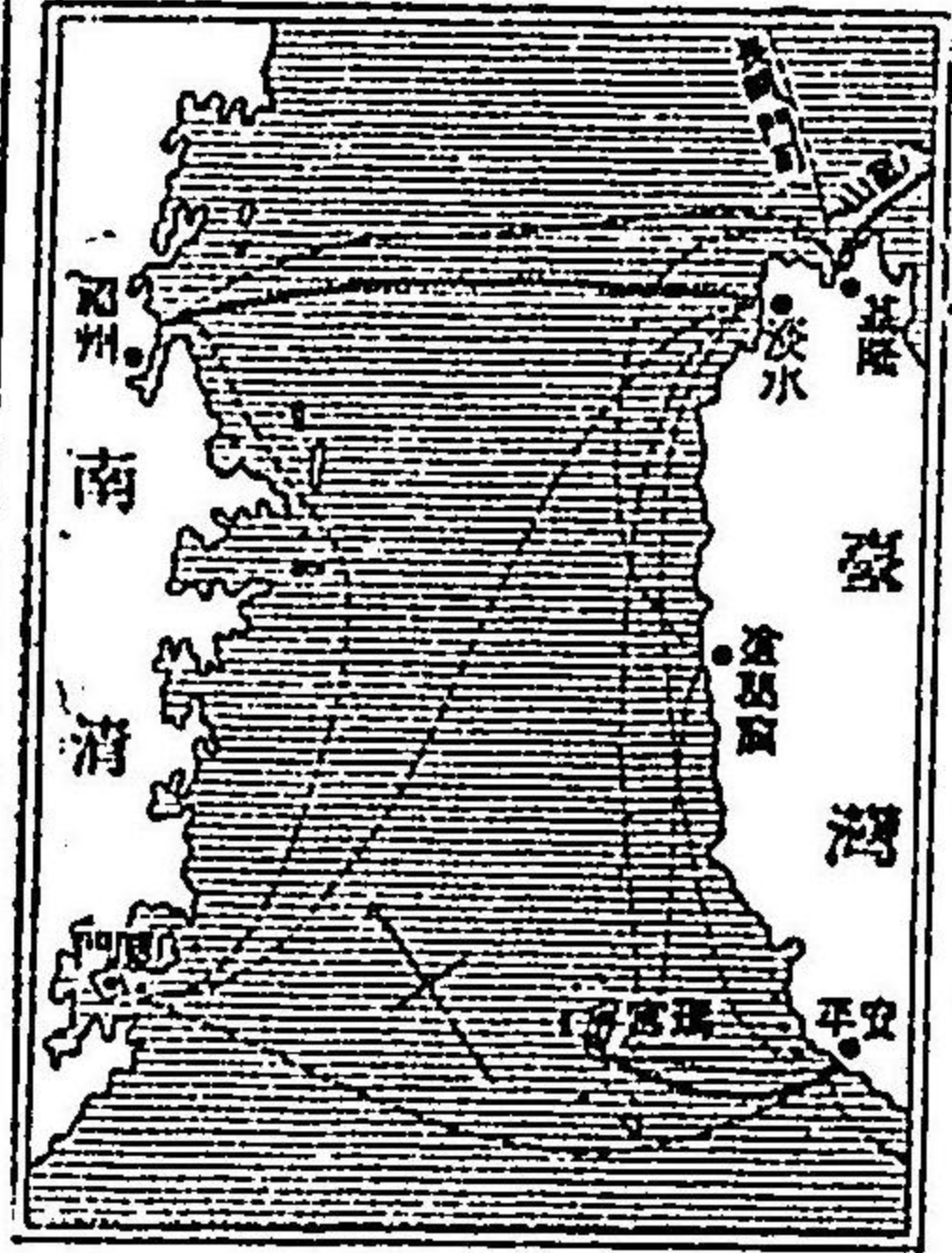
北州の南東岸には出入甚だ多からず。襟裳岬南に突出し、厚岸、内浦の二灣北に凹入す。内浦灣口に室蘭港あり。本州東岸は北上山脈に平行する部に小灣多く、皆險崖なり。中部及び南部は概ね砂濱にして、南部の砂丘殊に高し。沿岸の著き出入は牡鹿半島、仙臺灣及び犬吠岬とす。良

海岸及び海面は航運漁業の影に響す

港には唯萩濱あるのみ。寒流親潮千島海流は千島の東に沿ひて南下し、牡鹿半島附近に至るまでの沿岸を洗ひ、昆布・臘虎・臘肭獸等の海産物多し。親潮の對馬海流の支流に會する海上には霧多く、北州及び本州北部沿岸の燈臺には、霧笛を設くるものあり。本州南岸は房總伊豆紀伊の大半島あり。險崖を爲す。東京灣・駿河灣・伊勢海の沿岸は低くして、水亦深からず。港は横濱を推し、四日市清水之れに次ぐ。横濱より四日市に至る間の海面に有名なる遠州灘あり。四國の南岸及び九州の東岸は水淺く、良港に乏し。土佐灣を擁する室戸岬・蹉跎岬附近は暗礁多し。鹿兒島灣に櫻島を控へたる良港鹿兒島あり。臺灣の東岸は山岳水際より起りて、多くは險崖をなす。暖流黑潮(日本海流)は、フィリピン附近より北流し、臺灣の東岸を洗ひて北東に進み、琉球の西部にて對馬海

流を分ち、九州・四國及び本州の南岸を洗ひて東流し、犬吠岬に至りて漸く帝國の海面を離る。此の海流の流るゝ一帯の海面は鯉・鰯の好漁場なり。

日本内海沿岸 四國・九州・本州間の一大内海は即ち日本内海にして、由良・鳴門・下關・豊後の四海峽にて外洋に通ず。其の淡路島以東を大阪灣とし、以西を有名なる瀬戸内海とす。瀬戸内海には半島島嶼殊に多く、山光水色相映じて風景絶佳なり。沿岸には尾道・高松等の良港多し。

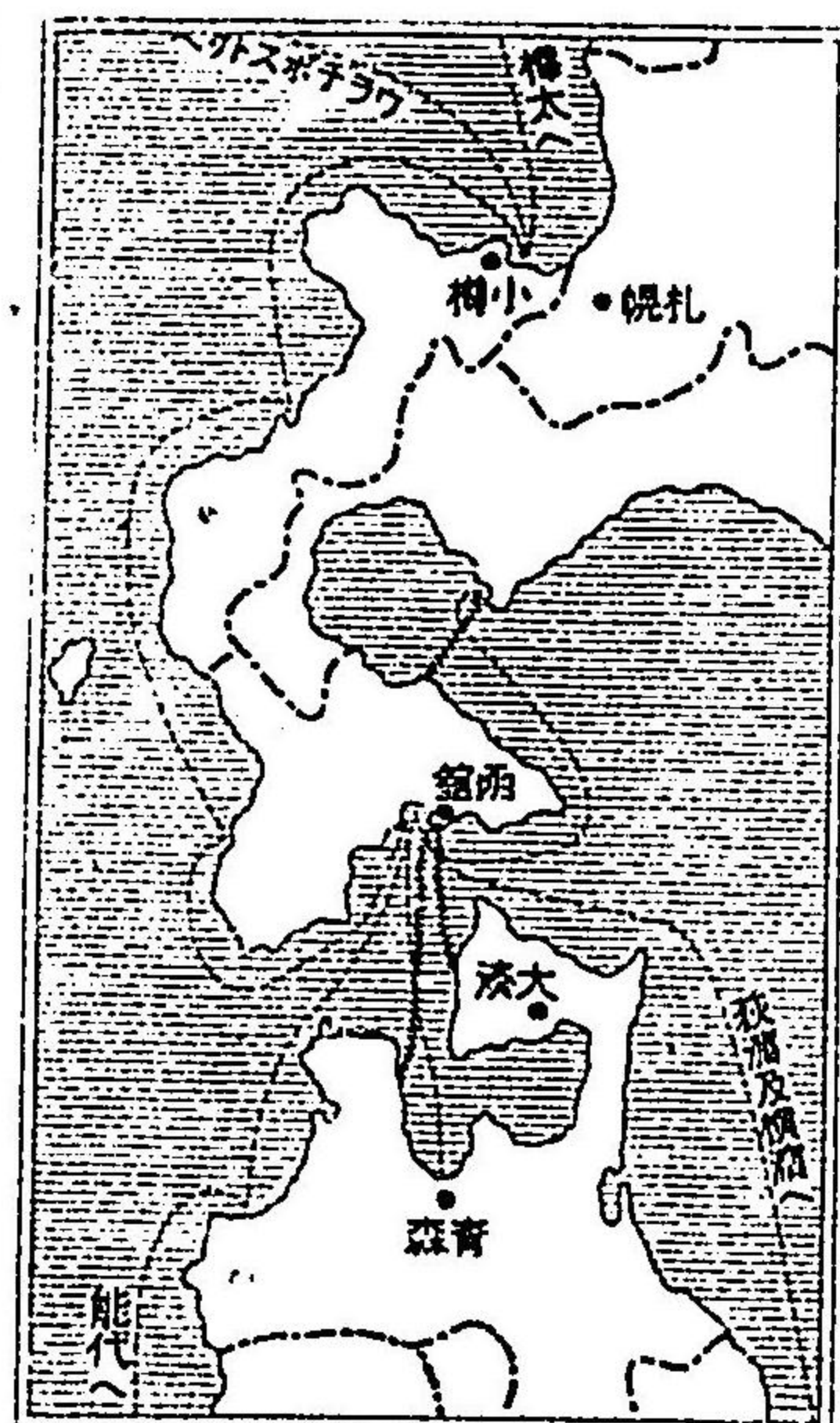


臺灣海峽の圖

東海沿岸 九州の西岸は瀬戸内海に似て、半島島嶼多し。港は長崎を主とし、三角・口津これに次ぐ。臺灣の西岸は砂丘多く、川口に砂洲あれども、港の利用すべきもの多し。淡水・安平は南清

地方に對する良港にして、其の間に定期航海あり。澎湖列島は臺灣と南清地方との間にありて、東海の南門たる臺灣海峡を扼す。

日本海沿岸 北州の沿岸は概ね砂濱にして、大なる出入なし。積丹半島の北方に石狩灣、南方に岩内灣あり。小樽港は石狩平野の門口に當りて、樺太及びウラヂボストクに定期の航海あり。北州・本州間の津輕海峡は、日本海の東門にし

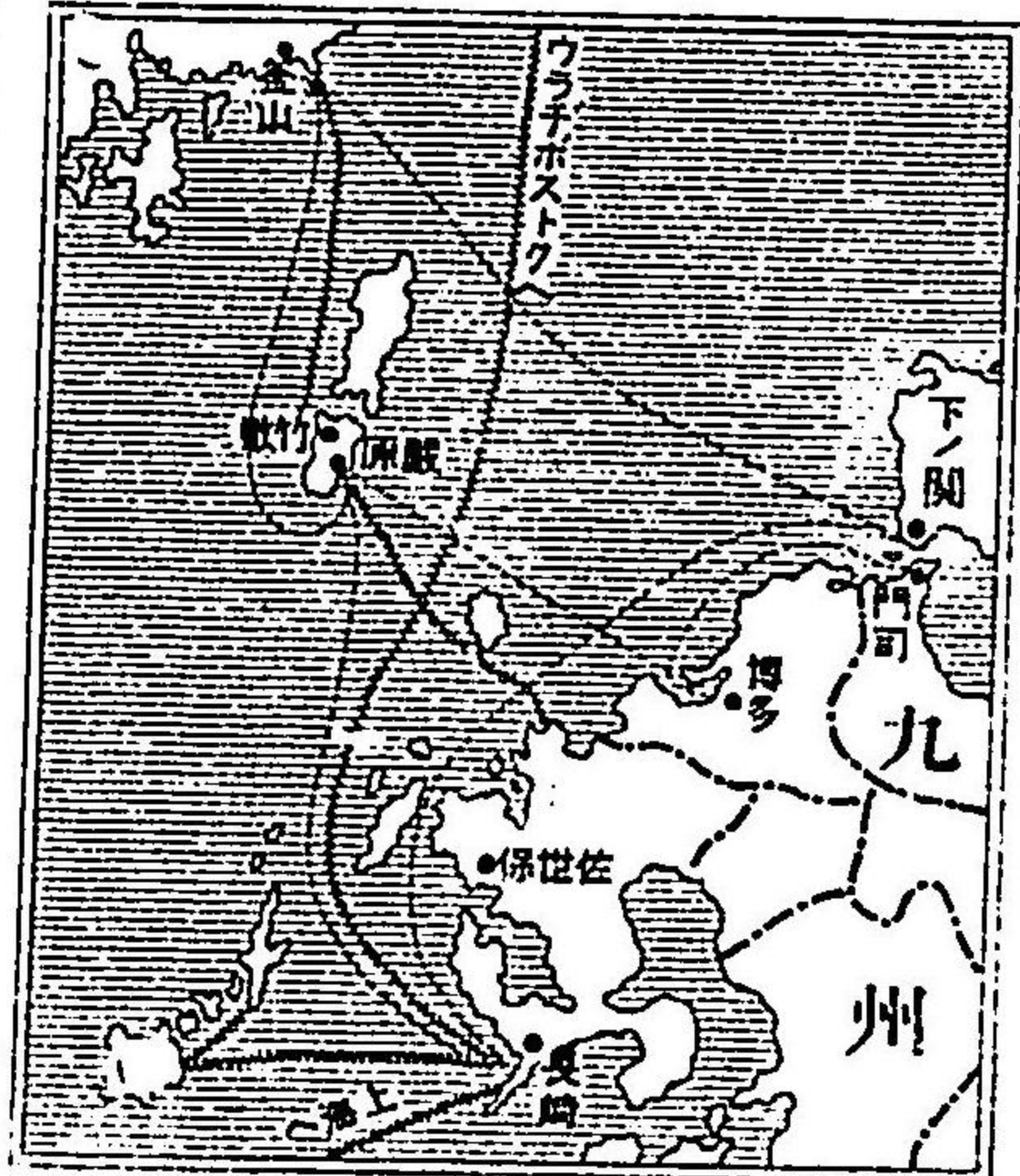


津輕海峡の圖

て、其の北岸に函館港あり。又其の南の陸奥灣には大湊あり。本州の北西岸には男鹿能登島根の三半島と富山灣・七尾灣・若狹灣の外著き岬灣なし。其の東部は砂濱多く、西部は概ね險崖な

り。日本海上は冬季北西風強くして波荒けれど、夷・七尾・敦賀・境等の港あり。

九州の北岸は日本海沿岸中港灣及び島嶼の最も多き部分とす。其の海面は有名なる玄海灘にして、博多灣を除けば險崖多し。壹岐對馬の兩島は九州と朝鮮との間に横はる。對馬東岸に嚴原あり。淺茅浦に臨める竹敷は日本海南門の要港



朝鮮海峡の圖

なり。對馬海流は支那東海より對馬海峡を経て、日本海に入り、本州及び北州の沿岸を洗ひ、津輕海峡・宗谷海峡を出で、其の跡を失ふ。鳥賊は此の海流の名産なり。又北州一帯の沿海には鯨・鮭・鱈多し。

オホーツク海沿岸 北州沿岸は概

ね低く、出入極めて少なし。冬季は宗谷海峡ソウヤの外は概ね氷結す。此の海面の東を限れる千島列島には二三の良港あり。帝國の全海岸を大陸に面する方と、大洋に面する方とに分てば、雙方の間に著しき差異あり。但し九州及び臺灣は兩岸の關係全く相反す。

大洋面

海岸の出入及び島嶼多し

傾き緩にして交通便なり

人口密にして大都會多し

大陸面

海岸の出入及び島嶼少し

傾き急にして交通不便なり

人口粗にして大都會少し

氣候

帝國は海國なるを以て、略、同緯度に當れる大陸の朝鮮及び北清地方に比すれば、氣候溫和にして夏冬の温差少し。雖も、土地南北に延び、地勢複雑なるが上に、アジア大陸及び寒暖海流の影響を受くる事亦少なからざるを以て、

各地の温度に大差あり。東京灣伊勢海并びに日本内海の附近は、寒暖中を得て、夏冬の温差最も少き地方とす。風位は夏季に於ては南東風多く、大洋面各地の雨量を多からしめ、植物の生育盛んなり。冬季は北西風多く、大陸面の各地に深雪を見る。唯北州の南東岸及び奥羽の東岸は、寒流に洗はれて雨量少し。而して此の風位の交替期は、降雨殊に多く、六月は梅雨久しきに亙り、初秋の颶風は往々大雨を伴ふ。熱帯に近き琉球・小笠原島及び臺灣の平地は、年中降雪なく、植物の成長四時止む時なし。

東京の温度 一月二、七 七月二四、三 全年平均一三、八

全年平均温度 最高地 恒春 二四、五
最低地 釧路 四、七

寒暑の極端 最高地 臺南 三六、九
最低地 上川 一三、八、三

帝國の區劃 帝國現時の行政區劃は、全國を一道廳・三府・四十三縣に分ち、其の下に郡・市・區・町・村あり。臺灣は別に總督府を置き、其の下に二十廳を置く。又山河の形勢に基きて、全國を八十五國とし、更に之れを畿内八道に大別する舊區劃あり。畿内とは古帝都の地たりし京都附近の地方をいひ、夫より東の方大平洋沿岸地方を東海道とし、北の方日本海に臨める地方を北陸道とす。東海・北陸兩道の間にある本州中央の山地は、本州の北端に至るまで、之れを東山道といふ。中國山脈の南北を山陽道及び山陰道とし、畿内の南に當れる紀伊半島及び四國・淡路の二島を南海道と云ひ、又九州及び琉球を西海道と名け、北州及び千島を北海道と名けたり。本書は府縣の行政區劃を基とし、舊區劃を參酌して、全國を十一地方に大別す。

地方誌

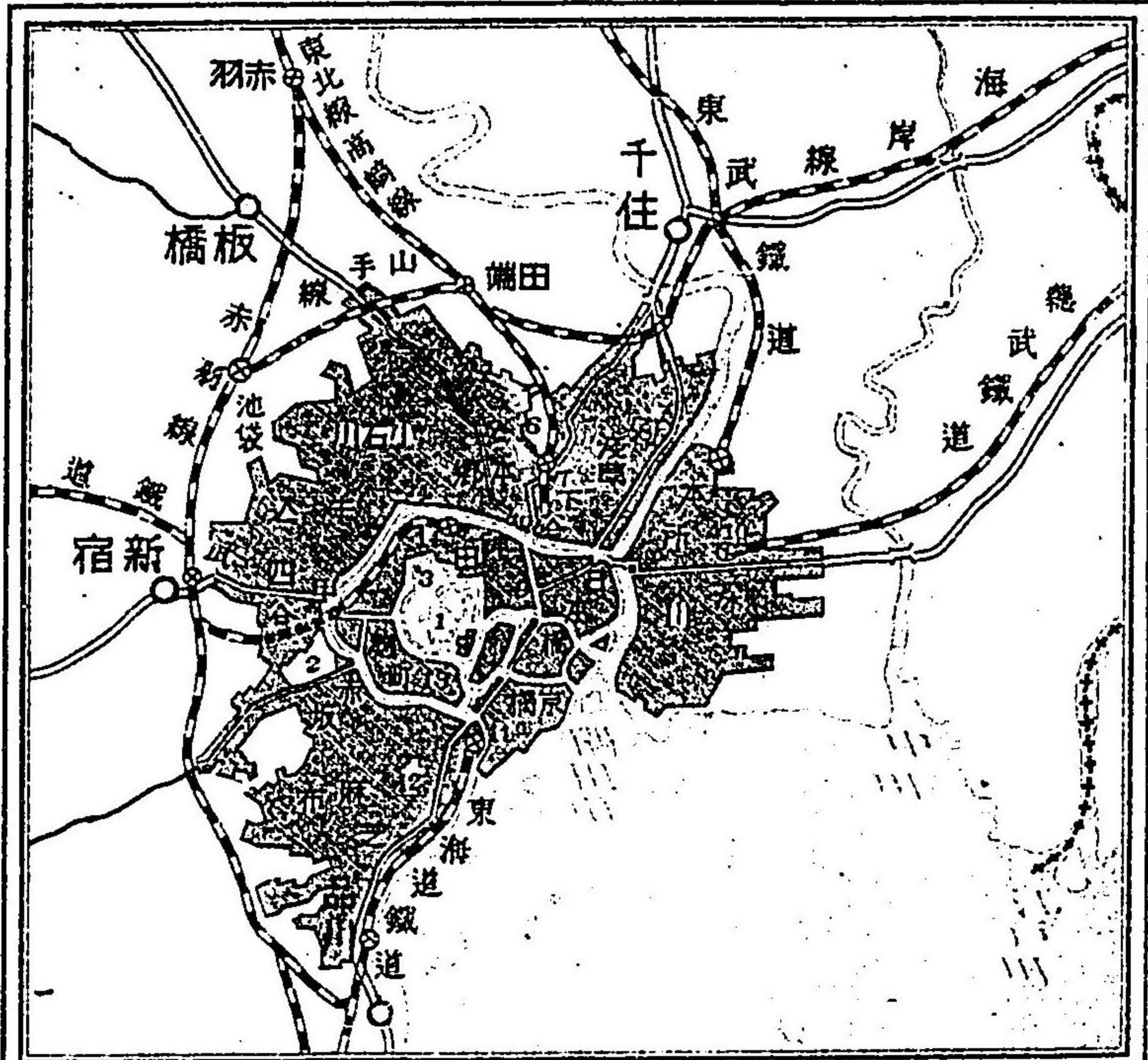
帝國の二大中心地

關東及び畿内の平野は、帝國文化の二大中心地にして、古より帝國の首府は、此の兩平野の一に在るを常とせり。現今帝國の三府及び二大開港場は其の域内に在り。

東京 關東平野の南部に位し、隅田川に跨り、東京灣に臨む。東西三里、南北四里、人口百四十四萬あり。市街は十五區に分れ、南東の低地を下町と云ひ、北西の高地を山手と云ふ。下町は商工業繁盛の地區にして、山手は貴族富豪の邸宅多し。此の地はもと江戸と稱し、徳川家康の幕府を開きしより、二百六十年間政治の中心たりしが、明治の初年其の名を現稱に改め、次で、皇居を茲に遷し給ひしより、全國の首府となれ

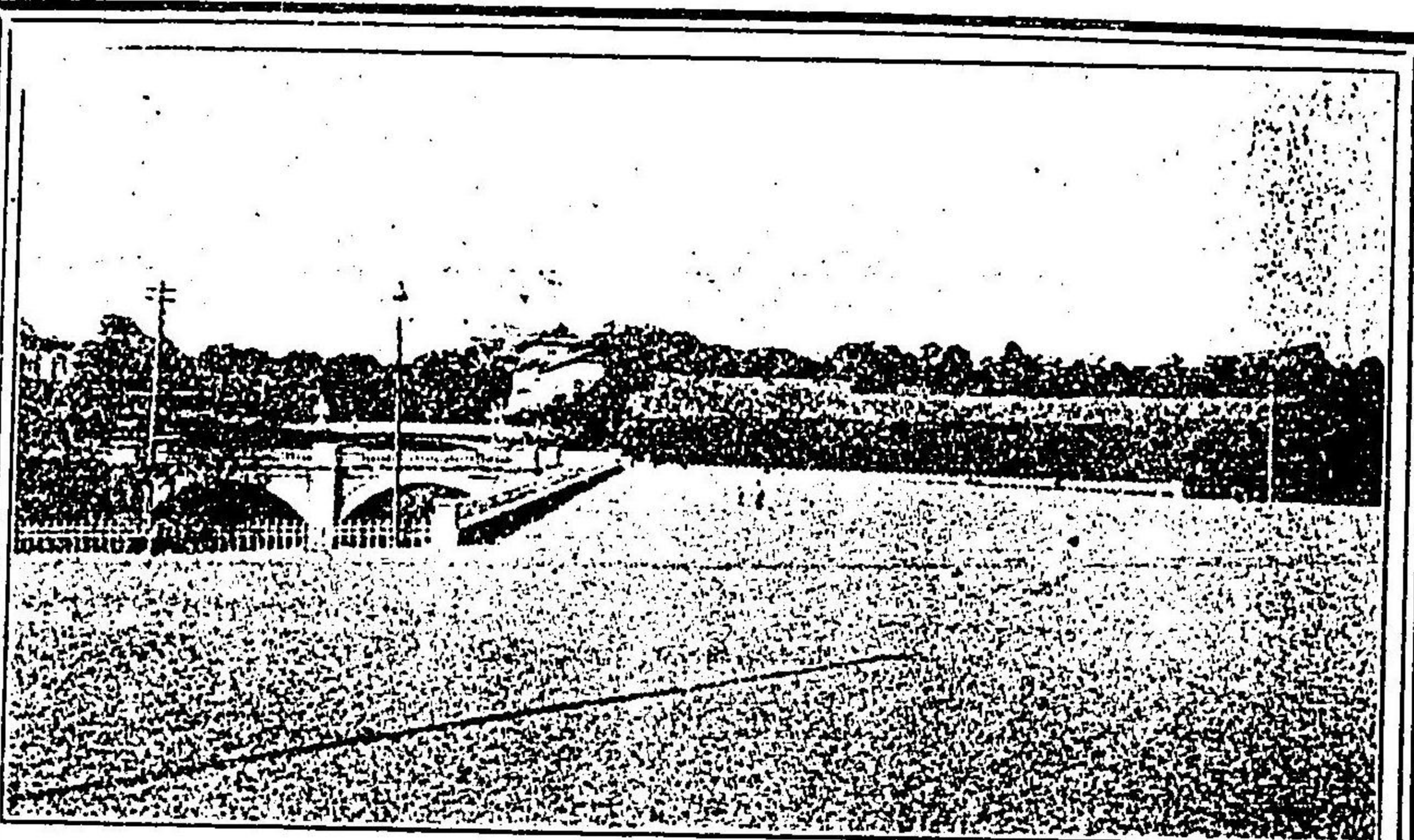
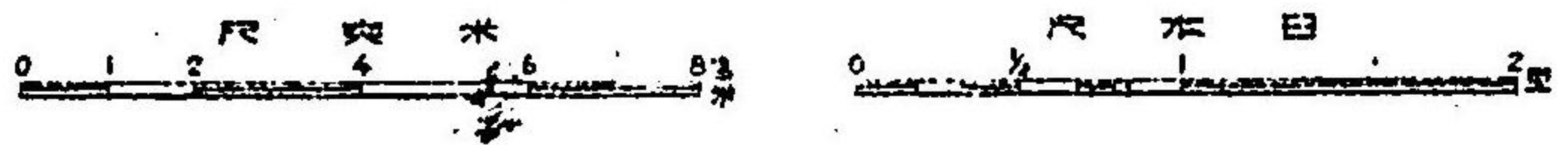
政治は都
會繁榮の
一原因な
り

東京市



- 1 宮城
- 2 東宮御所
- 3 近衛師團司令部
- 4 砲兵工廠
- 5 東京帝國大學
- 6 上野公園
- 7 上野停車場
- 8 淡草公園
- 9 日本銀行
- 10 本所停車場
- 11 新橋停車場
- 12 芝公園
- 13 帝國議會議事堂
- 14 飯田町停車場

尺之一分万十二

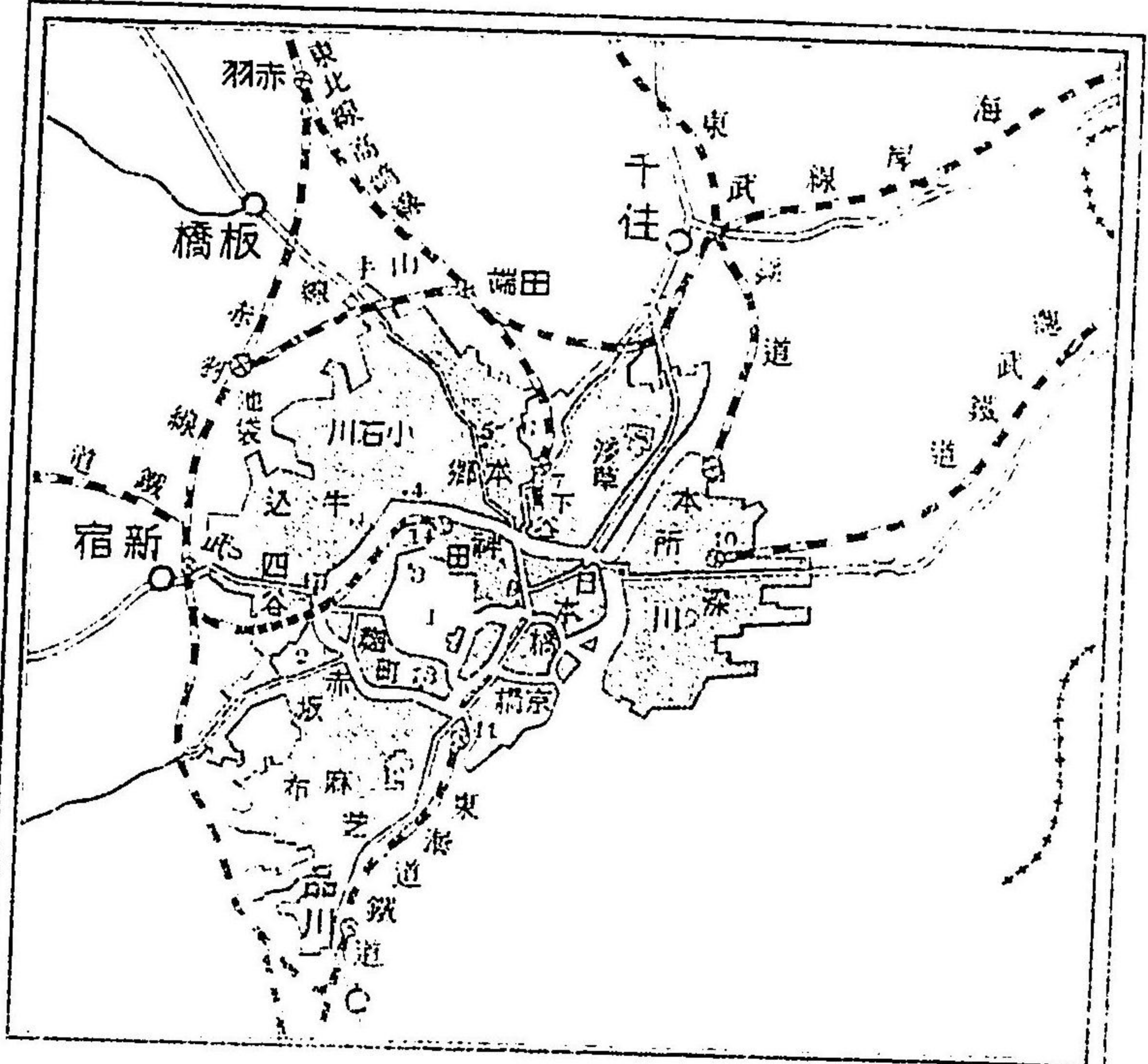


宮城の圖

右方に宮城の一端に現はれば左方に正門二重橋見ゆ

宮城は市の中央に位す。其の附近には近衛師團ありて禁闕を警衛し、又中央政府の諸官省ありて、全國の政務を統轄す。東京帝國大學、東京高等師範學校、其の外高等専門の諸學校亦茲にありて、帝國教育學術の中心となり、學生の數五萬に及ぶ。近時東洋諸國より來り學ぶもの亦漸く多し。其の他市内に第一師團司令部、陸海軍大學校、帝國圖書館、帝室博物館、動物園等あり。又宮城の北西に靖國神社あり。公園は上野、淺草、芝等其の

東京市



- 1 宮 城
- 2 東宮御所
- 3 近衛團司令部
- 4 砲兵工廠
- 5 東京帝國大學
- 6 上野公園
- 7 上野停車場
- 8 浅草公園
- 9 日本銀行
- 10 本所停車場
- 11 新橋停車場
- 12 三 六 園
- 13 常陸會社事務所
- 14 飯田町停車場

尺之一分万十二



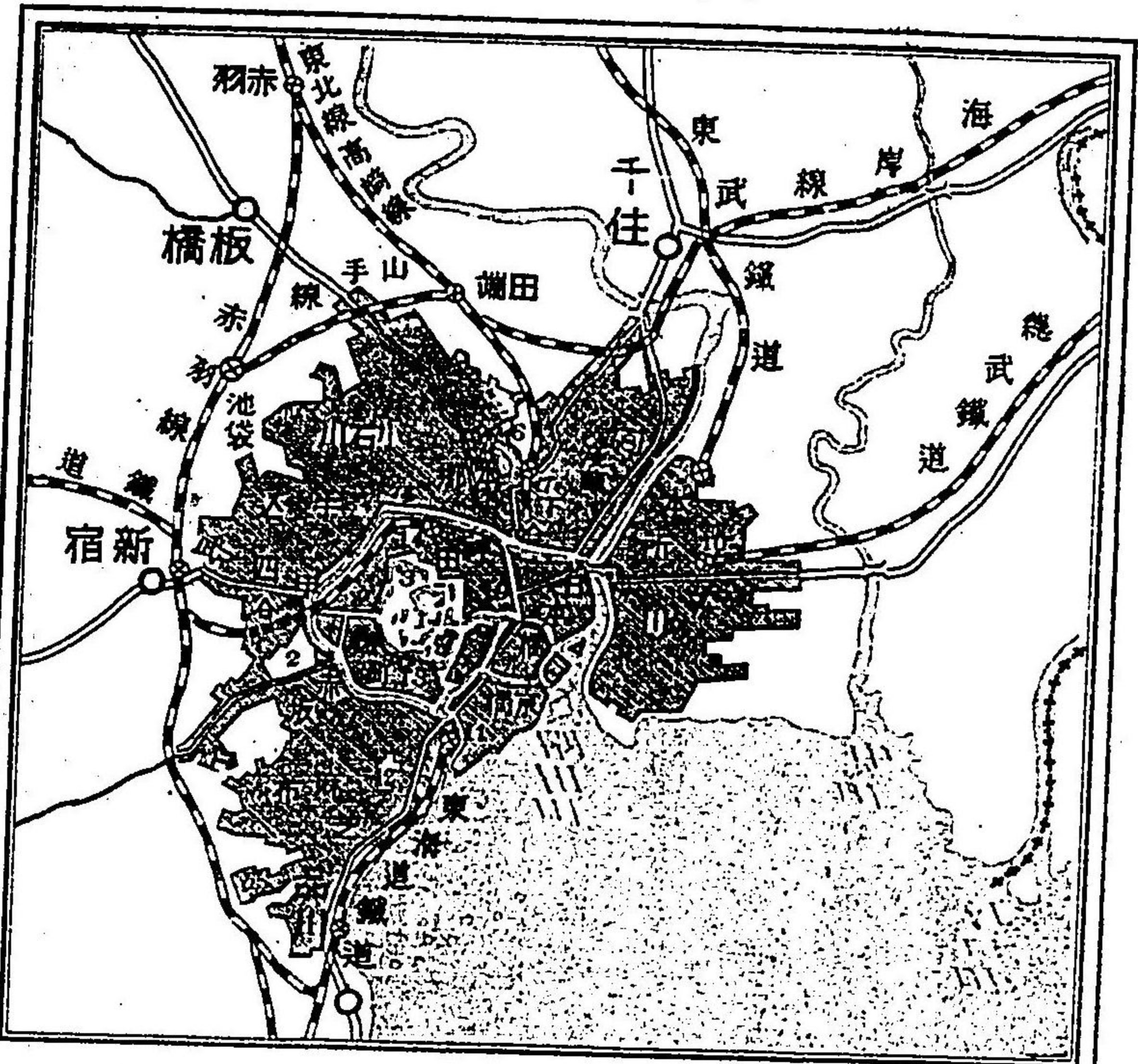
田端停車場の圖

右當は北の線中本所より上野へ、左は山手線中本所より上野へ

名最も著はる

東京を中心とし四方に通ずる道路は、西に東海道・中仙道・甲州街道あり、北に奥州街道・濱街道あり、鐵道亦概ね此等の街道に沿うて敷設せらる。新橋より發する東海道鐵道線は東海道に沿ひ、名古屋を経て畿内地方に達す。甲武鐵道は飯田町より起り、甲州街道に沿ひて官設中央東線と連絡す。上野を以て結ぶる日本鐵道線は進むに従ひ、中仙道に沿ひ、官設信越線と連絡する。中道線、奥州街道に沿ひ、東北地方に通ずる。東北線、濱街道に沿ひ、同地方に通ずる。海岸線之れなり。又總武鐵道は本所より發して關東平野の東部

東京市



- 1 宮 城
- 2 東宮御所
- 3 近衛團司令部
- 4 砲兵工廠
- 5 東京帝國大學
- 6 上野公園
- 7 上野停車場
- 8 淺草公園
- 9 日本銀行
- 10 本所停車場
- 11 新橋停車場
- 12 芝公園
- 13 帝國議會議事堂
- 14 飯田町停車場

尺之一分万十二

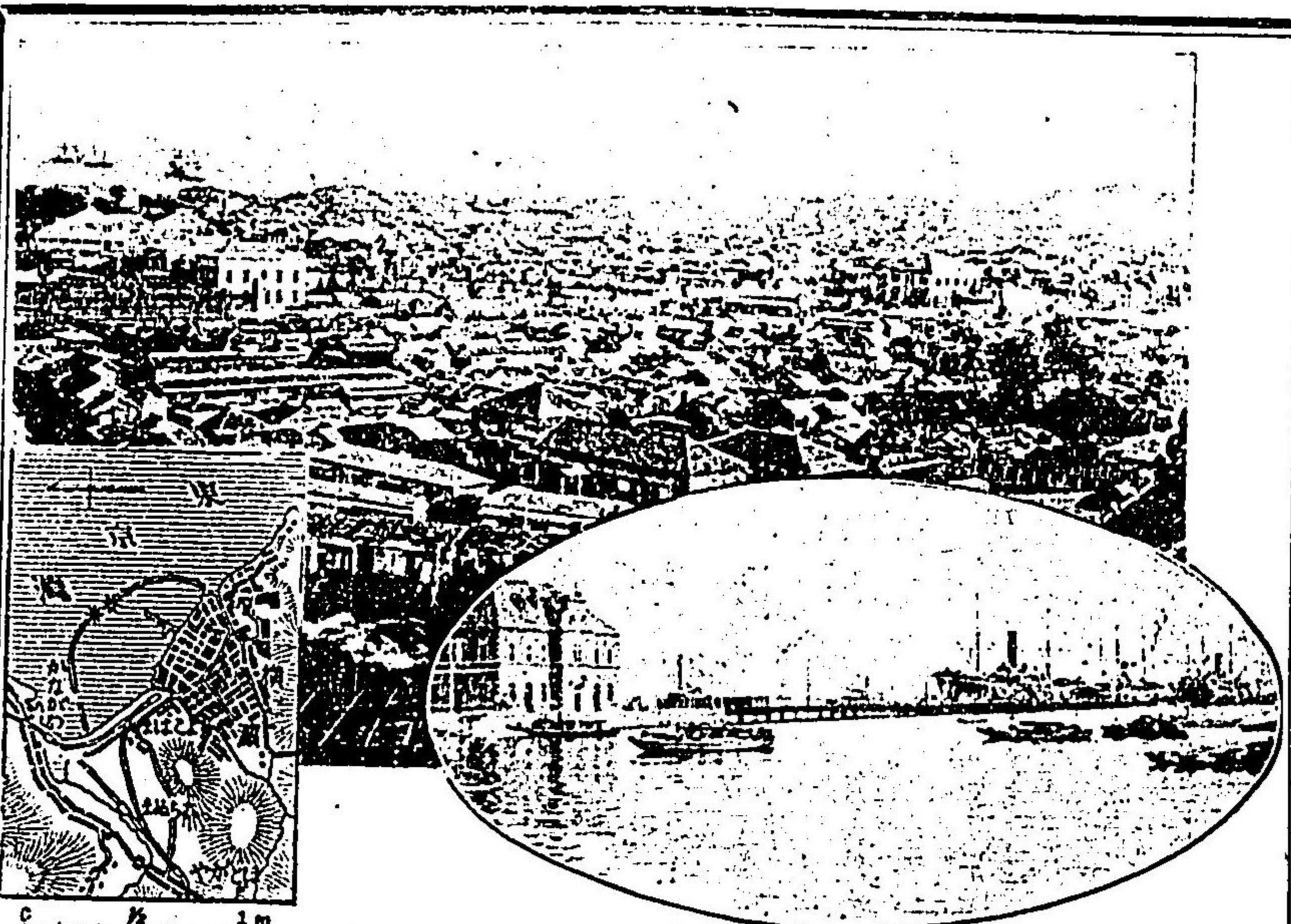


田端停車場の圖

日本東道北線と海岸線と山手線との分岐點にして野上停車場の北に當る

名最も著はる。

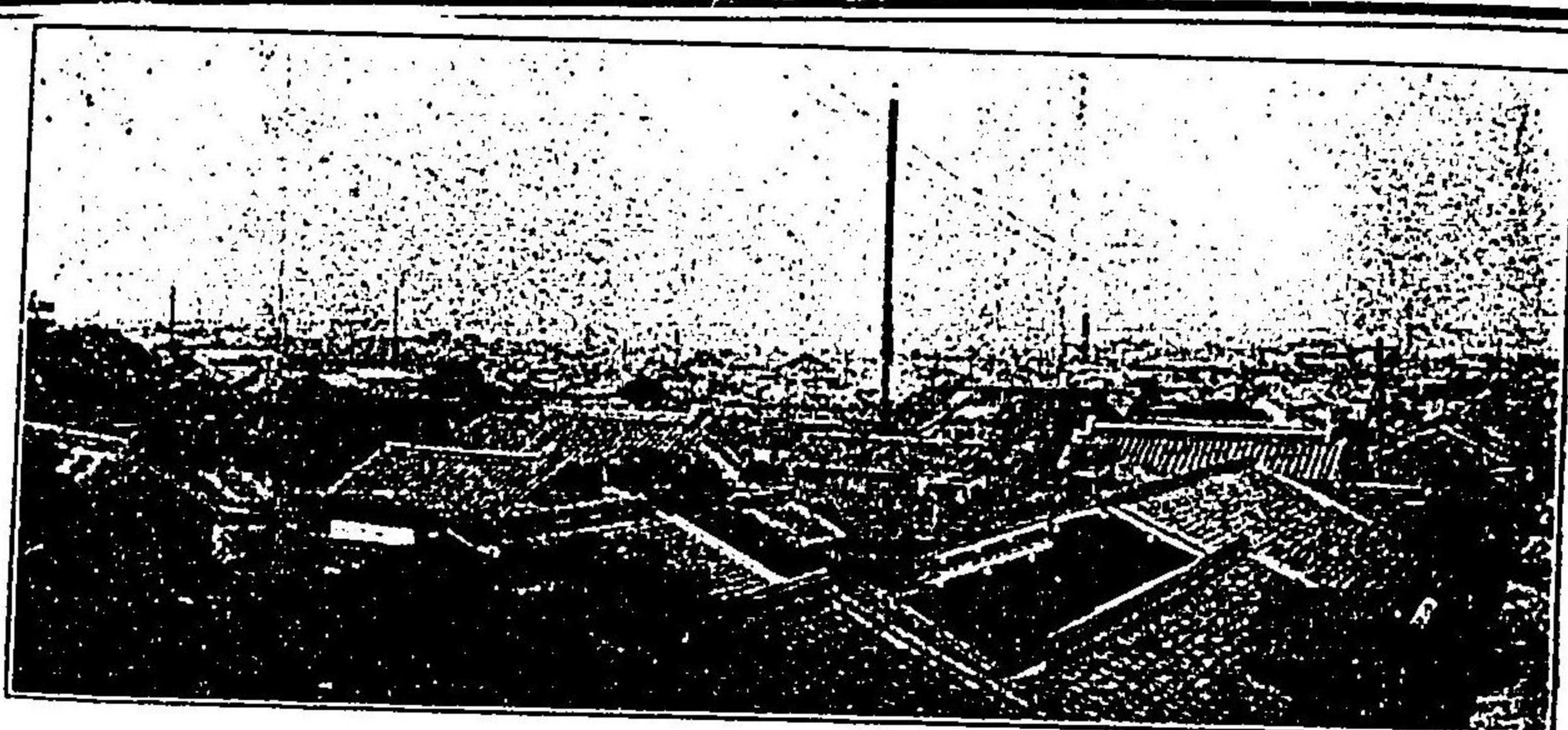
東京を中心とし四方に通ずる道路は、西に東海道、中仙道、甲州街道あり。北に奥州街道、濱街道あり。鐵道亦概ね此等の街道に沿うて敷設せらる。新橋より發する東海道鐵道線は東海道に沿ひ、名古屋を経て畿内地方に達す。甲武鐵道は飯田町より起り、甲州街道に沿ひて。官設中央東線と連絡す。上野を起點とする日本鐵道線は進むに従ひて三線に分る。中仙道に沿ひ官設信越線と連絡する。中仙道線、奥州街道に沿ひて東北地方に通ずる。東北線、濱街道に沿ひて同地方に通ずる。海岸線之れなり。又總武鐵道は本所より發して關東平野の東部



圖の關稅及び橋棧港濱横 圖の街市濱横

に通ず。海運は品川・横濱と相俟ちて内外諸港との交通盛なり。東京は以上の交通區域に對する物貨の大集散地なり。されば商工業の機關たる銀行會社の數は日本銀行を主とし、八百有餘あり。工業は印刷局砲兵工廠海軍造兵廠等の官設工場を初めとし、綿絲摺付木西洋紙麥酒時計羅紗等の製造盛なり。殊に鐵製諸器械・出版・印刷業・醫術理化學の器械製作は帝國第一に居る。

横濱 東京の輸出入口にして



圖之市阪大

よせ意注にき多の突烟中圖む望を街市りよ社神津高

其の南方汽車一時間程に位す。もこ一漁村に過ぎざりしが、開港以來年々繁榮を加へ、今は本邦第一の貿易港となり、人口二十萬以上に達す。日本郵船會社、東洋汽船會社を初めとし、歐米諸汽船會社の支店あり。内外諸港に至る定期の航海絶えず。生絲・絹織物・銅茶等を輸出し、綿羊毛・綿絲・金巾・メリンス・砂糖・鐵・石油等を輸入す。

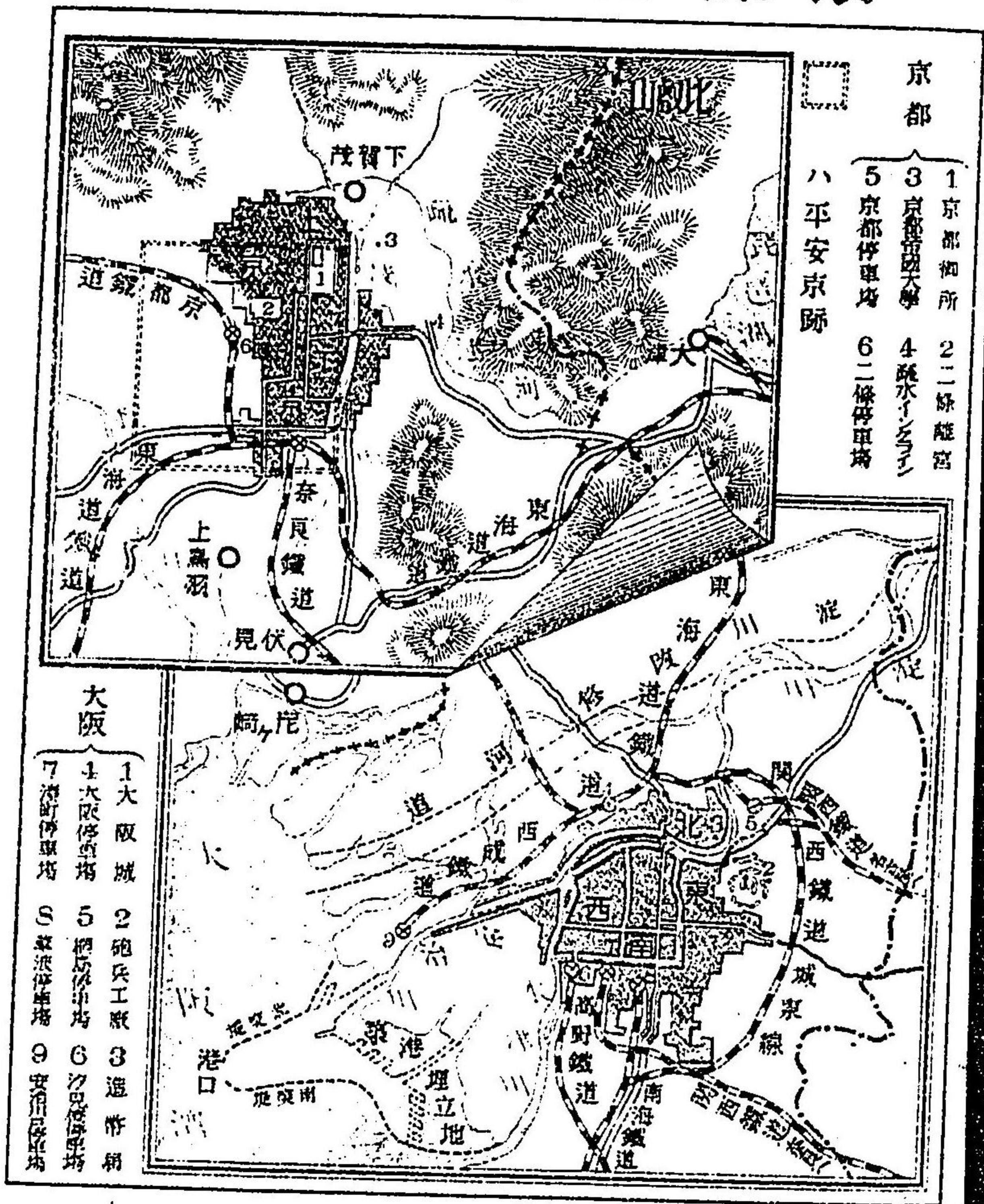
大阪 畿内平野を貫流する淀川の三角洲に位し、大阪灣に臨む。帝國第二の都會にして、人口八十二萬あり。市街は四區に分れ、溝渠縱横に通じて運漕最も便なり。此地はもこ仁徳天皇の都し給ひし浪速津に

して、中頃豊臣秀吉の築城以來繁榮日に増し、今は帝國隨一の商工業地となれり。市内に第四師團司令部、控訴院、大阪高等工業學校あり。

東海道鐵道線は梅田を過ぎて神戸に至り、東京・神戸間を連絡す。關西鐵道は名古屋より奈良を経て湊町に到り、加茂より分れて網島に到る。南海鐵道は難波より發し、堺を経て和歌山に通じ、阪鶴鐵道は梅田に起りて丹波福知山に達す。其の他沙見橋より發する高野鐵道、安治川口に向ふ西成鐵道あり。海運は大阪商船會社の航路を主とし、關西地方臺灣及び清韓諸國間に定期航路ありて、其の貨物を集散す。而して今や大築港の經營中なるを以て、完成後は一層の發達を見ん。工業の主要なるものは砲兵工廠造幣局を初めとし、紡績造船摺付木砂糖等の製造場多く。銀行會社の數又六百

交通の便
は商工業
を發達せ
しむ

京 都 市 大 阪 市

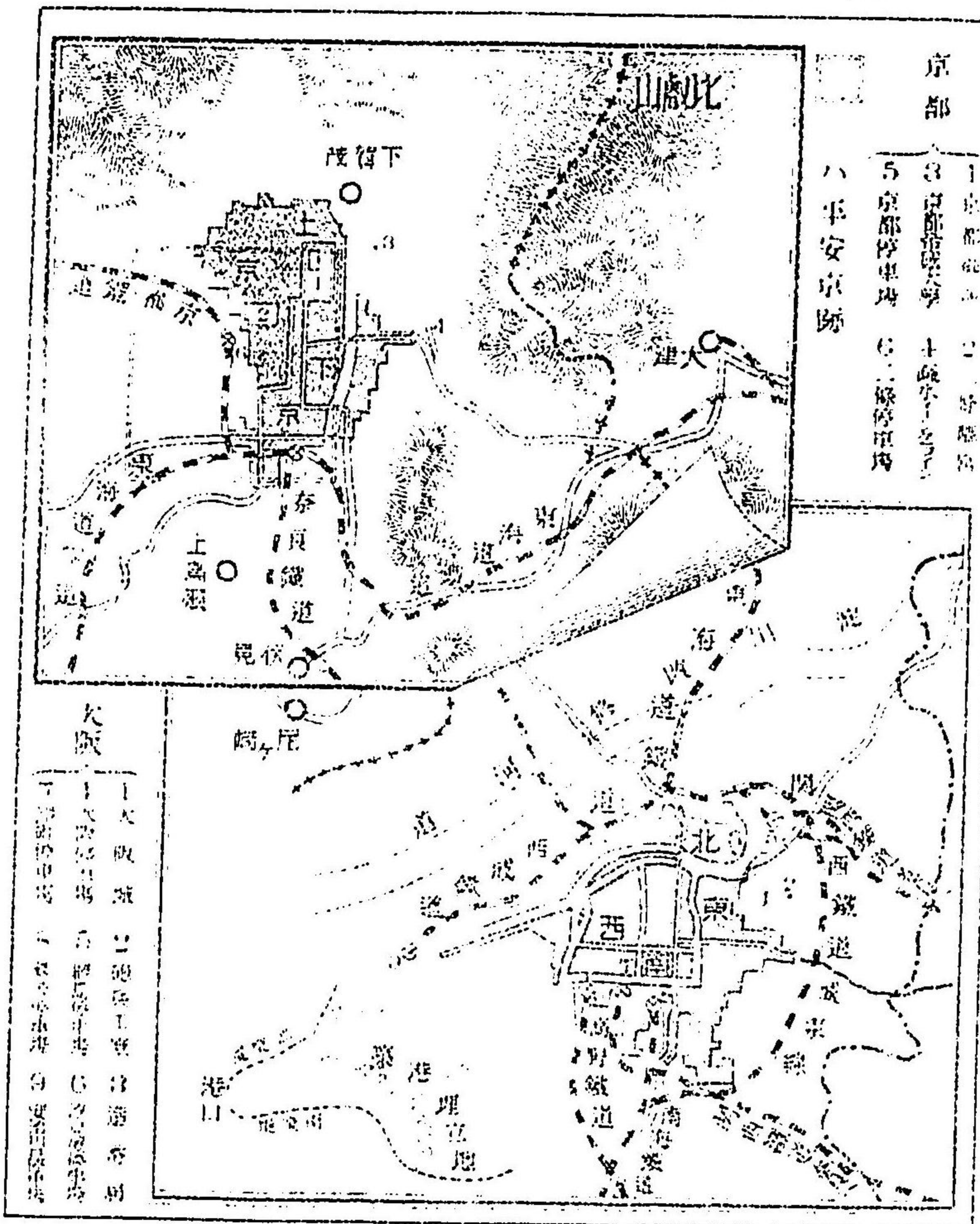


して、中頃豊臣秀吉の築城以來繁榮日に増し、今は帝國隨一の商工業地となれり、市内に第四師團司令部・控訴院・大阪高等工業學校あり。

東海道鐵道線は梅田を過ぎて神戸に至り、東京・神戸間を連絡す。關西鐵道は名古屋より奈良を経て湊町に到り、加茂より分れて綱島に到る。南海鐵道は難波より發し、堺を経て和歌山に通じ、阪鶴鐵道は梅田に起りて丹波・福知山に達す。其の他沙見橋より發する高野鐵道、安治川口に向ふ西成鐵道あり。海運は大阪商船會社の航路を主とし、關西地方臺灣及び清韓諸國間に定期航路ありて、其の貨物を集散す。而して今や大築港の經營中なるを以て、完成後は一層の發達を見ん。工業の主要なるものは砲兵工廠、造幣局を初めとし、紡績、造船、摺付木、砂糖等の製造場多く、銀行會社の數又六百

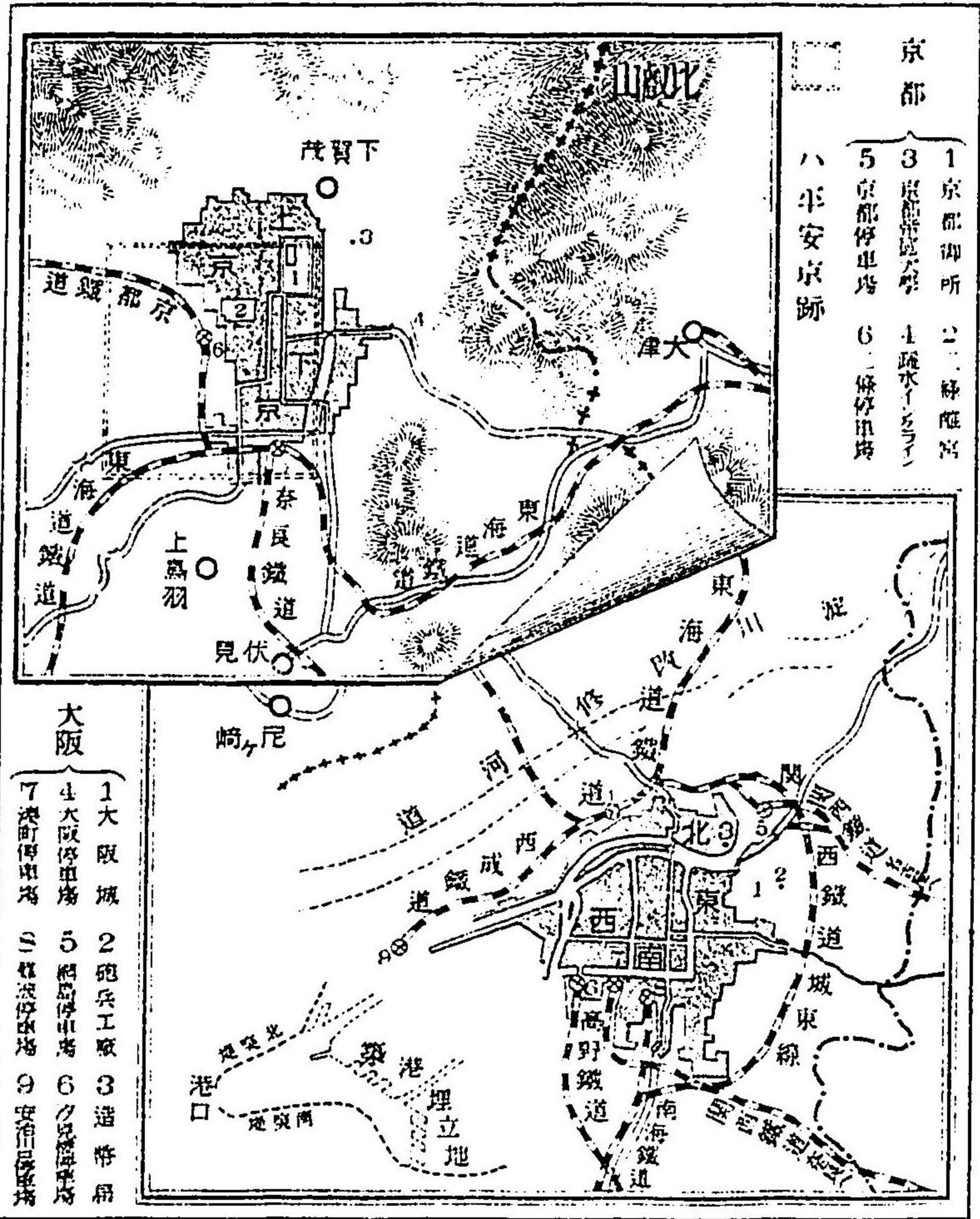
交通の便は商工業を發達せしむ

京 都 市 . 大 阪 市

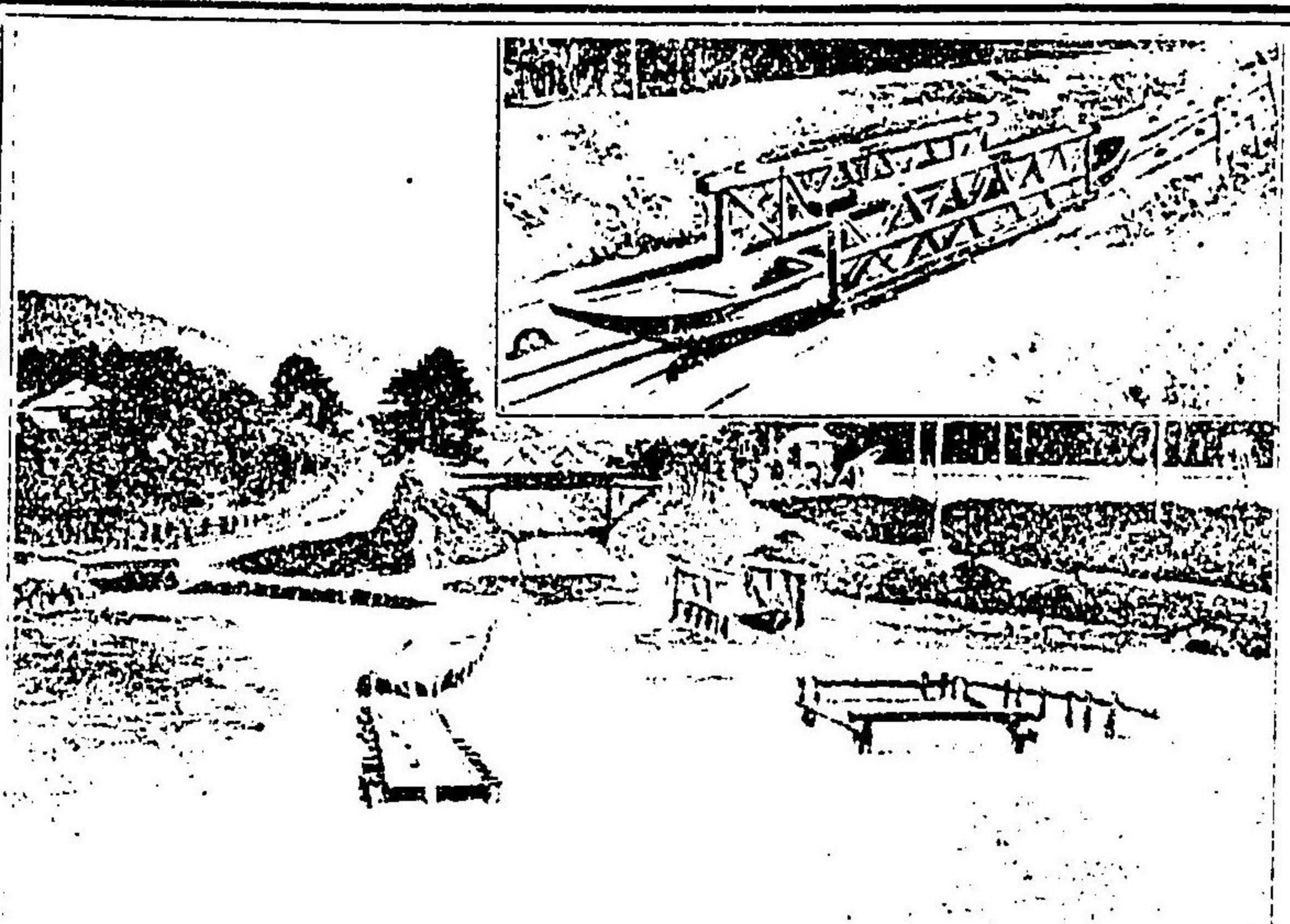


尺之一分万十二
 尺 米 時 尺 平 日

京都市、大阪市



尺之一分万十二
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
 尺 米 寸 分 釐



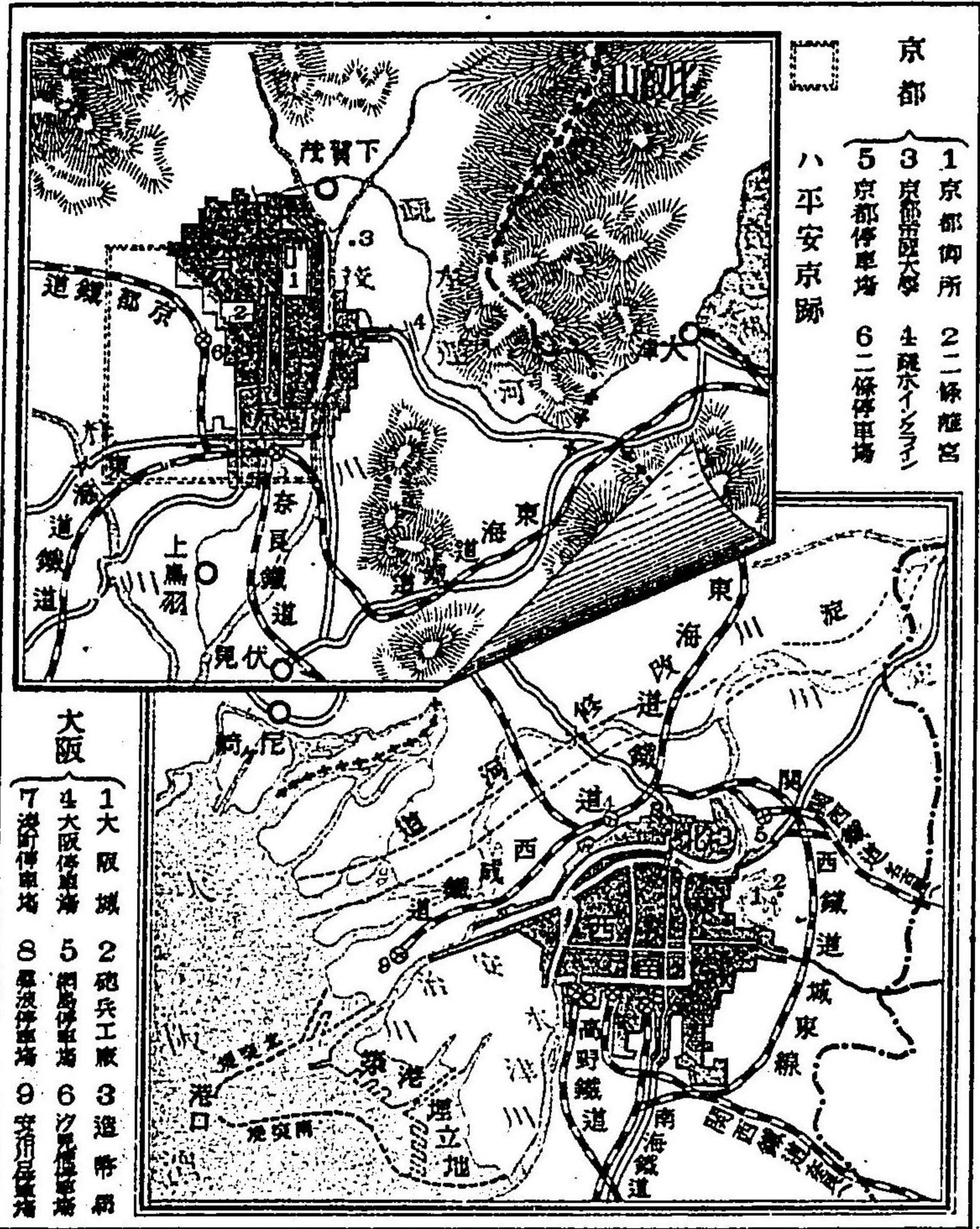
圖のニイラクニイ河運水疏

下上を面斜の此てに力定は船の河運

餘に及ぶ貿易は主として水産物・摺付木を輸出し、綿砂糖・米・大豆を輸入す。全國各地との取引頗る多し。

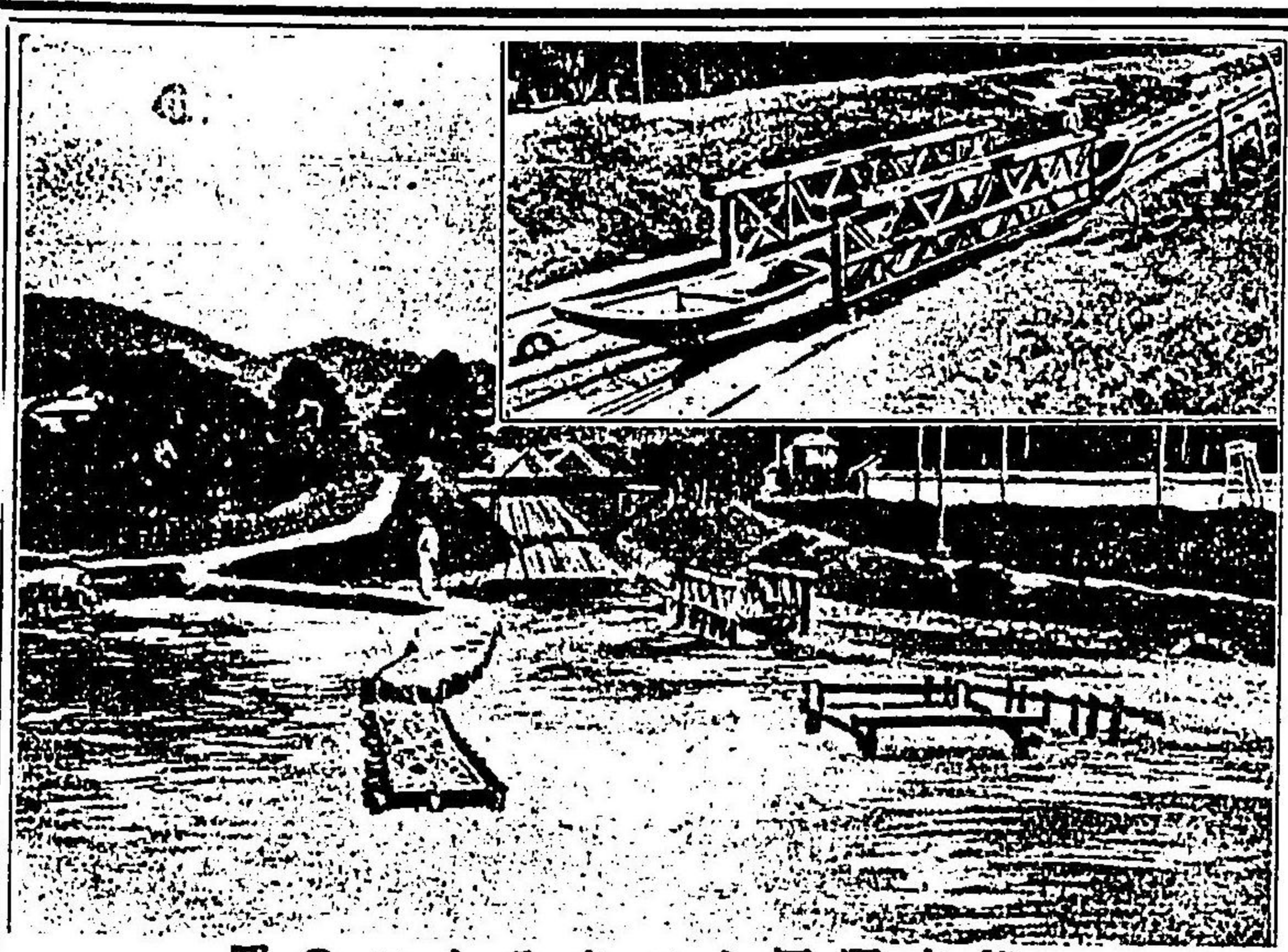
京都 畿内平野の北部に位し、北東西の三面は丘陵を以て限られ、南方は平野遠く開けて大阪灣頭に至る。帝國第三の都會にして、人口三十五萬餘あり。市街は二區に分れ、街衢端整なり。此の地は桓武天皇奠都以來、明治の初年まで千有餘年間の帝都たりし所に於て、京都御所・二條離宮を初め、到る處に神社・佛閣あり、殊に佛教

市阪大。市都京



餘に及ぶ。貿易は主として水産物、摺付木を輸出し、綿、砂糖、米、大豆を輸入す。全国各地との取引頗る多し。

京都 畿内平野の北部に位し、北・東・西の三面は丘陵を以て限られ、南方は平野遠く開けて大阪灣頭に至る。帝國第三の都會にして、人口三十五萬餘あり。市街は二區に分れ、街衢端整なり。此の地は桓武天皇奠都以來、明治の初年まで千有餘年間の帝都たりし所に、京都御所・二條離宮を初め、到る處に神社、佛閣あり、殊に佛教



圖のニイラクニイ河運水疏

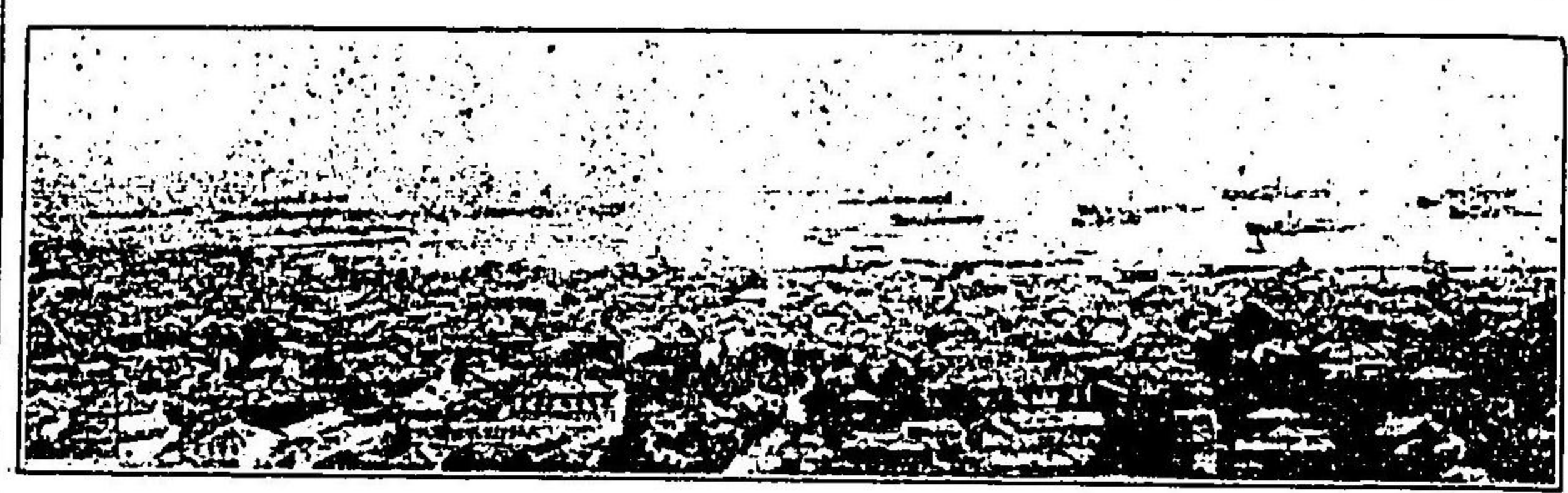
す下上を面斜の此てに力電は船の河運

本邦地理 地方誌 帝國の二大中心地

各宗の本山多く茲に集る。市の美術工藝は全國に冠絶し、西陣織・鴨川染・清水焼・粟田焼等精巧を以て鳴る。近頃又京都帝國大學第三高等學校・高等工藝學校を置かれ、關西學術の中心となれり。

東海道鐵道線は七條を過ぎ、東京・大阪の間を連絡す。南は奈良鐵道にて伏見を経て奈良に達し、北は京都鐵道にて丹波園部に達す。水運は琵琶湖畔の大津市より西方東山を経て賀茂川東岸に至り、更に伏見に達する疏水運河あり。夫れより淀川によりて大阪に下るべし。

神戸 大阪の西汽車一時間程に位し、人口二十二萬、關西第一の貿易港なり。地勢は山を負ひ海に臨み、地域狭小なれども、京都・大阪の輸出入口に當るを以て、商業の盛大なること横濱と伯仲す。此の地は東海道鐵道線の終點にして、又山



神戶市街及港の圖

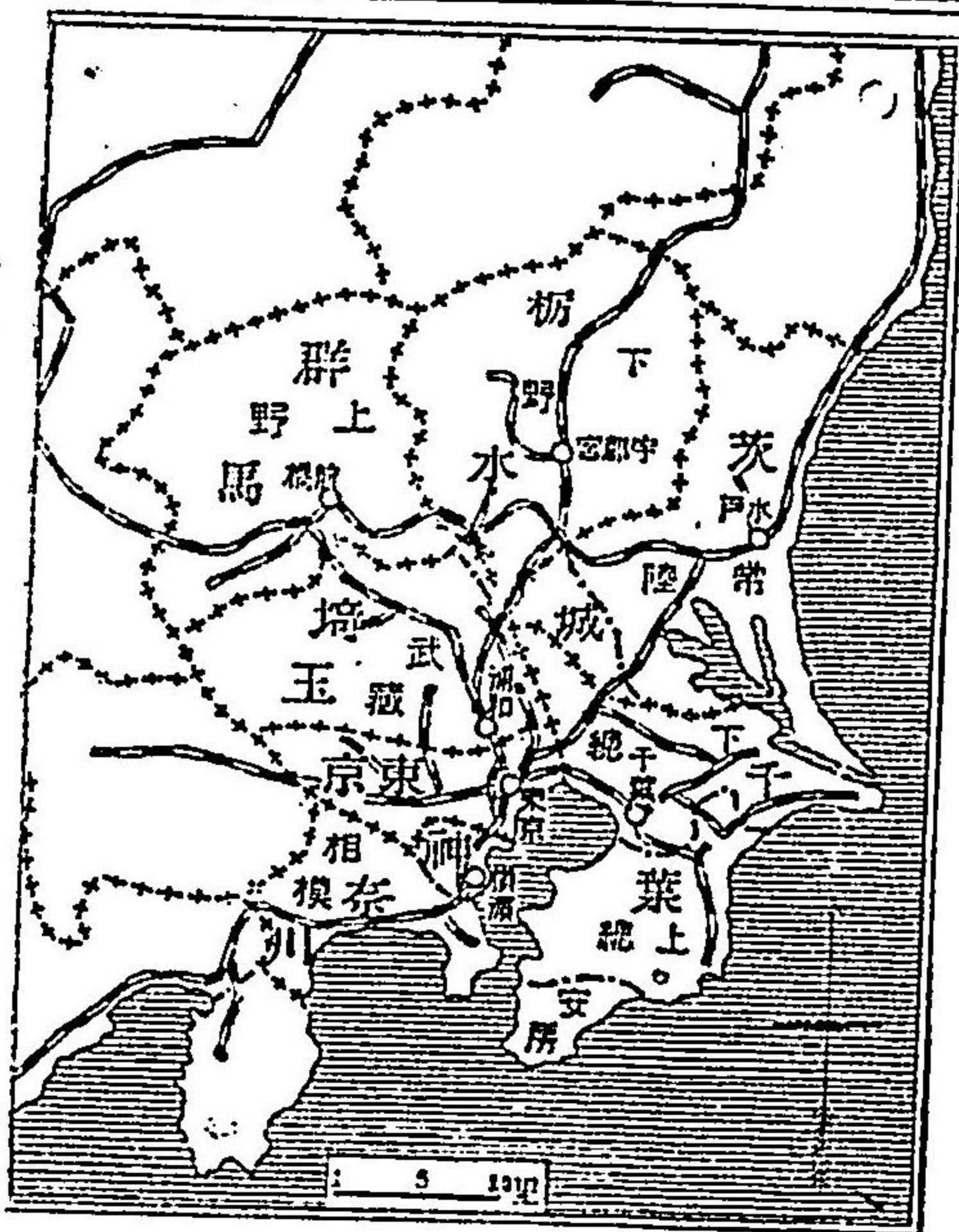
市街の北なる賑わふ山公園の南に望む

陽鐵道の起點たり。港内水深く安全の錨地にして、内海を経由する大阪出入の船舶は皆茲に寄港し、大阪との商業上の關係最も密着せり。主要の輸出品は綿絲・銅・麥稈・眞田茶・米・地蓆・樟腦等とし、輸入の主なるものを綿・砂糖・石油・メリンス・鐵肥料等とす。神戸・横濱・大阪の輸出入額を合せば、帝國貿易全額の七割餘を占む。



關東地方

關東地方は阿武隈山脈の南、關東山脈の東に在り。大部は太平洋に向ひて開ける關東の平野にして、利根川其の北部を貫流し、那珂川更に其の



關東地方の圖

荒川多摩川馬入川あり此の間に八國あるを以て之れを關東八州と呼ぶ又其の一部上野下野を兩毛地方と總稱し安房上總下總を房總地方と總稱す海岸は東に犬吠崎あり南には房總三浦兩半島突出して其の間に東京灣を擁す此の兩半島は丘陵にして險崖なれども其の他は概ね砂濱なり。

府縣名	廳所在地	其の人口	距離東京の汽車程
東京	東京市	一四四、〇	
神奈川	横浜市	二二、二	五五分
埼玉	浦和町	七	四二分
千葉	千葉町	二、六	一時〇九分
茨城	水戸市	三、四	四時一〇分
栃木	宇都宮市	三、二	三時一三分
群馬	前橋市	三、四	三時四〇分

北方を流る又利根川の南西に

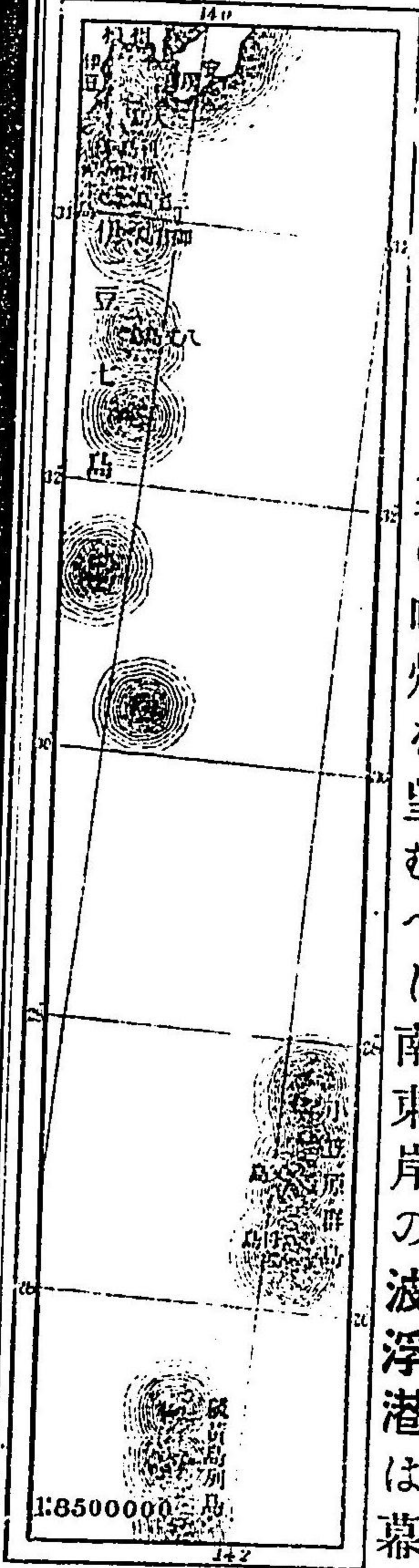
關東地方の交通機關は日本鐵道海岸線東北線中仙道線申武鐵道官設東海道鐵道線の外東京より千葉佐倉を経て銚子に達する總武鐵道及びこれと連絡する房總成田の二線あり東武鐵道亦東京より起りて東北海岸の二線を連絡す又北部には東北線と十字形を成して東西に水戸前橋を連ぬる兩毛線あり信越鐵道は高崎に起り信越地方に通ず其の他尙小支線あり海上には横濱より大阪神戸豆南諸島東京灣沿岸の諸港及びハワイを経て北米合衆國等に通ずる定期航海あり。

東京府 關東平野の南西部多摩川荒川の流域地を占む。古の武藏野の一部なれば地勢平坦にして山岳は僅に西部にあるのみ地味肥えて農産物に富む東京附近には品川板橋千住等の名邑少からず。

水の深サ
は港の要
件なり

品川は東京の南に連り、電車の便あり。ガラス、煉瓦等の製造所あり。其の港は水浅けれども、船艦の出入多く、附近の浅海は海苔を産す。八王子は製絲、機織の業盛んにして、一樂織、風通織を産し、染織學校を置く。其の北なる青梅は青梅鐵道にて甲武鐵道に連絡し石灰を出す。

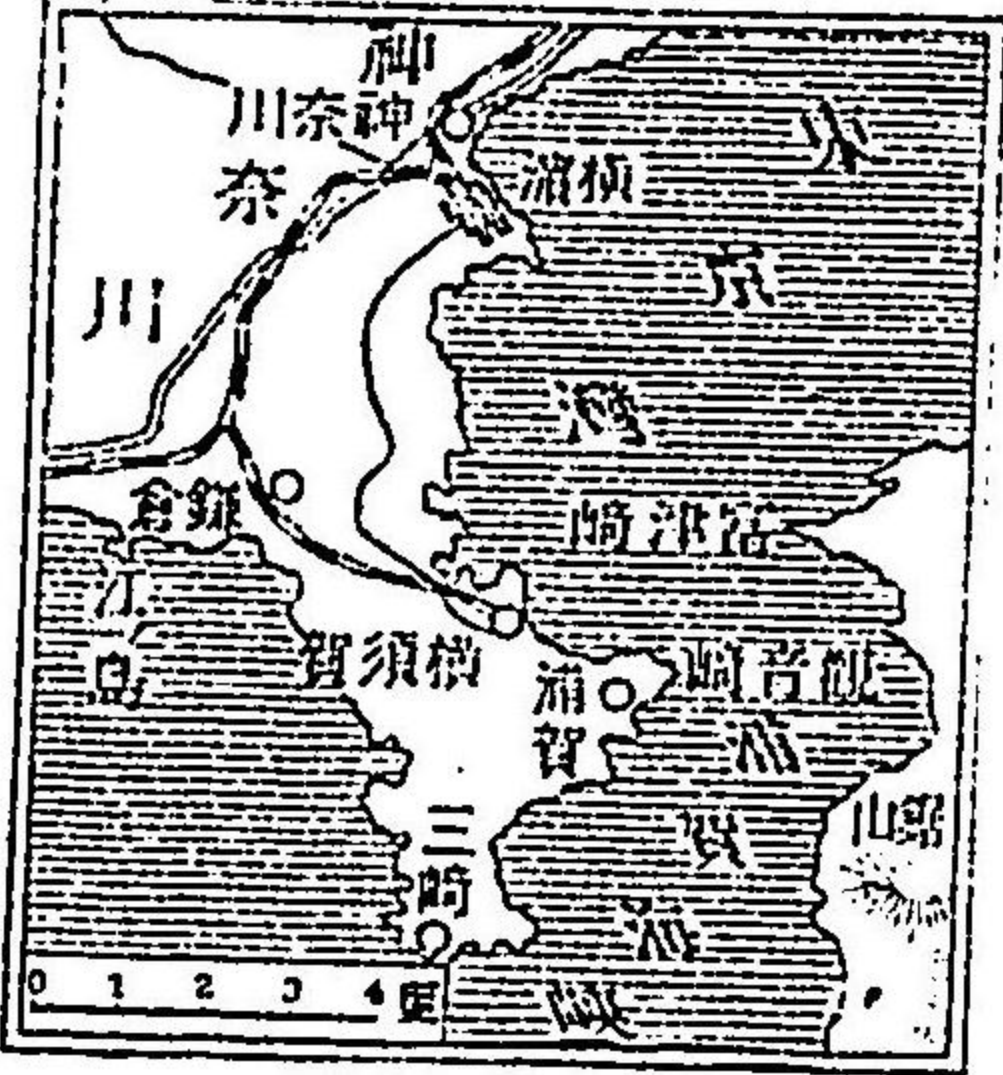
豆南列島は大島、八丈島等の伊豆七島、父島、母島等の小笠原群島、其の南西の硫黄島列島及び鳥島の總稱にして、小笠原島の外は富士火山脈を延く。大島には三原山の活火山あり、近海より其の噴烟を望むべし、南東岸の波浮港は幕吏秋



豆南列島の圖

廣平六が舊噴火口を開きて成せる所にして、海底深きに過ぐれども大島唯一の碇泊地たり。各島地味瘠せて耕作に適せず、住民概ね漁業、牧畜、織物に従事す。大島の大島紬、八丈島の八丈絹、殊に名高く、又小笠原島は砂糖、藍、珈琲、山羊、鱈、玳瑁を主産す。

神奈川縣 關東平野の南西、東京府の南に位す。箱根、足柄の連山は西境に峙ち、大山中央に聳えて、地勢は北西より南東に傾く。三浦半島は馬入川流域の東を限りて南東に延び、房總半島と相對す。其の東岸に横濱、横須賀の二港あり。又灣口の觀音崎には砲臺ありて防備嚴なり。半島西方の沿岸には鎌倉、大磯あり。東海道鐵道は鎌倉を経て横須賀に達する支線あり。



東京灣入口の圖

横須賀軍港は本州の大平洋岸中、紀伊半島以東及び北海道の海面を管する第一海軍鎮守府の所在地にして、東洋第一の造船所、並びに海兵團、海軍機關學校あり。鎌倉は源氏の故地にして、鎌倉宮、鶴岡八幡宮、建長寺、稻村崎等の古蹟多く、附近に江島、金澤等の勝地あり。小田原は箱根及び熱海温泉の要路に當り、東海道鐵道國府津驛との間に電車の便あり。又熱海に至る人車鐵道あり。沿海漁利多し。小田原北東の素野は葉烟草の産を以て知らる。箱根は一大休火山にして、箱根七湯を以て其の名高く、山頂の蘆湖は風光幽清なり。湖邊の箱根町は昔關門の設ありし所とす。

埼玉縣 東京府の北に位し、關東平野の西部を占む。縣の西部は甲信地方に接續する高地にして、關東山脈の秩父諸山聳ゆ。此の地方は養蠶盛にして、秩父絹を出す。其の他の部

温泉は火
山地方に
多し

産業は地
勢に關係
す

分は秩父山より發する荒川及び利根川の支流江戸川の流域にして、地勢平坦地味肥沃に、殊に麥の産額多し。又木綿織の産出多く、熊谷及び置廳以來繁榮に赴ける浦和を其の中心市場とす。浦和の北の大宮には氷川神社の大宮あり。又日本鐵道中仙道線と東北線との分岐點にして、日本鐵道會社の大工場を有す。縣の北境なる川俣より、東京吾妻橋に至る東武鐵道あり。

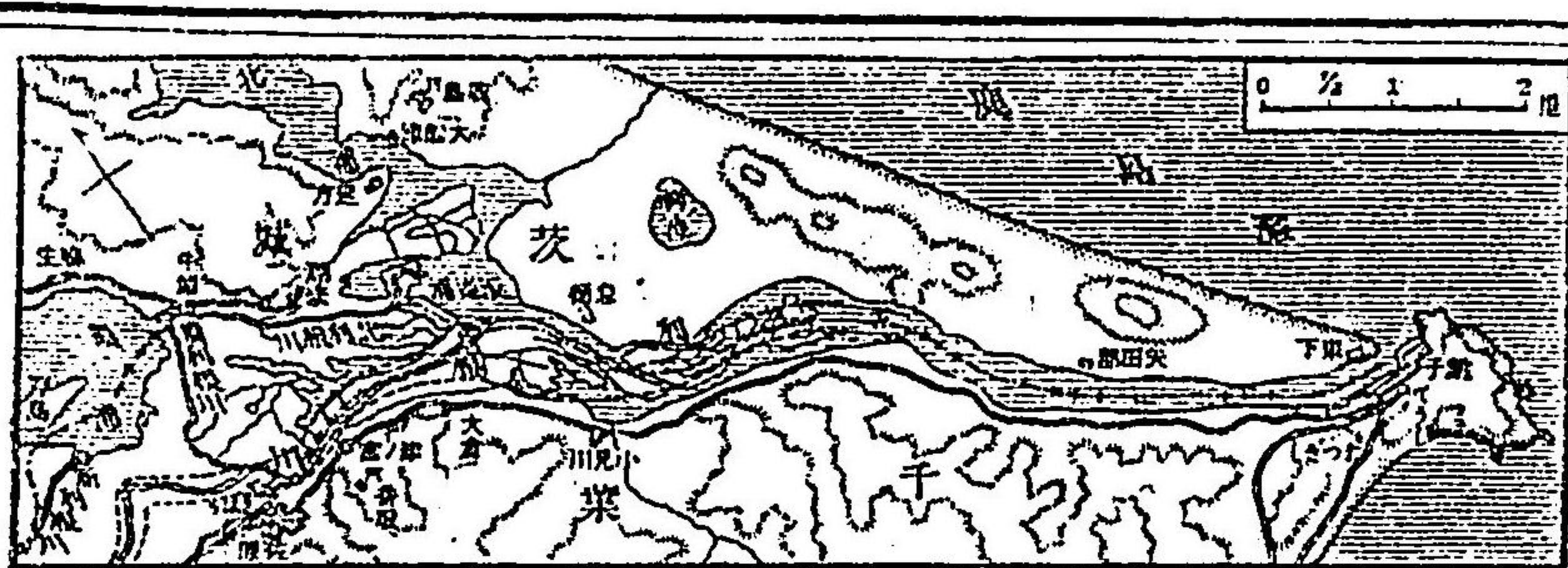
川越は甲武鐵道に連絡する川越鐵道の起點にして、川越平織の産あり。商業の盛なること縣内第一とす。熊谷は上武鐵道の起點にて、穀物生絲等の取引多く、又甲種農業學校あり。千葉縣 關東平野の南東部並びに房總半島を管す。北部の下總は關東平野の一大部にして、習志野、小金原等の廣野あり。東京灣より利根川に至るまで平地遠く連れり。南部の



犬吠岬の燈臺附近の圖

岬の南東端にあり高き海面上一六八呎なり

房總半島は鹿野山・鋸山等の山丘ありて平地稀なり。東京灣に臨める千葉・利根川口の銚子・其の中間の佐倉は北部平地の都會にして、總武鐵道にて東京と連絡す。房總鐵道は更に千葉に起りて上總に通じ、成田鐵道は不動堂を以て榮ゆる成田を起點として、佐倉・佐原等に通ず。又江戸川沿岸には味淋に名高き流山、醤油に名ある野田あり。房總半島の名邑は海水浴に名ある館山・誕生寺を以て名高き小湊等に過ぎず。上總より下總に亘れる太平洋沿岸九十九里濱一帯の漁業は、其の盛大なること帝國第一に居り、鱈の漁額一千万圓を超ゆ。



(示すを道河修改は線点)

利根川根下の流川のの

千葉町は置廳以來稍繁盛に赴き、醫學專門學校あり。佐倉は印旛沼の南岸に位す。近傍の地佐倉炭の産あり。佐原は利根川水運の中心地にして酒・醤油を産す。香取神宮は其の東方里許に在り。銚子港は利根川口の右に在り。碇泊に適せず。雖も利根川を遡り、利根運河を経て江戸川に通じ、東京に達する汽船の往復あり。醤油・縮布を産す。

茨城縣 千葉縣と利根川を隔てて南北相隣し、關東平野の北東部より阿武隈山脈の一部に亘る地方とす。縣の中央部に平野の間に聳ゆる筑波山あり。從ひて北部は山多く、地味瘠せたれども、磐城に亘れる炭田あり。又寒水石を出す。南部は利根川下流の流域にして、那珂川に至るまで地勢低平



常磐公園と千波沼

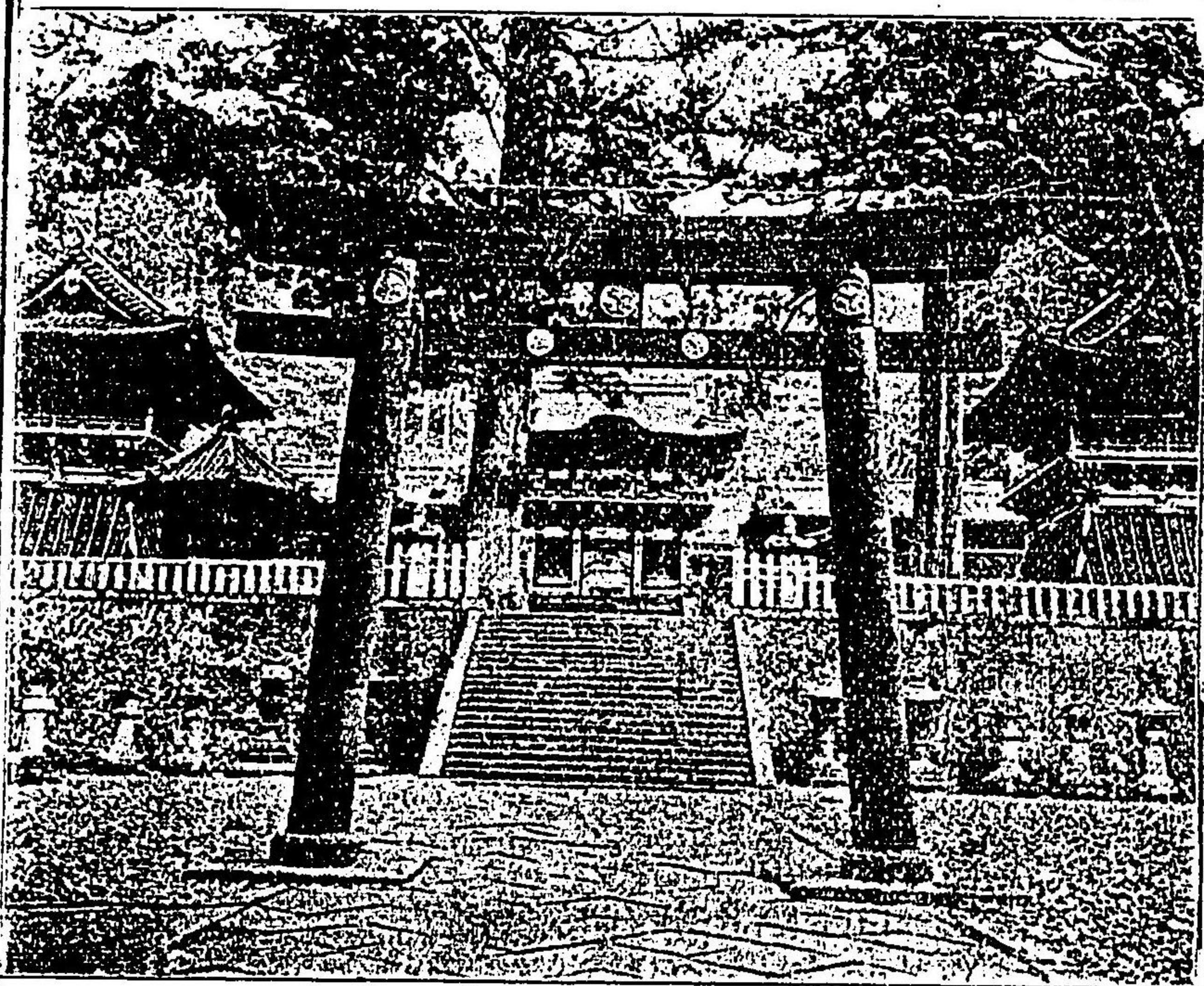
にして、米・麥・綿の産額多し。又帝國第二の大湖霞浦及び北浦等の沼湖は利根川と相連りて水運の便最も宜し。鯉・鰻等の水産に富む。海岸一帯砂丘高く、那珂川口の湊は水浅くして泊船の利少し。北部の平瀧は水深くして石炭積み出しの要港なれども、地域狭し。水戸・石岡・土浦は平野の都會にして日本鐵道海岸線にて連絡す。紬を以て名高き結城は兩毛線に沿へり。

水戸市は那珂川を帯び千波沼に臨み、奥羽より關東に出づる濱街道の要路に當り、徳川氏の親藩を封ぜし地たり。市内に弘道館及び日本三公園の一に數へらる。常磐公

園あり、市の附近は烟草を名産とす。商業學校農業學校あり、霞浦沿岸の石岡・土浦は共に酒・醬油の醸造地なり。北浦沿岸の鹿島には鹿島神宮あり。筑波山には山階宮の設立せられたる氣象觀測所あり。

栃木縣 關東八州の最北に當り、那須岳の活火山北境に聳ゆ。其の前面の裾野を那須野の高原とす。西部には那須火山脈に屬する男體山及び白根の活火山あり。男體山南方の足尾銅山は利根川の支流渡良瀬川の上流に位し、帝國全産額の凡三分一を出す。足尾町これによりて榮ゆ。薪炭も亦山地の一富源を成す。又那須・鹽原等の温泉所々に湧出す。南東部は那珂川・鬼怒川の流域にして關東平野の一部に屬し、平地開けて麻・桑の栽培に適す。宇都宮は縣下の中央に位し、小山と共に日本鐵道東北線に當る。宇都宮南東の眞岡は

特産は都
會繁榮の
原因なり



眞岡木綿の本場にして、其の北西日光鐵道線に當れる鹿沼には製麻工場あり。縣下の南西隅に位する足利は、足利絹の産地にして工業學校あり、兩毛鐵道にて群馬縣の機業地桐生・伊勢崎と連絡す。

男體山麓の日光には東照宮あり、徳川家康の廟所に名所舊蹟として其の結構壯麗を極む、山中には瀑布多く、中禪

寺湖より落つる華嚴瀑最も壯嚴なり。遊覽の客四時絶えず。日光町爲に賑ふ。

群馬縣 關東八州の北西部に位す。地勢は關東平野に屬する南東の一部を除けば、大抵山地にして、那須火山脈所々に起伏す。縣界には東西に白根の兩活火山あり、又西境には淺間の活火山あり。中部には赤城・榛名及び妙義山聳え、伊香保・草津等の温泉多し。利根川は北境に發して南東に流る。清水越に通する越後街道は、其の上流に沿ひて開け、南方の流域には、前橋・高崎・桐生・伊勢崎の都會散在す。縣内繭・生糸の産出極めて多く、機業亦盛大にして、其の産額京都府に次ぐ。高崎より富岡を経て下仁田に達する上野鐵道あり。

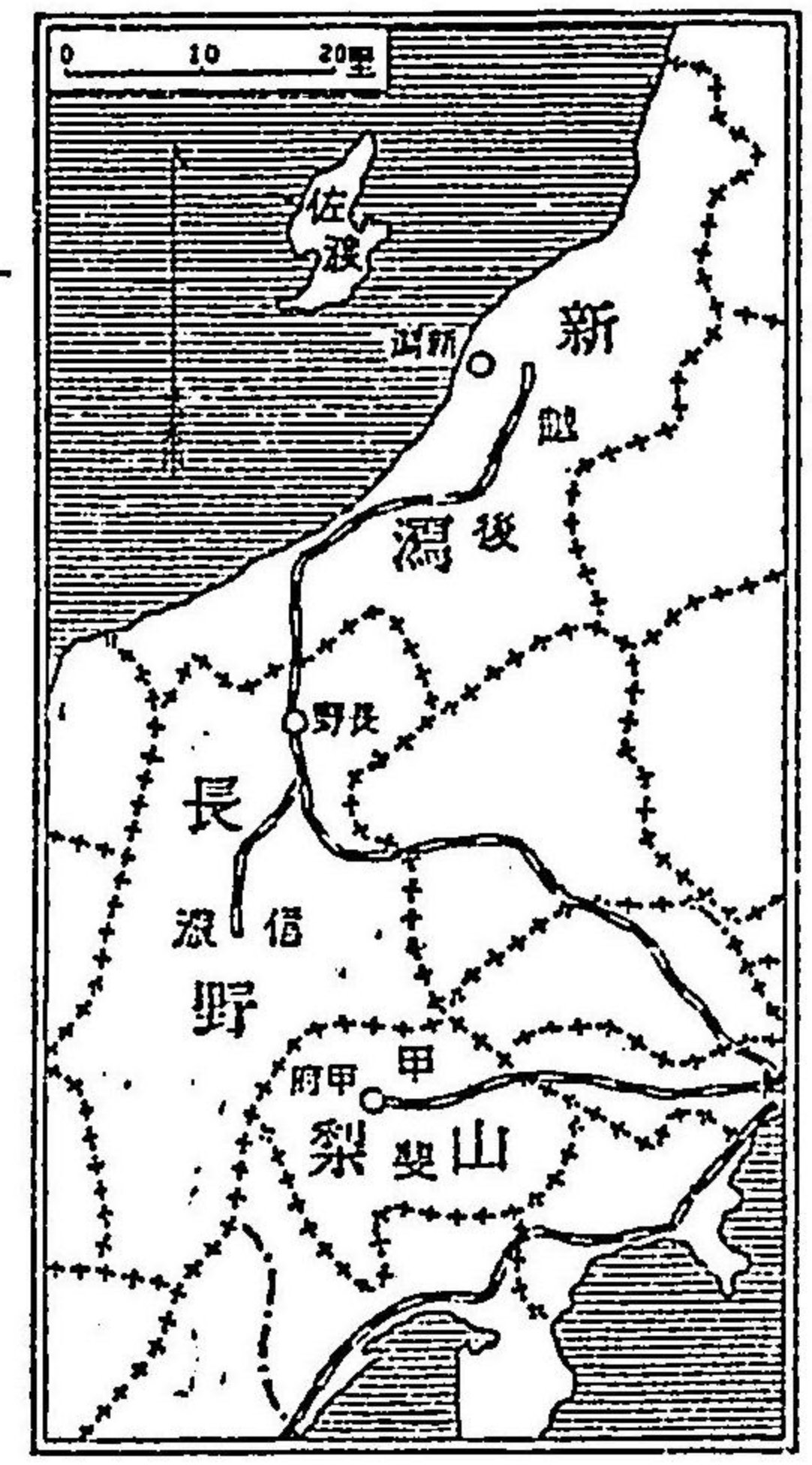
前橋市は縣下生絲取引の大市場にして、又越後より關東に出づる要路に當る。高崎も亦交通の要區にして、生絲の取引

特産ある
地は特殊
の教育を
要す

多し。桐生は有名なる機業地にして、其の起源頗る遠く、西陣の織法を傳へて、其の術精巧を極め、京都と相對して織物の二大産地と稱せらる。織物學校の設あり。伊勢崎にも亦染織學校を置く。

甲信越地方

甲信越地方は關東の西部にありて、北は日本海に瀕す。越後東部の平原を除く外は、樺太、崑崙二大山系の會合點に當れる本州中央の高原地方とす。従ひて此の地方より發する諸大河多し。富士川、天龍川、木曾川は南に流れて太平洋に注ぎ、信濃川は北流して日本海に入る。海岸は極めて平直なり。以上は三縣の分治に屬す。信越地方は群馬縣より來る信越鐵道貫通し、長野を経て日



甲信越地方の圖

縣名	廳所在地	其の人口	距離(汽車程)
山梨	甲府市	三、八	東京より六時一五分
長野	長野市	三、一	前橋より五時五〇分
新潟	新潟市	五、三	長野より七時四七分

本海岸の直江津に達す。北越鐵道更に此の地より起りて、

新潟市對岸の沼垂に到る。又長野の南篠井より分岐する篠井線あり。甲州は近頃官設中央東線甲府に通じ、漸く交通の便を得るに至れり。

山梨縣 關東平野の西方に位する山地にして、東は關東山脈を廻らし、西方には赤石山脈あり。南には富士山屹立し、北には金峰山、八岳聳え、山岳四周して摺鉢狀をなし、甲府平原其の底に當る。富士川は南方の一部を破り、急流となりて

南下す。角倉了以の經營によりて船を通ずるを得たり。鐵選は其の水運の要所たり。東部郡内は別に一區を成す。郡内縞・甲斐絹を其の特産とす。谷村町に染織學校を置く。

甲府市は甲府平原の中央に位す。縣内百貨の集散地にして、商業學校あり。生絲は勸業製絲場を設けし以來、其の産額著く増加せり。附近には武田信玄の遺蹟多く、御勅使川の信玄堤の如き其の一なり。富士川沿岸の市川大門附近は盛に三椏を植え、製紙業は近年殊に發達せり。勝沼の甲州葡萄、御岳・金峰山の水晶亦著はる。富士川中流の右岸に身延山あり。日蓮宗の本山久遠寺の在る所とす。

長野縣 山梨・群馬兩縣の西に位する一大高原にして、東部に富士火山脈ありて、淺間の活火山を起し、南東山梨・静岡兩縣の境には赤石山脈の赤石山等聳え、西境の飛驒山脈に



淺間山の圖

は御岳・乗鞍岳等の高山多し。地勢は中央の和田峠分水界となりて自ら南北に分れ、北は信濃川の流域に屬し、南は木曾・天龍二川の流域となる。信濃川の上流千曲川は、紬の産地上田を中心とする佐久平を流れ、松本平を流る。犀川は信州第一の平原善光寺平に會して新潟縣に入る。天龍川は諏訪平の諏訪湖より發して、木曾・赤石兩山脈の間なる伊那谷を南流し、木曾川は飛驒・木曾兩山脈の間なる木曾谷を流れて南下す。木曾谷の兩側は帝國第一と稱す。



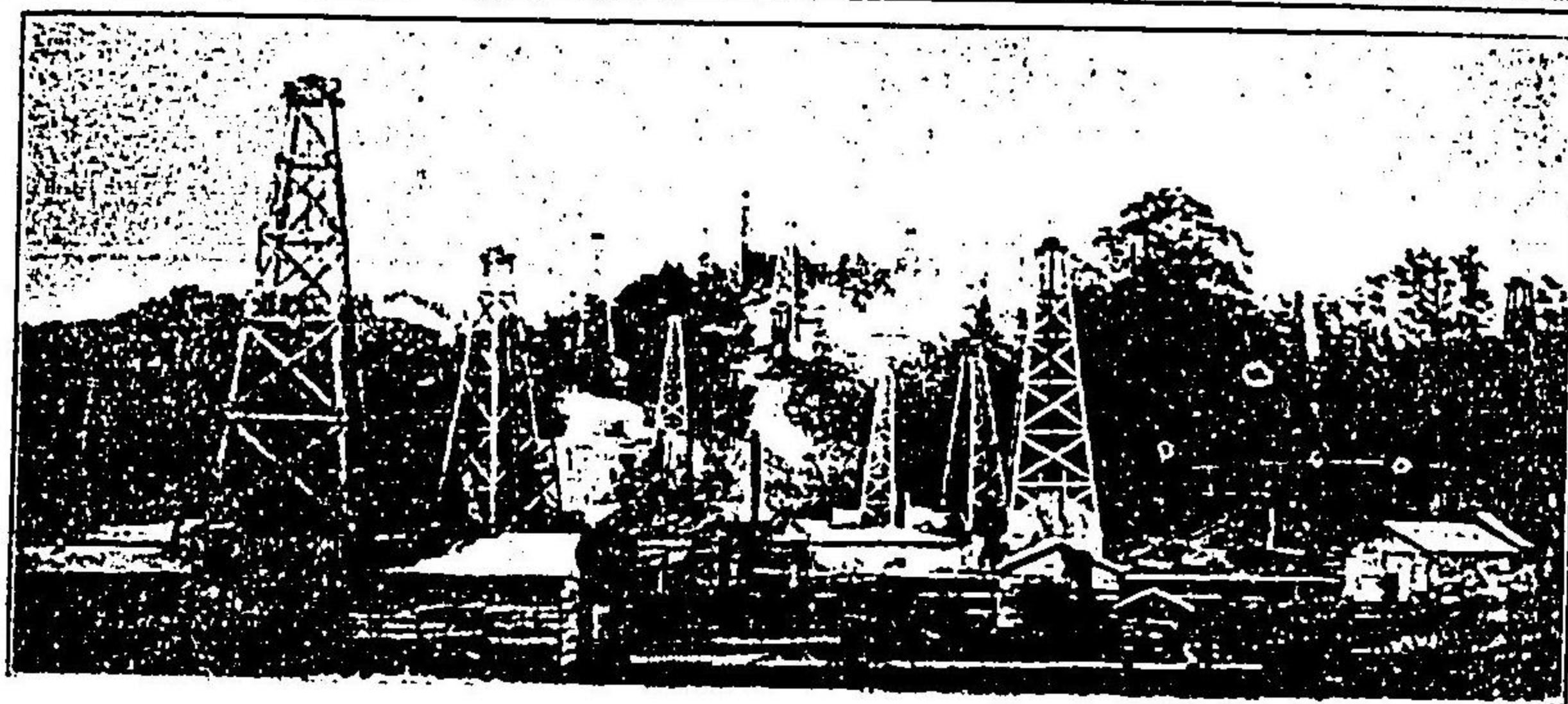
長野野市附近の圖

る木曾山林の在る所にして、又有名なる木曾街道は、此の谷より南西濃尾平原に通ず。縣内大部は火山岩に掩はれ、田圃に乏し。雖も、養蠶製絲の業盛にして、繭生絲の産額各府縣に冠たり。上田に甲種蠶業學校の設けあり。木曾谷は檜市の良材及び馬を名産す。官設鐵道篠井線は犀川に沿ひ、觀月の名所、姨捨を経て、松本の南に達す。

長野市は善光寺平に在り。貨物の集散多く、又善光寺あるを以て信徒の參拜絶えず。其の南方犀川上流の松本は蠶卵紙生絲の市場なり。諏訪平の上下諏訪は多くの製絲場あり、煙突林の如し。此の地冬季寒氣強くして、諏訪湖は氷結し、其の

上に人馬を通ず。諏訪平より伊那谷の飯田を経て、天龍川を下れば東海道に通ずべし。福島は木曾街道の一都會にして、檜細工を出す。御岳登山者の通路なるが故に夏季殊に榮ゆ。

新潟縣 長野群馬二縣の北に在りて、約一百里の沿岸を有する地方なり。西部には富士火山脈に屬する焼山・妙高山等あり。西境飛驒山脈の蓮華山は餘脈海に迫りて、親不知險を成す。平地は深雪に名高き高田附近の荒川沿岸にあるのみ。東部には朝日山・飯豊山等東境に連りて越後山脈を成す。中部は越後の大平野にして、地勢は信濃川の方角に従ひ、北東に開く。信濃川は本縣に入りて、越後の大平野を灌漑し、新潟港に注ぐ。阿賀川は福島縣より來り、小阿賀川にて信濃川に連り、又越後平野の一部を灌漑す。縣下の米産額は二



長嶺西谷礦油井の圖
この油井は資田石油株式會社に屬すれども機械類はな

百萬石以上に達し、四國全島に超ゆ。信濃川には新潟・長岡間に汽船の便あり。國內石油坑多く、其の産額帝國第一に居り、浦瀨・長嶺を其の主産地とす。海岸は砂丘高く、沿海に鱈多し。
新潟市は信濃川口左岸の地に在り。萬代橋にて沼垂に通じ、それより鐵道の便あり。開港場の一なれども、川口に砂洲多く、冬季風波荒き時は船舶は寄港するを得ずして、對岸の佐渡夷港に避難す。従ひて夷港は新潟の缺



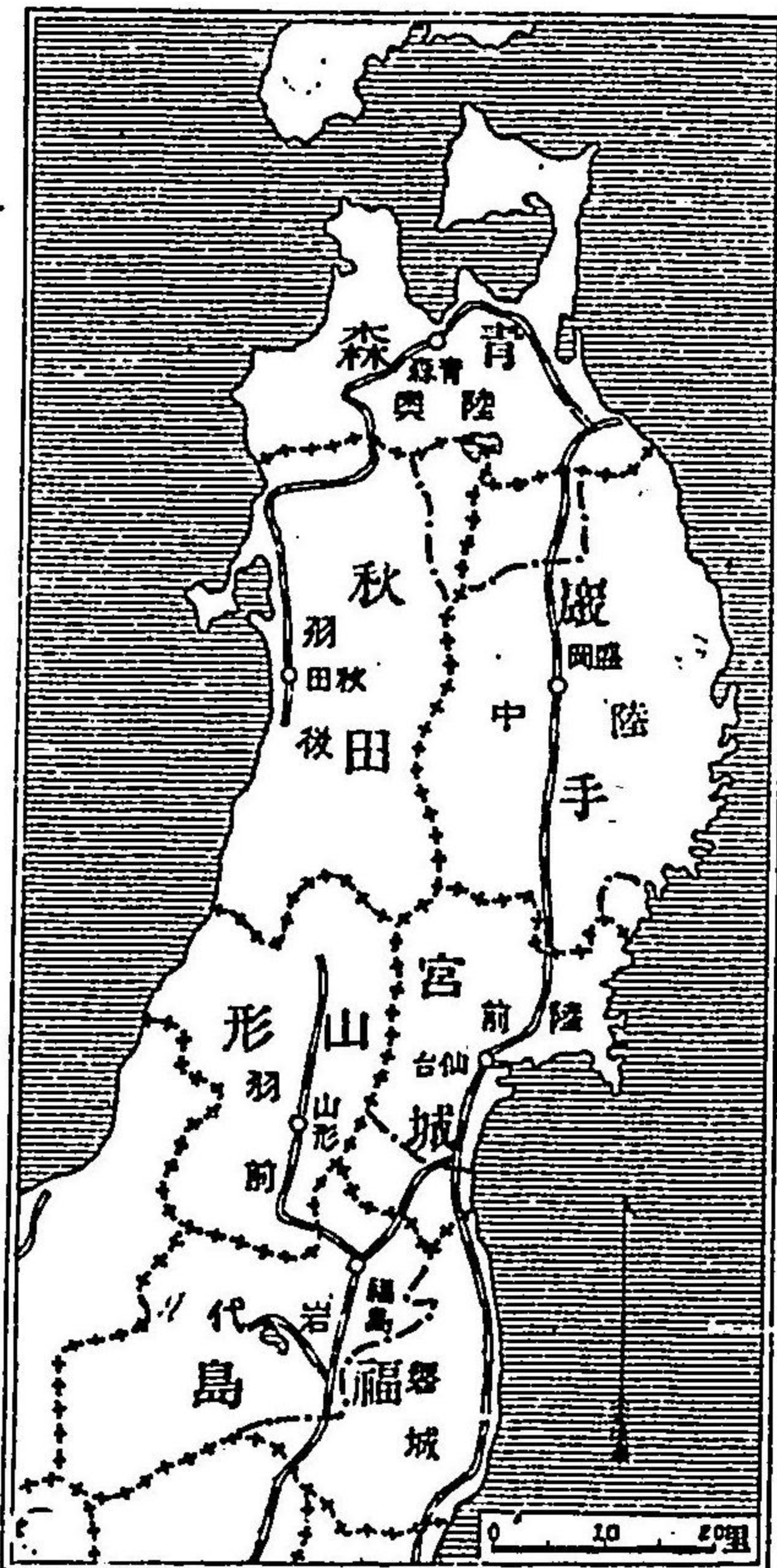
新潟港附近の圖

砂丘は内
地に侵入
して耕地
を埋む

點を補ふ。新潟市に商業學校あり。新發田は北部平野の一都會にして、第十五旅團の設置以來其の繁榮を増せり。其の南東には赤谷の鐵山あり。新潟の南西に當れる柏崎は、東の方越後縮に名高き小千谷及び透綾に名高くして染織學校の設けある十日町を控へ、織物の取引多し。又日本石油會社あり。出雲崎は其の北に當る。荒川口の直江津港は風波を避くるに由なく、且つ砂洲あれども、新潟との間に汽船の往復あり。又鐵道の要路に當るを以て、商況頗る活氣あり。直江津北東の平地は、藤野條助の經營せる松林によりて、砂丘の侵入を防ぐを得たりと云ふ。
佐渡は新潟より海上三十哩に在り。其の東岸の四入せる所に夷港あり。金北山は海内屈指の金坑を以て名高く、相川これが爲に榮ゆ。又無名異燒、瑪瑙細工を出す。

奥羽地方

關東の北にある本州の北東部を總稱して、奥羽又は東北地方と云ふ。地勢は中央に分水山脈南北に亘りて、東西兩部に分れ、東部には北上・阿武隈の二山脈、海岸に沿ひて分水山脈と併走し、同名の二大河其の中間を反對の方向に流る。又北上川の水源に近く發する馬淵川は北流して外洋に注ぐ。西部の能代・御物・最上の三川は岩木火山脈を横ぎりて、羽前・羽後の兩平野を成し、岩木山麓を流る。岩木川は津輕平野を北流す。本州の北端は津輕・斗南の兩半島斗出して陸奥灣を成し。又北州と相對して、津輕海峽を成す。津輕海峽は日本の東門にして、通商並びに國防上の要地たり。以上の區域は最も久しく蝦夷の住居せし地方にして、本州中人口の最



東北地方の圖

も稀なる所とす。維新前は陸奥・出羽の二國に分ちしが、今は七國に分ち六縣の分轄に屬す。

縣名	廳所在地	其の人口	距離汽車程
福島	福島町	二、一	宇都宮より六時二〇分
宮城	仙臺市	八、三	福島より三時六分
巖手	盛岡市	三、三	仙臺より五時五一分
山形	山形市	三、五	福島より四時八分
秋田	秋田市	二、九	青森より七時三五分
青森	青森市	二、八	盛岡より七時二五分 東京より廿時三〇分(急行)

日本鐵道東北線は此の地方交通の幹線を成し、阿武隈・北上の二大川に沿ひて、福島・仙臺・盛岡・青森を連絡す。關東地方

の水戸を經過せる海岸線は東海岸に沿ひて北進し、仙臺の南に來りて之れと連絡す。西部の山形縣には福島より來れる官設奥羽南線あり。秋田縣には青森より來れる同北線あり。又東西兩岸は神戸・小樽間の東廻線及び西廻線の航路に當る。

福島縣 關東に接する地方にして、東部の磐城には阿武隈山脈あり。西部の岩代は那須火山脈之れを貫きて、北部に磐梯・吾妻等の活火山及び半田銀山あり。土地概ね高地にして、平地は猪苗代湖附近の會津平原と阿武隈川の流域とを主とす。阿武隈山脈の南部には白水・小野田の炭田あり。又縣内各所に牧場あり。三春駒殊に名高し。阿武隈流域は桑畑開け、養蠶盛にして、福島を其の中心とす。二本松亦製絲・紬織に名あり。縣の北西部に於て別に一區を成せる會津平

原に。若松の都會あり。山水明媚なる猪苗代湖の水は日橋川となり、鶴沼川・只見川を合せて越後に入り、阿賀川となる。又此の湖水を郡山地方に疏通して灌漑に供す。縣下は奥羽の門口にして南境に白河・勿來の關址あり。交通不便なりしが、今は鐵道によりて便利を得るに至れり。

福島町は置廳以來益繁榮に赴き、蠶卵紙・生絲取引の一中心市場にして、近傍に蠶業學校あり。又養蠶・製絲の傳習教師として他縣に聘用せらるゝ者多し。**若松市**は商工業地にして漆器・陶器・蠟燭を出す。此の地は南東遙に白河を控へ、奥羽を控制するには、最も險要の地なるを以て、帝國の戰史に其の名高し。若松より郡山に達する岩越鐵道あり。

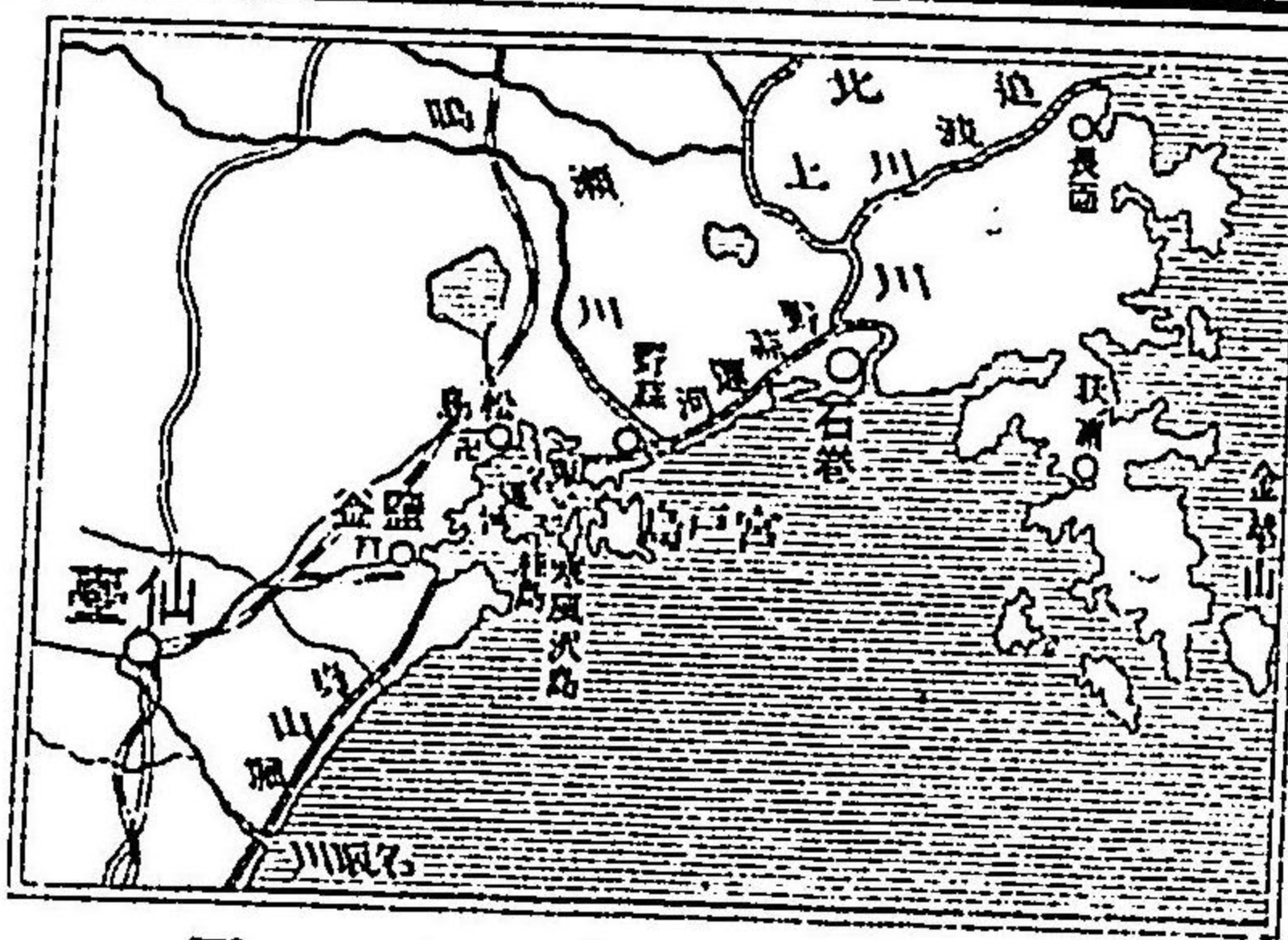
宮城縣 地勢は中央分水山脈より東に向ひて傾き、南部には阿武隈山脈の一部あり。また北上山脈は北境より來り



(む望を島松西南りよ峰高大島戸宮)景全島松

りな山老不は山遠るな方左の其・山形舟は山の岸對・島澤風寒は島大一の部中

て牡鹿半島を起し、仙臺灣を成す。灣内に石巻・野蒜・荻濱の諸港あり。荻濱は東海岸第一の良港にして横濱函館の中間に位し、其の間に定期航海あり。阿武隈北上兩川の流域なる仙臺平野は仙臺灣に傾き、名取川其の間を流る。仙臺米の產地たり。日本鐵道東北線は支線を鹽竈に出し、日本三景の一なる松島の遊覽者に便す。又鹽竈より阿武隈川口に達する貞山堀は、伊達政宗の設計せし所にして、海上風波の險を避くるを得て、交通の便大なり。西部地方の牧場には、良馬を出す。温泉亦少からず。仙臺市は名取川の支流に跨り、伊達政宗の築城以來東北地方の中心地たり。現今第二師團司令



仙臺灣の圖

部控訴院第二高等學校醫學專門學校を置く。又商業學校工業學校あり。市の絹織物は西陣の織法を傳へ、仙臺平織八橋織最も精巧なり。石巻は伊達氏が北上川本流を南に導き、追波川を一支流とせしより、水運の便開けて繁華の地となれり。又野蒜運河東名運河に由りて松島灣に通ず。此の地より一、關附近及び荻濱、鹽竈に至る汽船あり。

ご稱せらるゝ岩手山あり、東部に連れる北上山脈には早池峰あり。北上川の沿岸の外は山地多く、管轄區域は府縣中最も大にして、人口は最も粗なり。牧馬は本州第一に居り、南部馬の名は全國に冠たり。北上川の沿岸地は地味肥沃にし

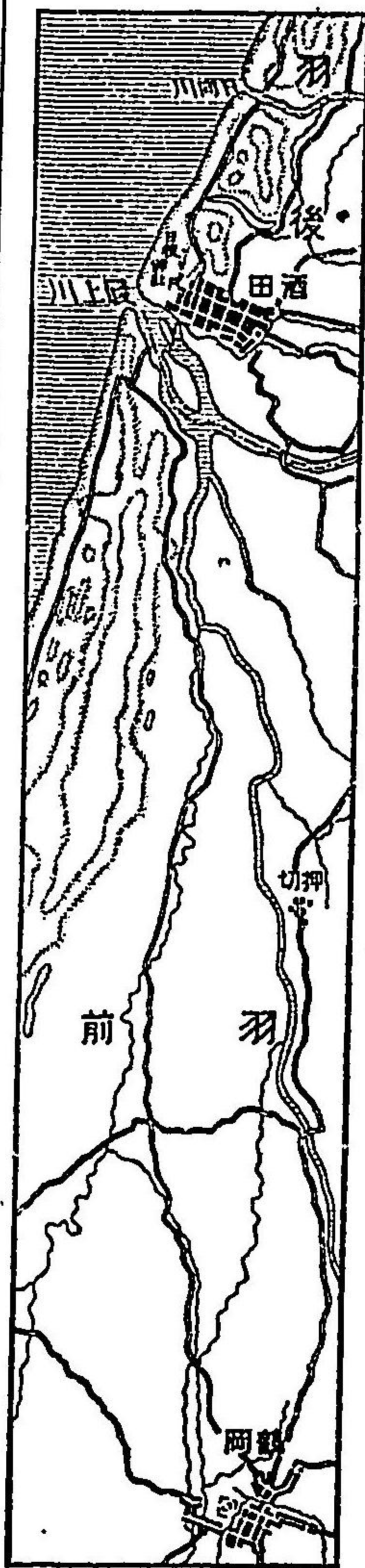
て、一、關附近以下汽船の往來あり。盛岡市其の上流に位す。海岸の南部は鋸齒の如く屈曲して、多くの小彎入を成し、其の間に釜石・宮古の二港あり。宮古には水産學校を置く。盛岡市は南部氏の舊城下にして、仙臺青森交通の要區に當り、生糸・織物・鑄物を産す。盛岡高等農林學校並びに農學校・工業學校あり。釜石は東風の外安全の錨地にして、附近の鐵山は全國産出額の過半を占め、釜石町これが爲に榮ゆ。一、關の稍北に中尊寺あり、藤原清衡の草創に係り、今尙ほ許多の堂宇あり。其の金色堂は五間四面の覆堂にて保護せらる。清衡以下三代の居館たりし平泉館亦其の附近にあり。

山形縣 東境は分水山脈に限られ、南西境には越後山脈あり。岩木火山脈は鳥海山より月山に連り、羽黒湯殿の二山と共に縣の中央にあり。南境に温泉多し。平地は最上川の

産業は奨励によりて發達す

流域に屬し、米澤を有する置賜地方、山形を中心とする最上地方、酒田・鶴岡の立てる庄内地方の三部に分る。最上川は南境より發して北流し、本邦三急流の一と稱せらる。中流の大石田は水陸交通の要路とす。

山形市はもと最上と稱す。置賜以來商業盛大となり、殊に鐵道の開通以來、市況活氣あり。米澤は上杉氏の舊城下にして、附近の地方は上杉鷹山の遺澤に依りて養蠶盛に、器械製絲業大に發達し、米澤織亦著名なり。現時工業學校・農學校を置く。酒田は庄内平野を控へ、最上川口に在りて船舶の碇



酒田附近砂丘の圖

泊に適す。此の海岸一帯は風砂の害大なりしが、富豪佐藤氏が秋田縣界に達する海岸に、防風林を經營せしより、之れを免るゝに至れり。

火山地方
鐵産多し

秋田縣 巖手縣と相表裏す。東境山深く、岩木火山脈は中央分水山脈と平行して、縣の中央部を走る。鳥海山は南境の名山なり。管内礦山に富み、院内、小阪の銀山及び阿仁、荒川尾去澤の銅山あり。殊に銀の産額は全國の十分の四を占め、銅は栃木縣に次ぐ。御物川流域の秋田平野は、秋田米の產地にして、八郎瀉附近能代川の流域に連り、秋田、土崎、能代等の都會あり。官設奥羽北線これを連絡す。男鹿半島は八郎瀉を擁して山水の明媚なること、東海岸の松島に譲らずと云ふ。沿海一帯は鯨の漁利大なり。

秋田市は畝織、八丈縞の産ありて市況盛に、第十六旅團司令

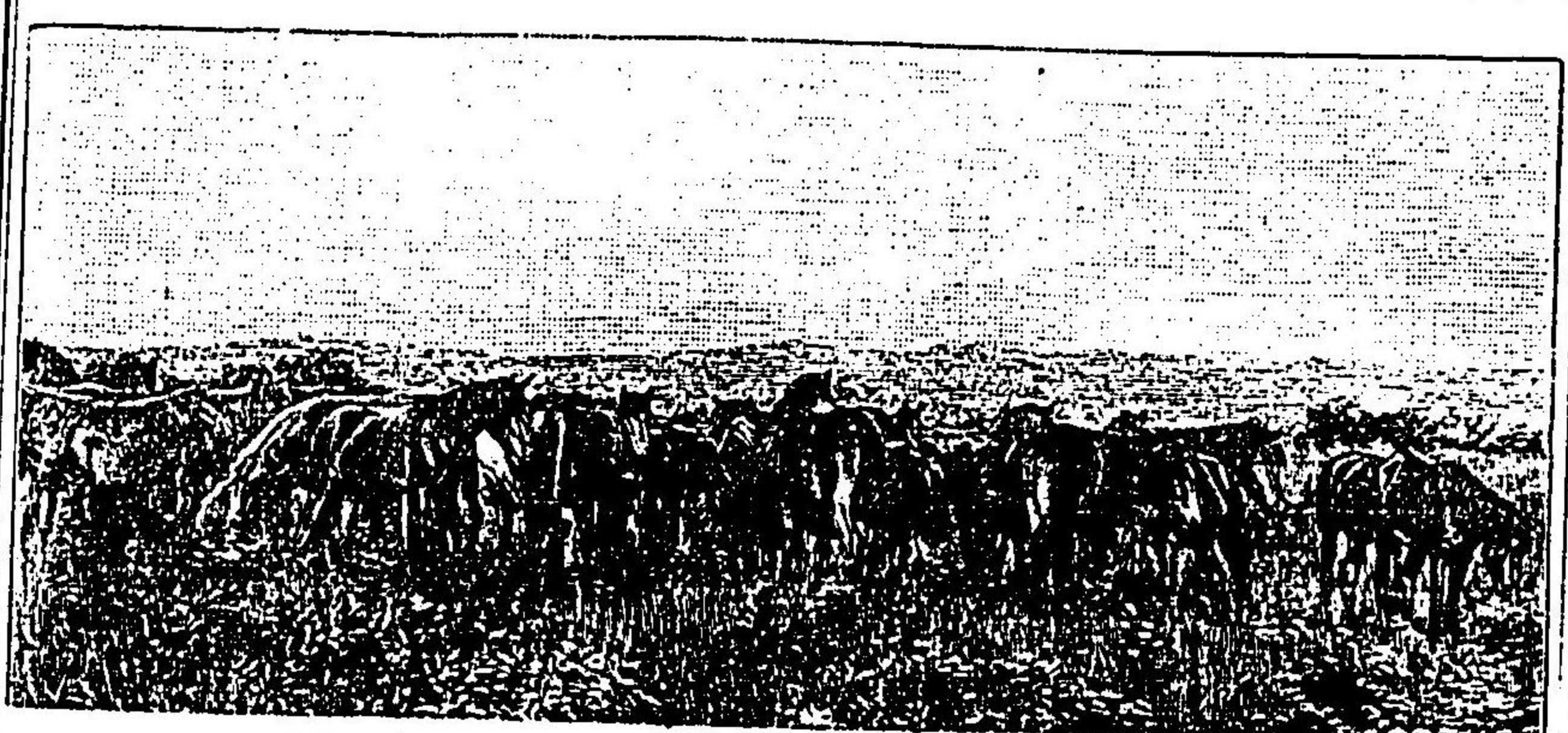


鹿渡驛より八郎瀉を望む圖

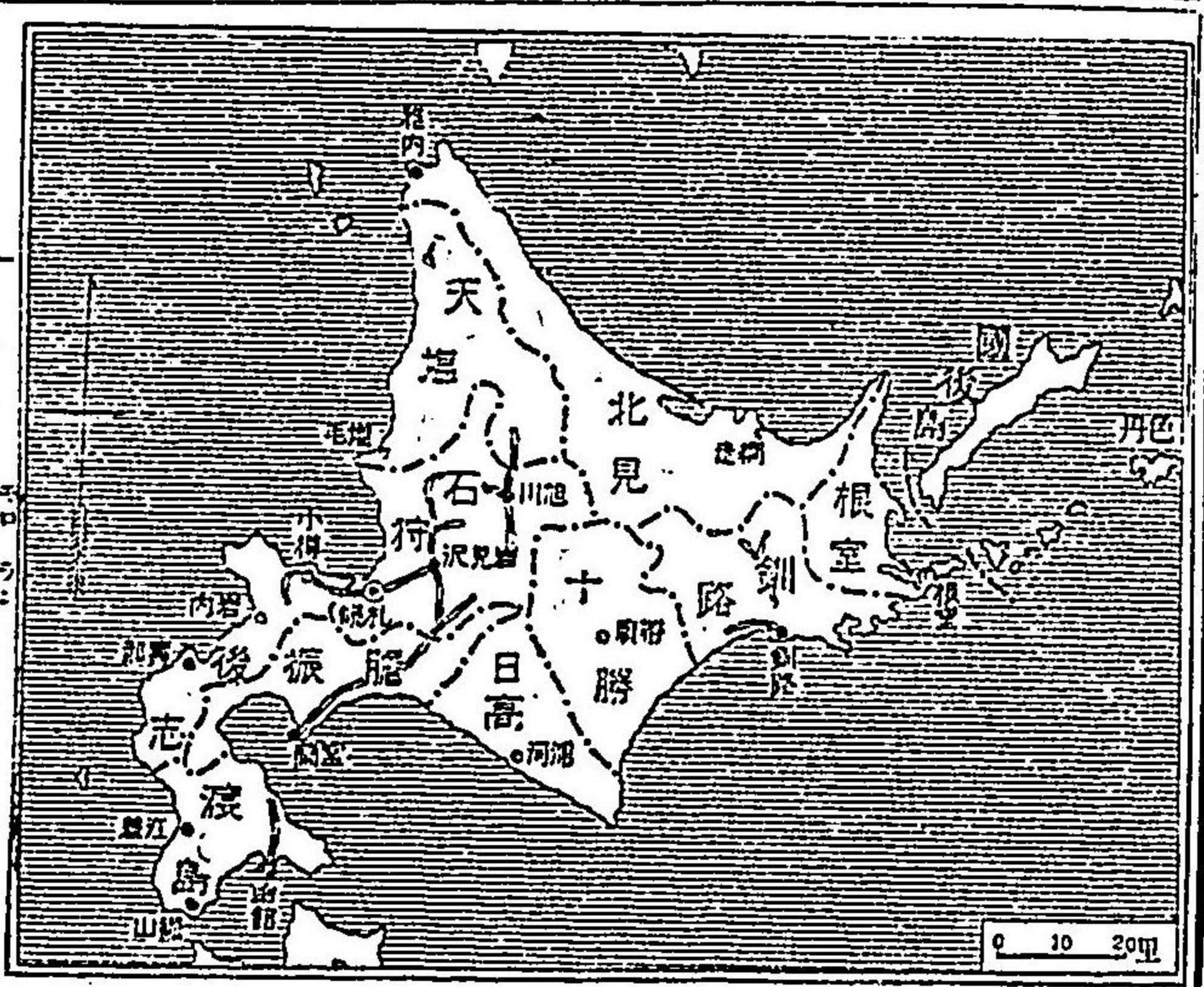
中明りあの丘小は南面と稱し丘上紀念碑
あり明治十四年聖上御駐驛の所と云ふ

部を置く。土崎港は其の門口に當り、北海道との航通繁く、商業の盛なること縣内第一とす。されども冬季波荒くして碇泊に適せず。北に寒風山を負へる船川は、一時これに代るべき良泊地なり。能代は川口に砂洲あり。良港と稱し難けれども、土崎に次ぐ商業地にして、春慶塗を産す。

青森縣 縣下の北部は斗南、津輕の兩半島凹字形をなして斗出し、陸奥灣を抱き、青森、野邊地、大湊の諸港、灣内にあり。沿海は鮑、鱒、昆布の産多し。北部に恐山、中部に八甲田山あり。



り。西部の岩木山は岩木火山脈の主山にして、津輕富士の名あり。岩木川其の東を流れて弘前市を有する津輕平野を灌漑す。東部馬淵川沿岸の平野には、八戸・鮫港あり。小河原沼附近は馬の産出多く、其の南の三本木は殊に名高し。畜産學校あり。東北線は巖手縣より來り、尻内にて八戸・湊に至る支線を分つ。青森市は陸奥灣内の青森灣頭に位す。函館交通の要地にして、日々汽船の往復あり。七時間にて達すべし。弘前市は津輕平野の中心市園場にして、奥羽北線に沿ひ、漆器の産あり。縣下第一の都會とす。第八師團司令部あり。



北州の圖

北州及び千島

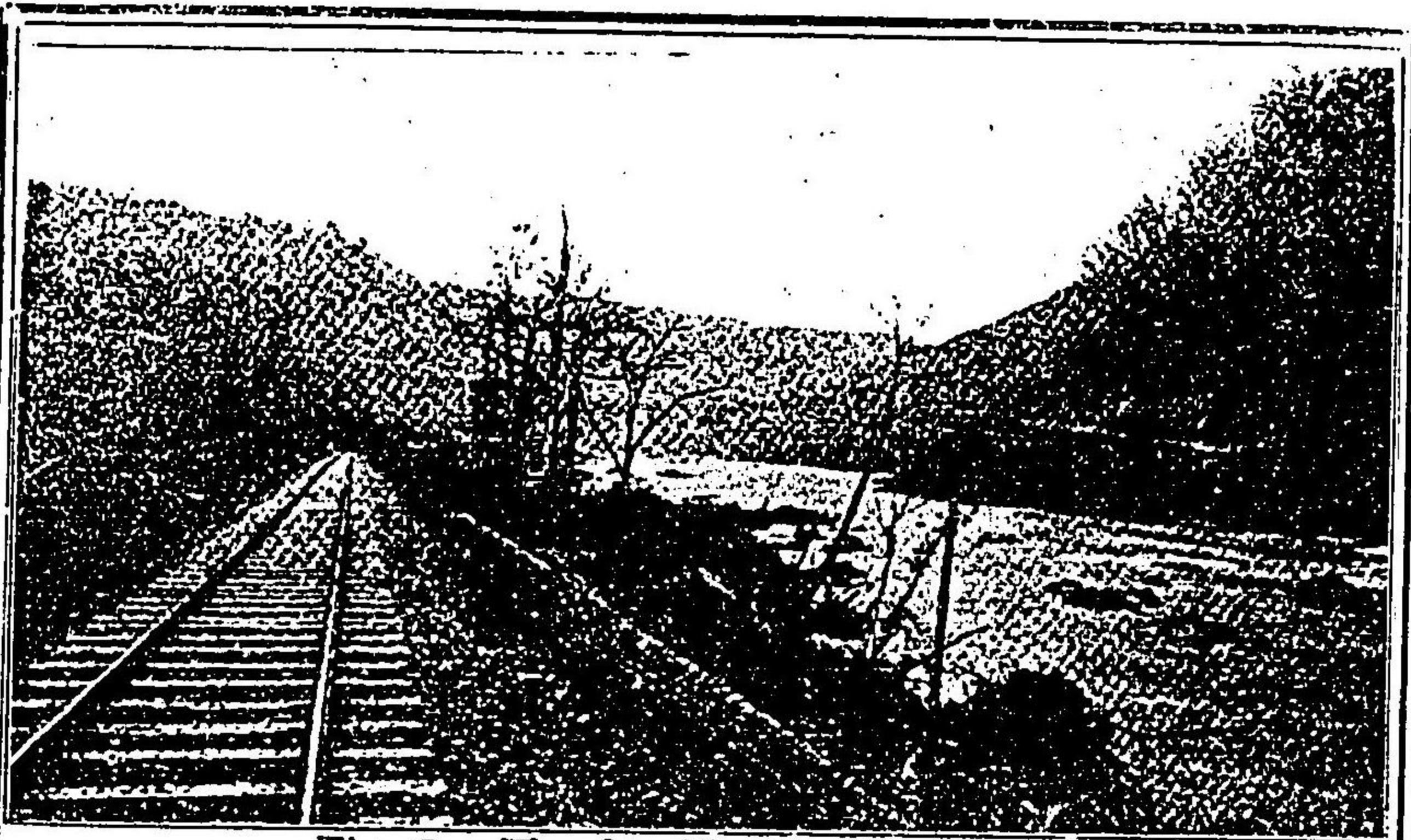
北州は本州の北に當れる一大島にして、徳川幕府の當時は南端の福山に松前藩を置きて、全島を管治せしめたり。明治二年全島を十國とし、千島諸島を合せて北海道と總稱し、札幌に開拓使廳を置きしが、後北海道廳と改め、全道を管治せしむ。現時其の下に十八支廳あり。

鐵道は大部は炭礦鐵道會社に屬す。手宮・室蘭は其の起點にして、一は札幌を過ぎ、一は苫小牧を経て、石狩平野の中部岩見澤に會す。官設上川線これと砂川に連絡し。旭川に至りて、更に天鹽・十勝の二線に分る。東部に

は釧路白糠間及び跡佐登標茶間に短距離の鐵道あり。西部函館・小樽間の北海道鐵道は、兩端より其の一部を開通せり。又小樽・稚内間並びに千島との間に定期航海あり。又函館より本州青森縣との間に二條の海底電線を通ず。

北州 地勢 樺太山系は殆ど南北に走りて、本島を縦斷し、千島火山脈は千島列島より來り、本島中央部に於て之れと相會す。兩山脈の相會する所にはヌタ、カウシュペ、十勝岳、石狩岳等の高峰聳え、本島の最高地點をなす。内地の山岳には蝦夷松、榎松、白楊等の森林あり、熊、鹿等多し。

本州の諸大川は皆中央高地より發し、四方に流れて其の流域を開く。石狩川は西部の傾斜面を流るゝ本島第一の大川にして、石狩岳より發し、上川地方を流れ、旭川附近にて忠別川、美瑛川を合せ、神居古潭の急流をなして、石狩の平野に

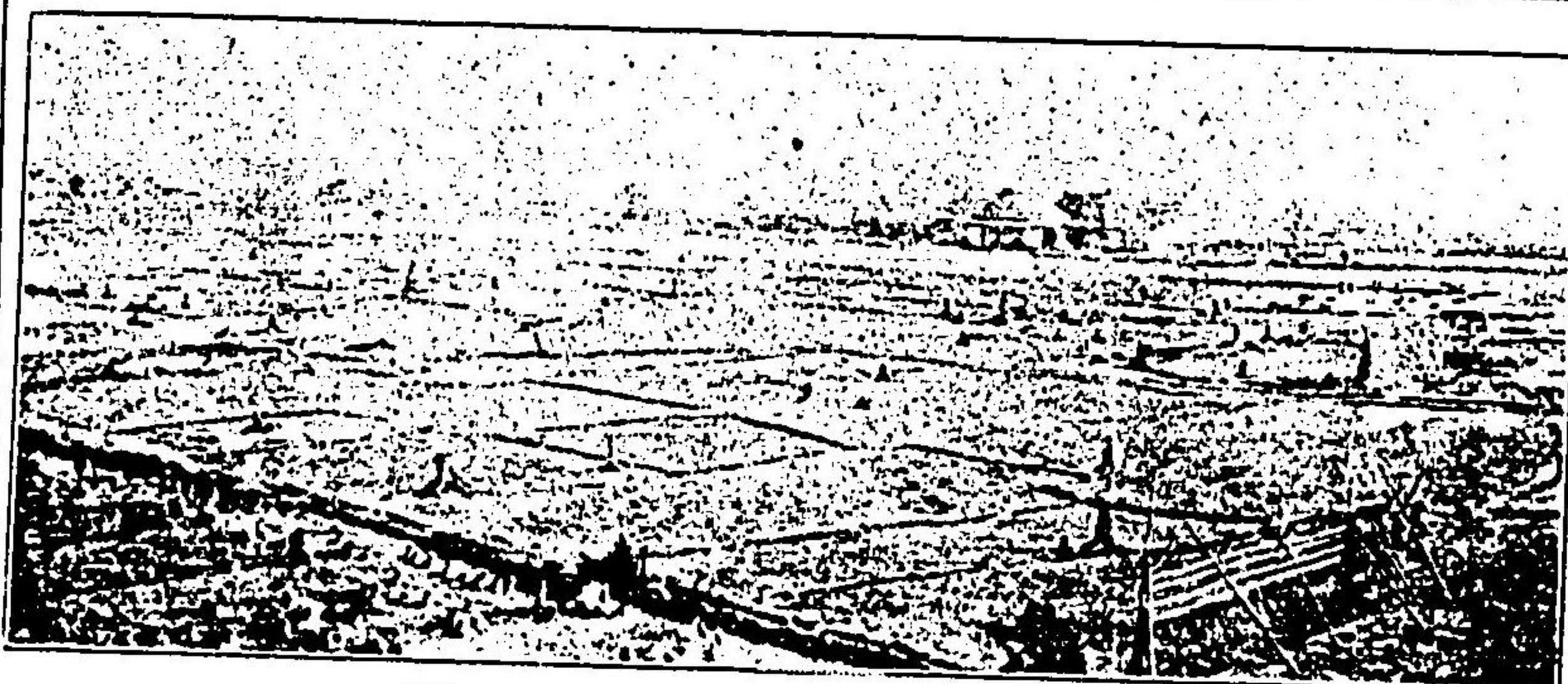


石狩川神居古潭の圖

左方の鐵道官設線にして上川地方に通ず

出で、更に雨龍川、空知川、江別川、豊平川を合せて石狩灣に入る。札幌區は其の流域にあり。其他天鹽平野を流るゝ天鹽川、十勝平野を流るゝ十勝川、釧路平野を流るゝ阿寒、釧路の二川の如きは石狩川に次ぐ大河なり。又オホーツク海に臨める北東面の一部を流るゝ湧別川と常呂川との中間に猿澗湖あり。本島第一の大湖とす。諸川には概ね流木横はり、河道の屈曲多く、航運に便ならず。冬季は河水氷結し、却りて馱馬を通ずるの利あり。

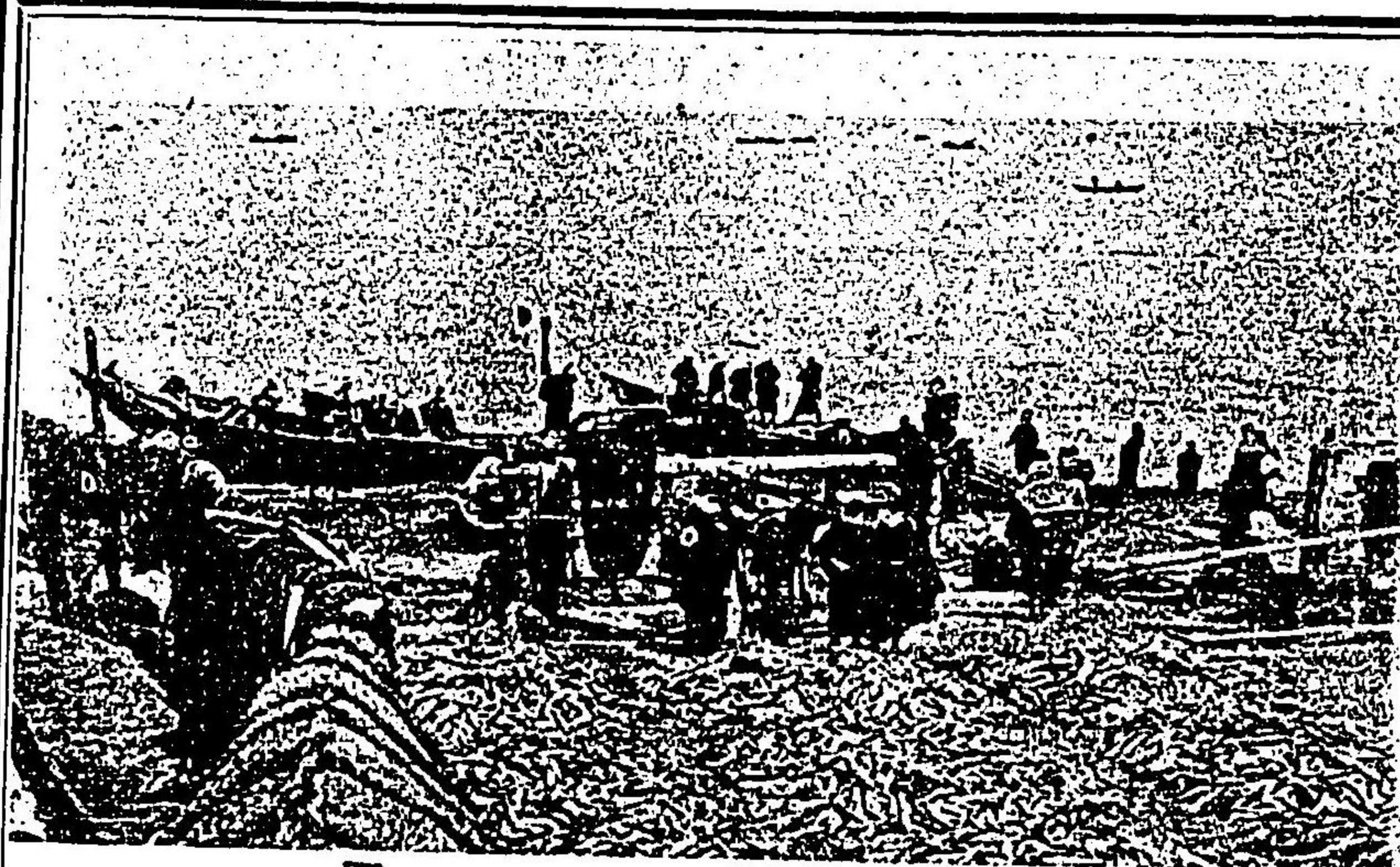
石狩平野は日本海に向ひて開き、南は



新開農村發達の圖

更に太平洋岸に達す。北州中地味最も肥えて
開拓事業亦最も進歩せる地方なり。平野の東
境には、幌内、幾春別、空知、夕張等の炭山多く、炭
礦鐵道之れを連絡す。此の平野の南西は北州
の半島部にして、渡島山脈の方向に従ひ、南東
に彎曲して内浦灣を擁す。其の附近には樽前
山、有珠岳等の火山あり、以て膽振火山脈を成
し、脈を本州に延く。内浦灣はまた噴火灣とも
いふ。十勝平野は十勝川の沿岸地にして其
の大き石狩平野に次ぐ。近時開拓漸く緒に就
き、河西支廳の所在地なる帯廣其の中部に位
す。十勝川の一派大津川口の大津は鮭漁に名
あり。

海岸 北州の西海岸は、函館以西には險崖多きも、渡島には
福山江差あり。又後志には鯨鱈の漁場なる壽都岩内、小樽の
諸港あり。天鹽には名邑増毛あり。天鹽昆布を以て名高き苫
前其の北に位す。本島西岸の北端にある稚内亦漁業盛なり。
此の地宗谷海峽を出づる暖流の支流あるを以て、冬季と雖
も氷結せず。西岸の小樽と東岸の枝幸との間に汽船の往復
あり。北見第一の繁昌地とす。本島の東岸より知床岬を經
て、納沙布岬に至る間は概ね低くして、野付の砂嘴を除く外、
著き出入なし。港は根室及び網走あるのみ。南岸には中部
に襟裳岬突出して海岸を東西に分つ。東部には釧路、厚岸、花
咲等の港あり。釧路は開港場の一にして、北方跡佐登に産す
る硫黃の輸出港たり。
物産 沿海は西岸に暖流を有し、南東岸に寒流あり、水産最

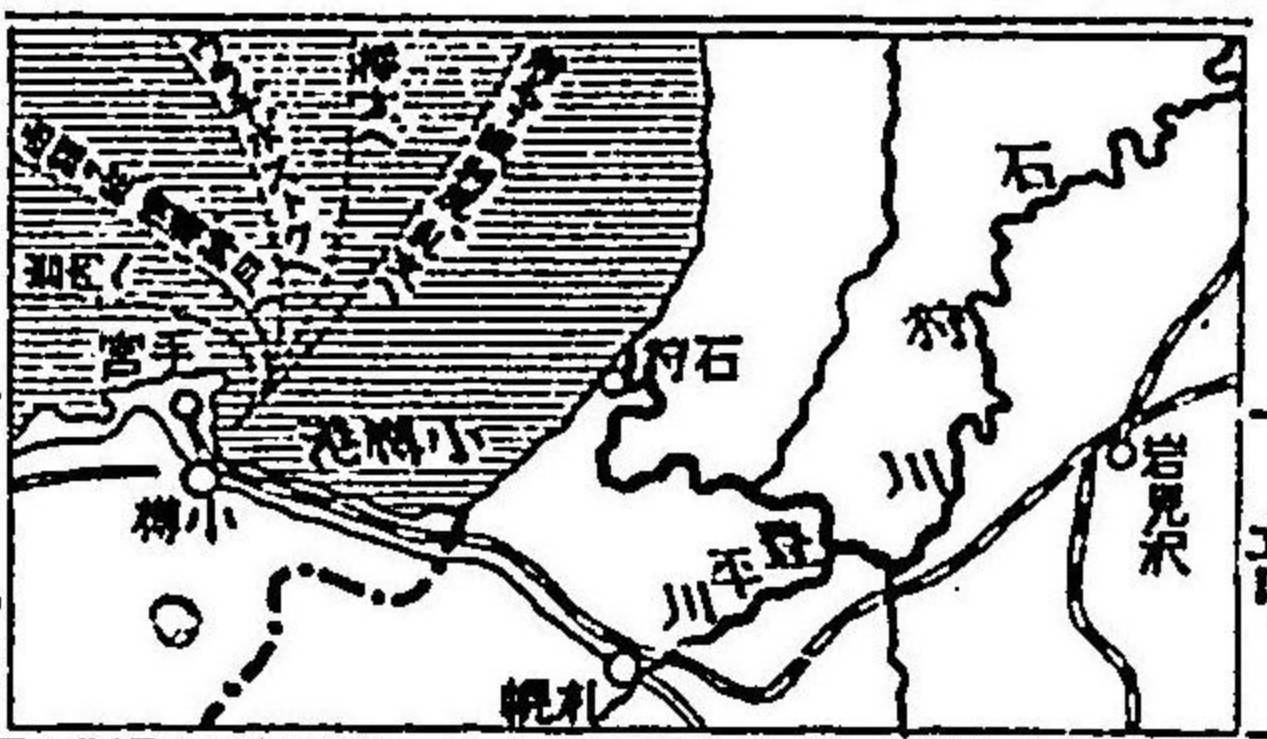


も豊富にして、鯨・鮭・鱒・鱈・昆布・臘虎・臘豚
 獸等を産す。殊に鯨は北州第一の漁利
 にして、西岸の小樽・壽都・増毛を主なる
 漁場とし、東岸にては根室を推す。漁期
 は春分頃にして其の肥料の産額一千
 萬圓以上に達す。鮭は秋分頃を漁期と
 し、石狩川を第一の産地とす。川口の石
 狩港爲に賑ふ。日本海上の奥尻・利尻・禮
 文の諸島亦皆鯨の好漁場たり。

本島は又林産・鑛産に富み、森林の地積
 は約五百萬町歩を下らず。各種の鑛物
 は殆ど埋藏せられざるものなけれど
 も、未だ其の富源を開發するに至らず。

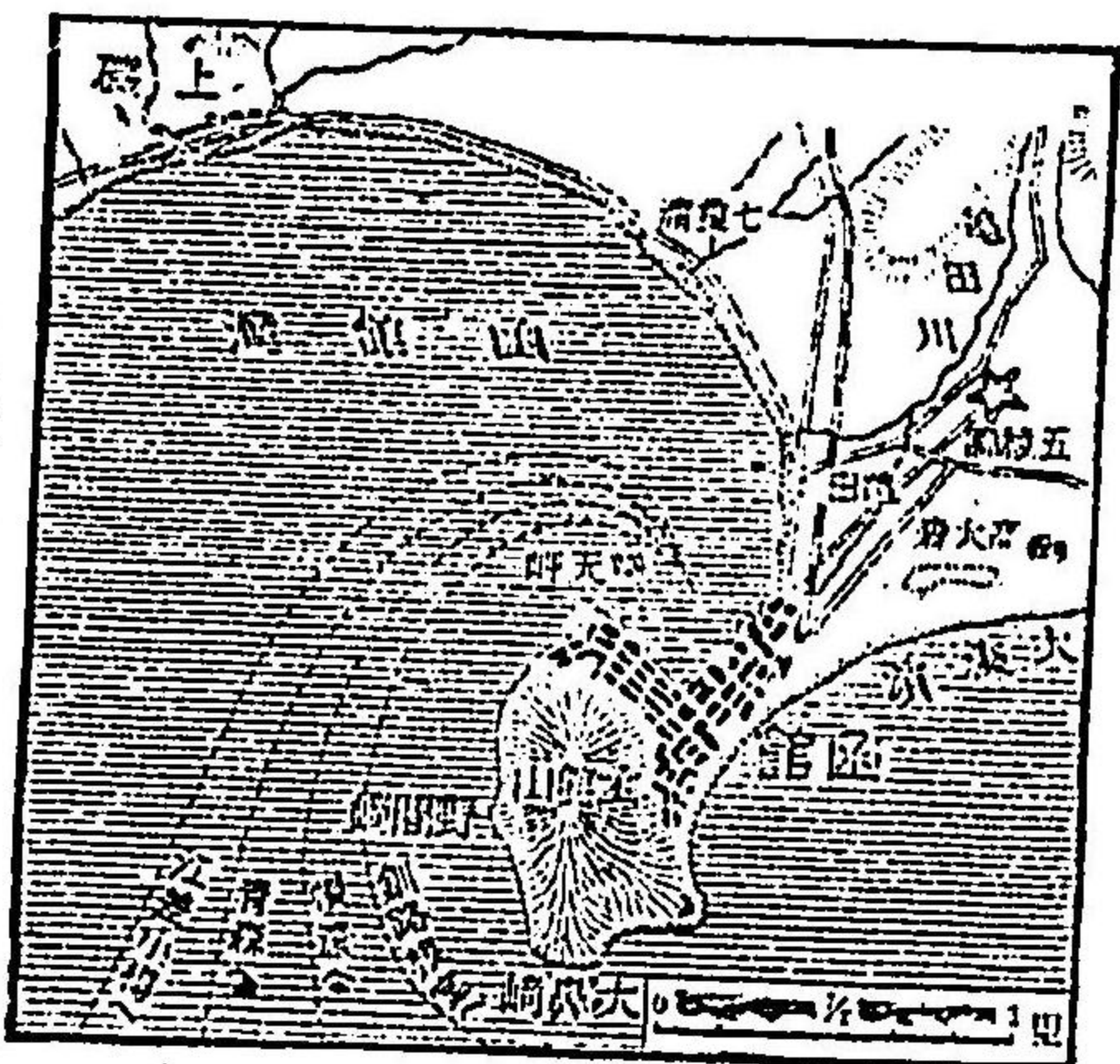
金・石炭・硫黄の外多額の産出なし。枝幸は近時著名なる砂金
 の産地なり。又全道の平野は概ね穀類・蔬菜に適するも、農
 業亦未だ進歩せず。工業は製麻・製藍・製粉及び麥酒の醸造。
 木材挽割・罐詰・燐寸・軸木の製造を其の主なるものとす。軸木
 は其の原料多きを以て五十餘の製造所あり。網走最も有名
 なり。米・酒・砂糖・鹽・味噌・醤油・織物・漁網等の日用品は、函館・小
 樽を経て本州より輸入す。

人口 維新以來奥羽・新潟及び北陸地方より移住せるもの
 多く、人口年々増加すれども、本州に比すれば尙極めて稀薄
 にして、僅かに八十四萬人、即ち一方里に百三十八人のみ。
 札幌區は北海道廳の所在地にして全道交通の中心たり。人
 口三萬七千、札幌支廳及び札幌農學校あり。製麻會社・麥酒會
 社等の工場多し。北西の小樽港は札幌の輸出入口にして、恰



札幌及び小樽附近の圖

も東京・横濱間の關係を有す。北東の旭川は第七師團司令部。上川支廳あり。市街の南西なる旭岡は、美瑛川と忠別川との會合點に位し、將來離宮を造營せらるべき地なり。小樽區は三方に丘陵を負ひ、東方は小樽灣に臨む。松前藩の當時は鯨の一漁場に過ぎざりしが、維新後札幌に通ずる道路を開き、波止場を設けしより、商況大に進歩し、築港亦進行中にあり。人口約六萬あり。西岸唯一の開港場にして、樺太、シベリア等に定期航海あり。神戸との航海には函館・荻・濱・横濱を經過する東廻線及び日本海諸港を經過する西廻線あり。共に此の港を終點とす。鯨・石炭・鐵道用枕木等を輸出し、米・織物等を輸入す。函館區は函館灣に臨み、人口七萬餘あり。控訴院・函館支廳・商業學校・商船學校あり。港は北州南方の開港場にして、小樽・青



函館附近の圖

森・荻・濱・横濱等に定期航海あり。又税關及び外國領事館あり。毎年此の地より樺太・シベリア沿岸地方に出漁するもの亦五六千を下らず。鮭・鱒・昆布並びに鰯・鱈・鱈等々を輸出す。函館の北東にある五稜廓は、函館奉行の築造に係り、維新最終の古戰場にして、今は其の外濠が製氷所として名あるのみ。内浦灣南岸の森は、函館より室蘭を経て札幌に至る街道に當り。江差は函館・小樽間の寄港地にして、現時檜山支廳を置く。室蘭は、海路函館に通じ、陸路は鐵道にて札幌と連絡し、海陸の運送最も便なり。開港場の一にして、石炭の輸出巨額に上る。室蘭支廳の所在地たり。

を降らす、從ひて此の高地より發して、北流する射水川・神通川、及び北西に流る、九頭龍川は、雪解けの候何れも漲溢す。能登は日本海岸の大半島にして、其の東岸に七尾港あり。沿岸險崖多し。南西の敦賀灣に敦賀港あり。其の外沿岸著き出入なく、概ね砂濱にして、川口亦淺く、水深屢變更するを常とす。

官設鐵道北陸線は富山・金澤・福井を連ねて、東海道鐵道に連



北陸地方の圖

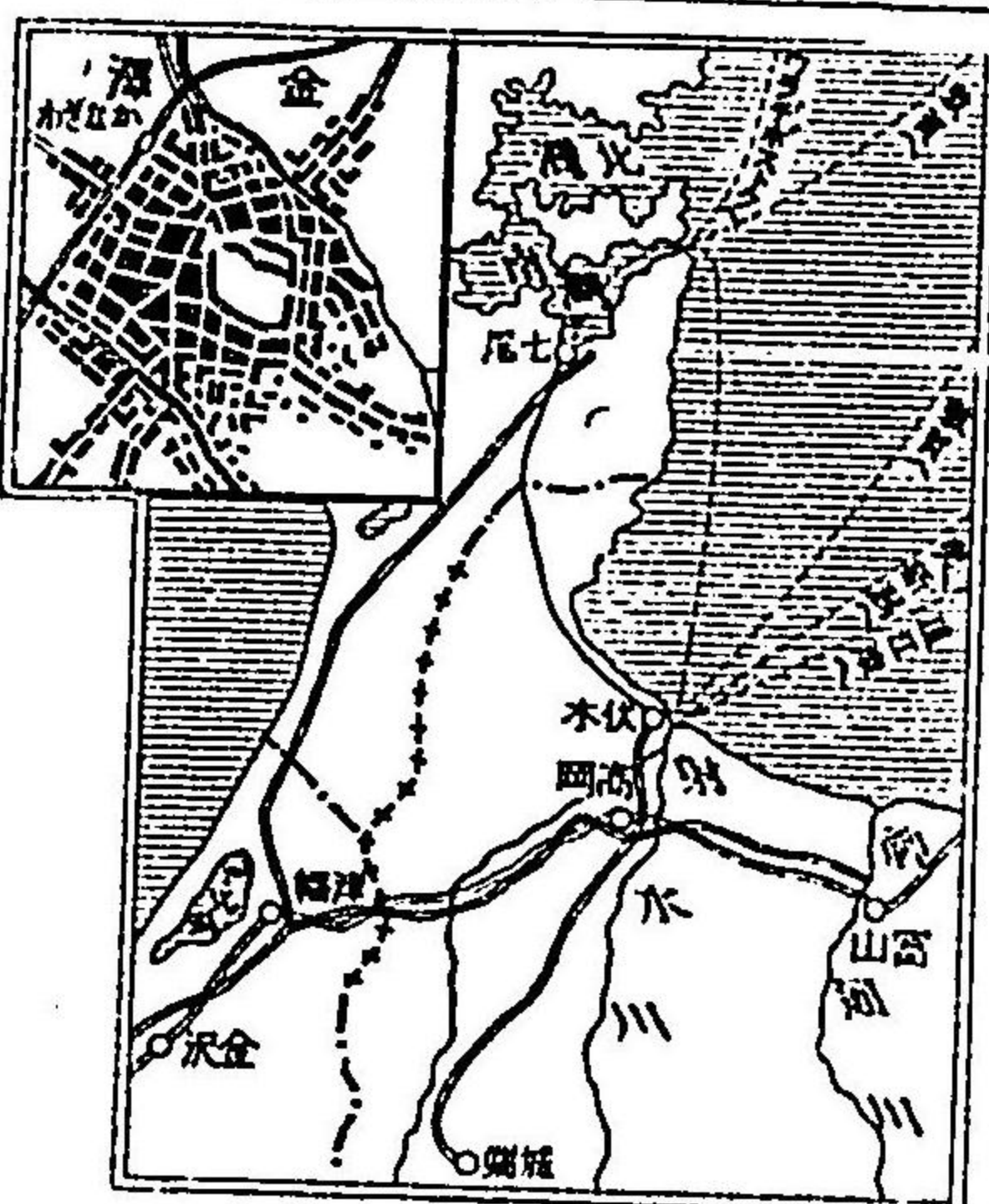
絡し、北陸街道も亦略これと并行す。又北陸線に接續する七尾鐵道・中越鐵道あり。

縣名	廳所在地	其の人口	距離(汽車程)
富山	富山市	五、九	金澤へ二時四〇分
石川	金澤市	八、四	福井へ二時三七分
福井	福井市	四、四	名古屋へ七時三四分

富山縣 中央高原の北に傾ける地方にして、立山、其の南

東境に聳え、今尙ほ盛に硫烟を噴出する地獄谷あり。立山より發する黒部川は水勢急にして、下流は黒部の四十八瀬と稱せらる。愛本橋の奇橋あり。神通・射水兩川は、飛驒高原より來りて北流し、富山灣に注ぐ。川口には砂洲ありて、泊船の利に乏し。雖も、鮭・鱒の漁利多し。流域の平地は越中米の産地にして、養蠶亦行はる。富山・高岡及び農學校の設ある福野は、其の流域内にありて鐵道にて連絡す。加越の國境なる俱利伽羅峠の嶮は、北方に鐵道並びに新道を通じ、今は只史上に名あるのみ。

富山市は神通川の下流に在り。貨物の集散地なり。其の名産なる賣藥の販路は、全國に普及す。高岡市は北に中越鐵道にて連絡する開港場伏木港を控へ、銅鐵器・漆器の産あり。機



富山七尾金澤附近の圖

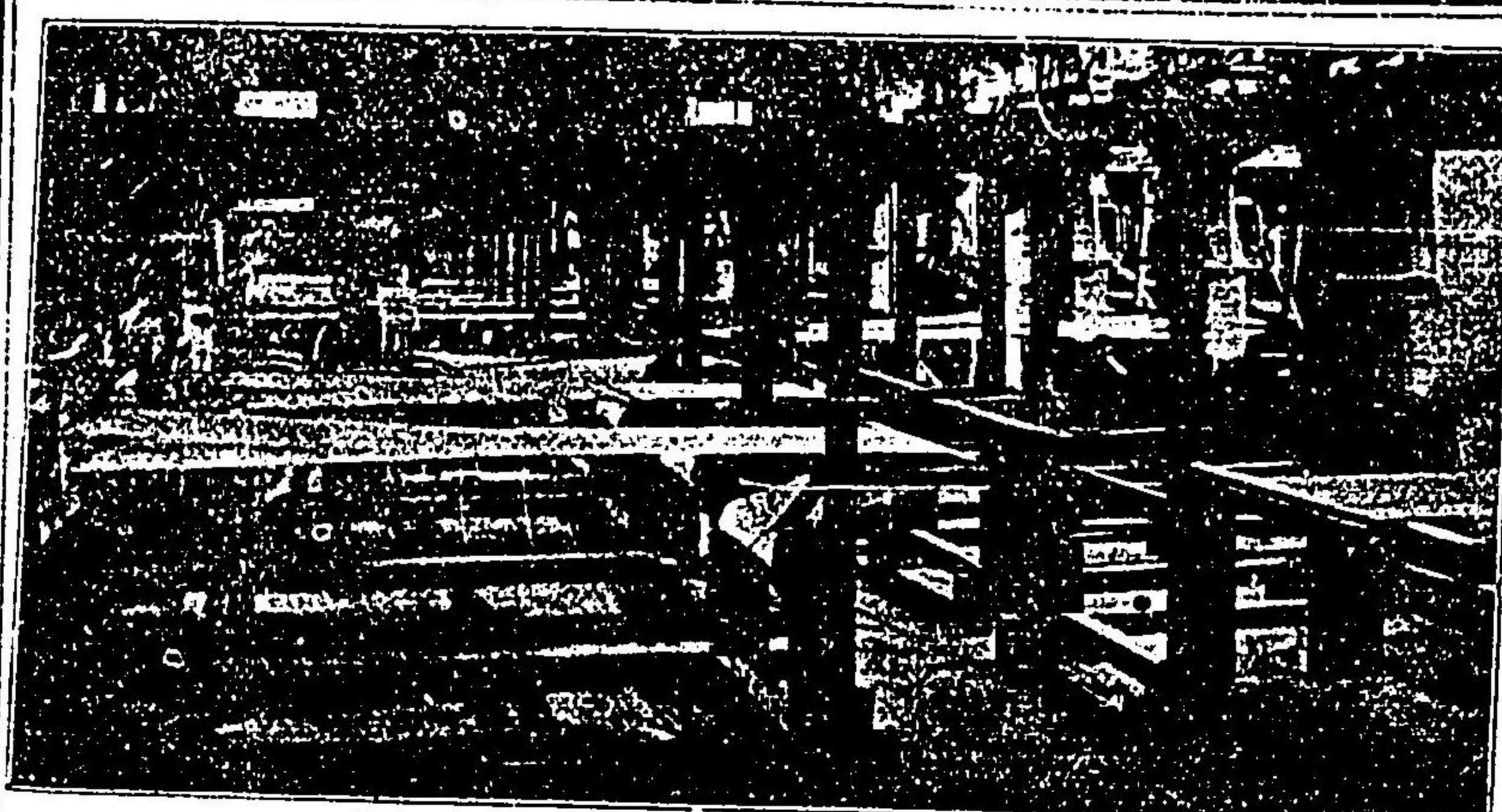
業亦盛なり。近傍に工藝學校あり。
石川縣 北陸地方の中部に當れる地方にして、東境の白山は南北に其の脈を延き、手取川は白山より發して北西に流る。縣の南部は北西風を受けて降雪多し。海岸の低地には潟多く、耕地の産は岐阜、愛知に次ぎ、漆器の産は静岡に次ぐ。

金澤市は前田氏百萬石の舊城地にして、九谷焼、象眼細工、絹布を名産とす。第九師團司令部、第四高等學校、醫學專門學校、工業學校ありて、自ら北陸地方の中心地たり。市の兼六公園はもと前田氏の庭園にして、日本三公園の一と稱せらる。市中を流る、犀川の口に金石港あり。大聖寺には九谷陶器

會社あり。舊藩主の獎勵に由りて九谷村に起り、肥前の製陶法を傳へて大に進歩せりと云ふ。

能登は北方に寶立山聳へて山地多く、地味瘠せて農業に適せず。北岸の輪島は輪島塗を以て著はれ、沿海の製鹽は日本海岸第一位に居る。東岸の七尾は開港場の一にして、ウラヂポストクに直航する定期航路あり。縣下の工産物及び富山縣の農産を輸出す。

福井縣 北陸地方の南西部にして、濃飛高原より北西に傾く。九頭龍川は足羽川、日野川の合流を入れて北流し、越前米の産地を灌漑す。川口に三國港あり、縣内機業殊に發達し、盛に羽二重を織り出す。織物の産額群馬縣に次ぐ。日野川に沿へる福井を其の中心とす。西部の若狹地方は中國山脈連り。敦賀灣頭の外は平地乏しく、地味瘠せて農産豊かならず。



羽二重工場内部の圖

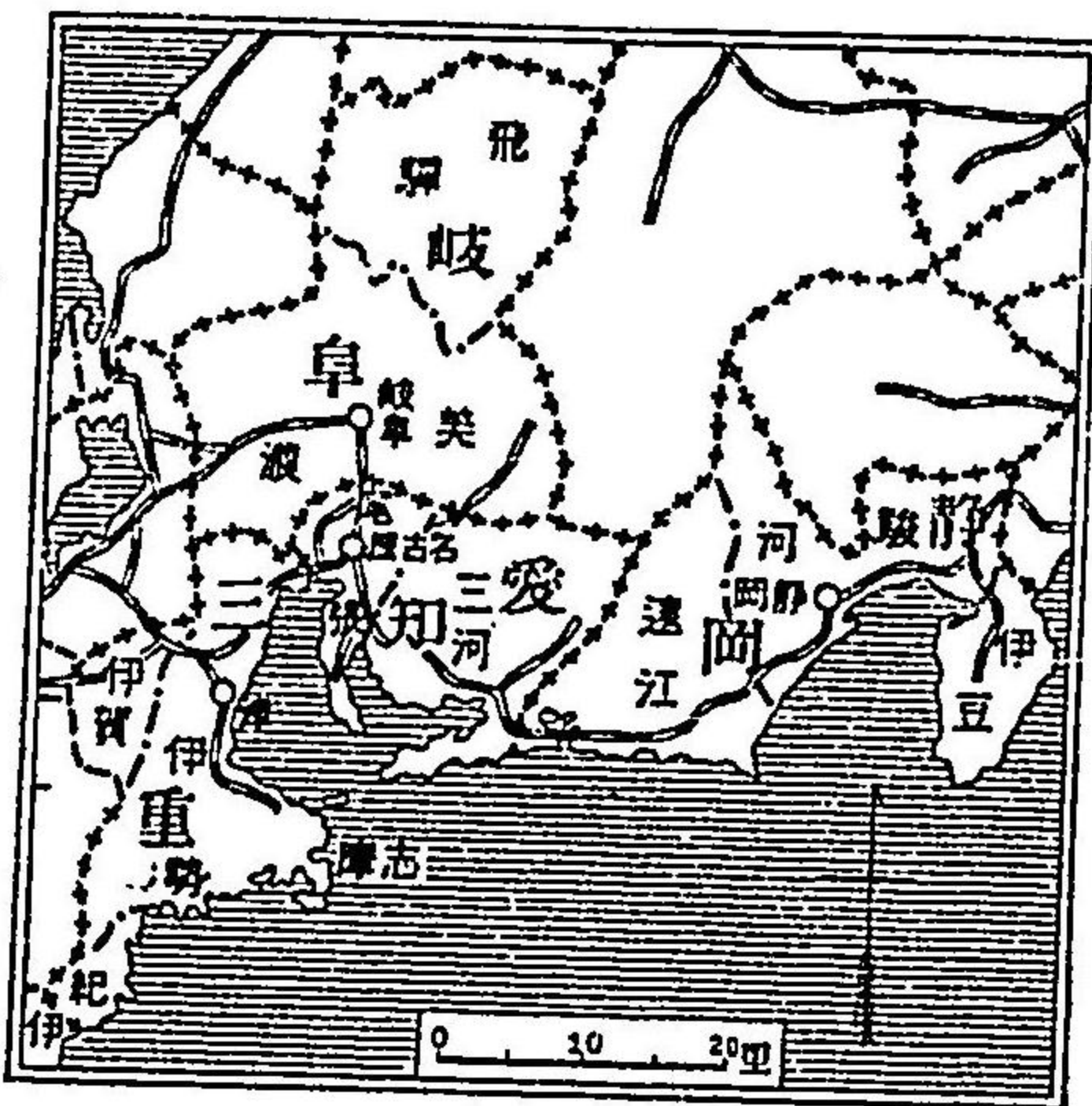
縣下の年産額一萬三千五百圓に達する

海岸は屈曲多く漁利又多し。福井市はもと北莊と稱す。結城秀康此の地に封ぜられて後、今の名に改む。夙に奉書紬を産せしが、明治二十年以來羽二重業起れり。市内に農學校及び新田義貞を祀れる藤島神社あり。僧道元の開創せる曹洞宗本山永平寺もまた市の東方四里に在り。又市の南方には武生の機業地あり。九頭龍川口の三國港は福井と漕運の便あり。敦賀は北風を避くるに適せずと雖も、金崎より波止場の設あり。日本海の良港にして開港場の

一に居り、ウラヂポストクに直航の定期航路あり。町に第十八旅團司令部を置く。金崎には尊良親王を祀れる金崎宮あり。小濱港は其の西の青戸入江と相待ちて碇泊安全なり。小濱鯛・若狹塗を名産とす。又水産學校あり。

東海地方

關東平野の西境なる箱根峠より西志摩半島に至る地方を云ふ。富士火山脈の貫ける伊豆は南方に突出し、遠州灘を隔て、遙に志摩半島と相對し、更に其の間に三大彎入を成す。即ち伊豆半島と御前崎との間は駿河灣にして、志摩・知多兩半島の間は伊勢海、知多・渥美兩半島の間は三河灣なり。富士・大井・天龍・矢作・木曾の諸川は皆北部の山地より發し、南流して、太平洋に注ぐ。諸川の沿岸及び海岸附近は平地廣し。飛



東海地方の圖

縣名	廳所在地	其の人口	距離(汽車程)
静岡	静岡市	四、二	横濱より 五時五八分
愛知	名古屋市	二四、四	静岡より 六時一五分
三重	津市	三、三	名古屋より 三時四一分
岐阜	岐阜市	三、二	全 一時二一分

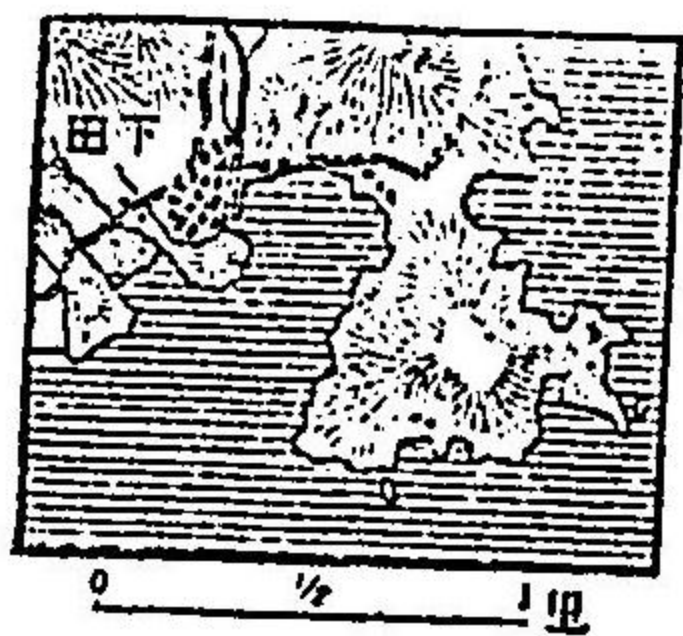
驛高原は長野縣に隣れる本州中央高地の一部にして、飛驒川は南部の水を集め、南流して木曾川に會し、北部の水は神通射水兩川の上流となりて北流す。伊勢海西岸一帯の地方は伊勢にして、北西には鈴鹿山脈ありて、四面海なき伊賀に接續し、南には紀伊山脈連る。其の間の諸川は皆東流して伊勢海に注ぐ。

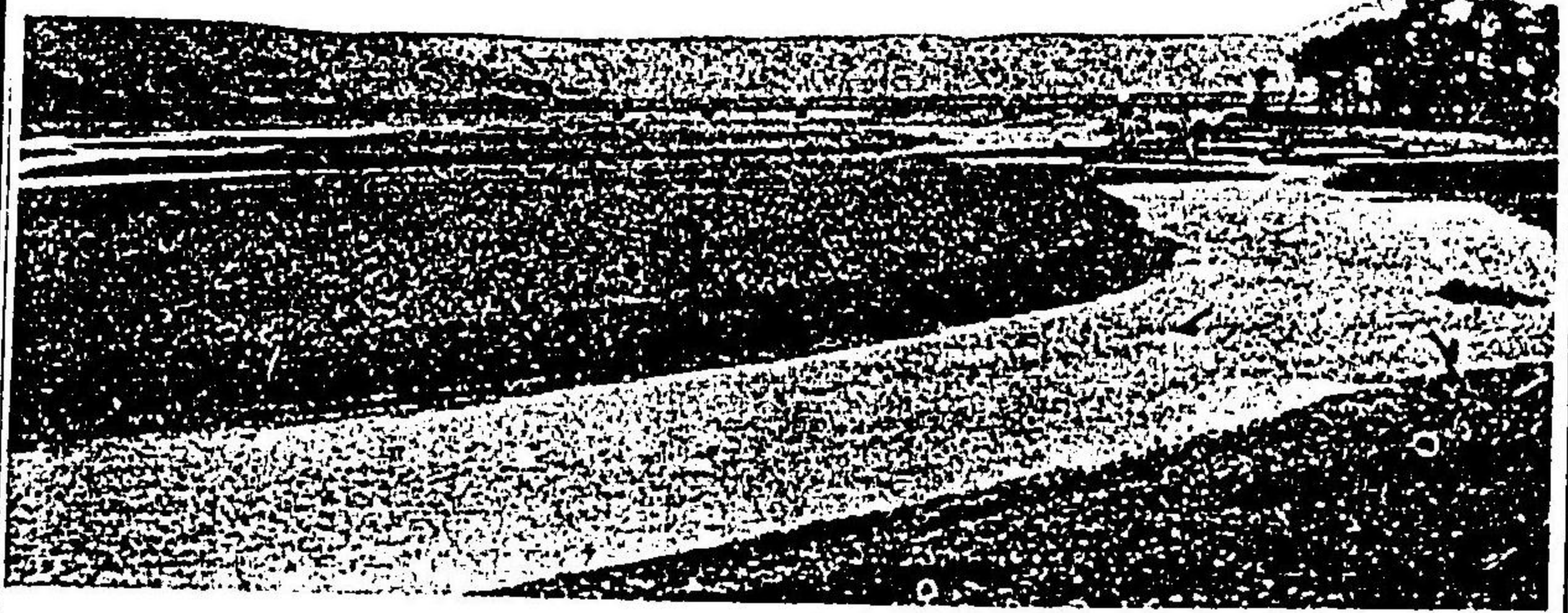
静岡・愛知・岐阜の三縣は東海道鐵道之れを貫通し、官設中央

西線及び三重縣を貫ける關西鐵道は名古屋に起る。又關西線に連絡し、津より山田に至る參宮鐵道あり。飛驒は全く鐵道の便を缺く。

静岡縣 關東平野の西に隣れる地方にして、富士山は北境に聳えて、山梨縣と腹背を成す。富士火山脈に屬する箱根山は、富士山の南東に位して、關東平野との境界をなし、船材に富める**天城山**は、其の南方伊豆の中央部に位し、火山岩海に迫りて石廊崎を成す。處々に石材の産地あり。又溫泉多し。間歇泉に名高き**熱海**は北部に、源頼家幽屏の地たる**修善寺**は中部に、南端には史上に名高き**下田港**あり。豆相鐵道は修善寺附近に起りて三島驛に至る。

駿河・遠江は赤石山脈其の北境に聳えて、其の脈遠江の中央に位する秋葉山に連り、地勢は南に





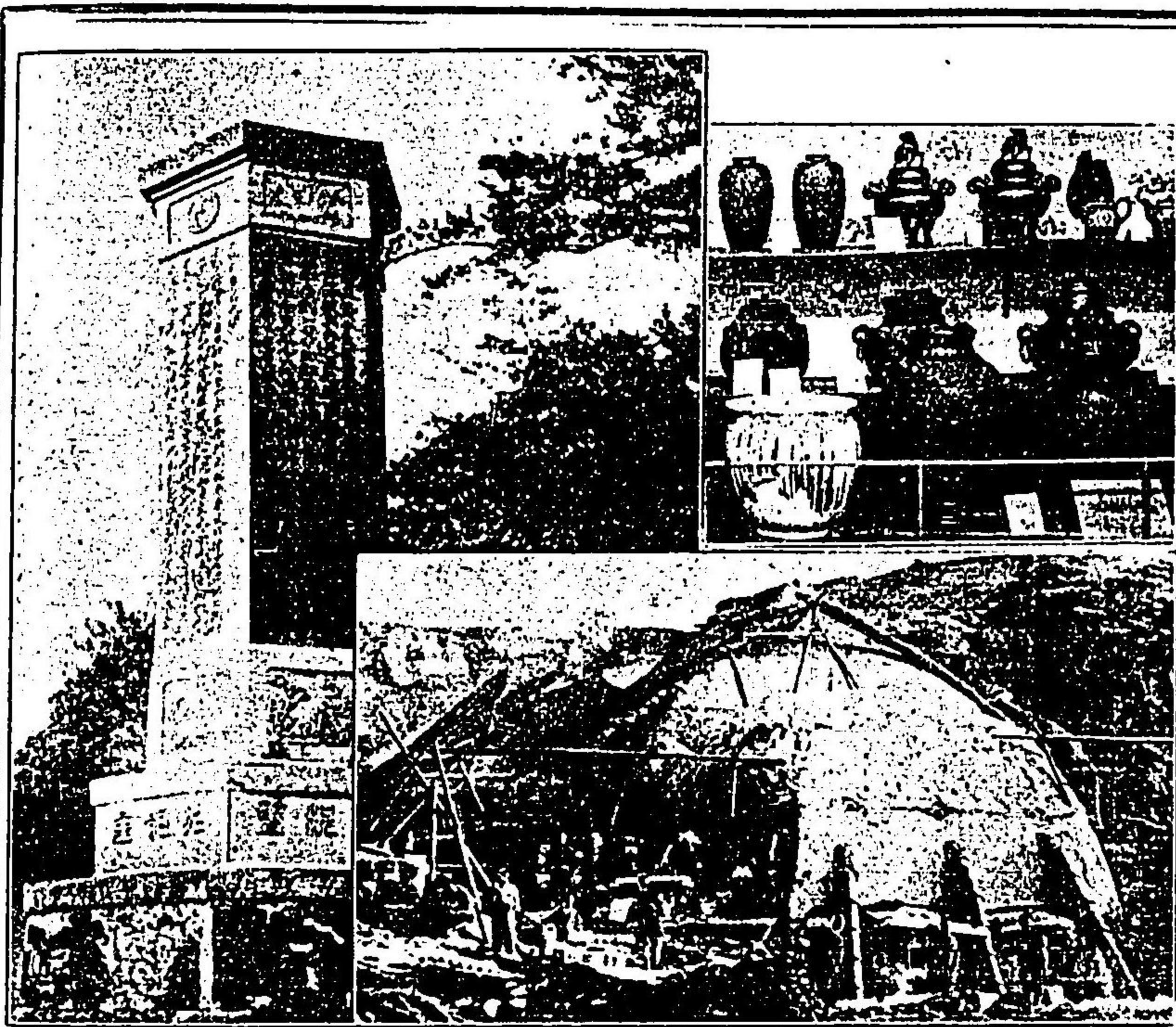
大井川の圖

急斜するを以て富士・大井・天龍の諸川、何れも急流にして、雨後には水量激増す。富士川は甲・駿兩國の通路を成し、更に運河を以て東海道岩淵に通ず。蓮臺渡に名を得たる大井川は今も尙鐵道の外橋梁を架せず。天龍川は北部林産の輸送に利あり。縣内山林多く、富士山麓の大宮及び伊豆の函南には農林學校あり。諸川の沿岸及び海濱の地は次第に開拓せられて、茶樹・楮・三椏の栽培盛なり。殊に茶の産額二百萬貫に達す。静岡・濱松等を其の取引の中心地とす。海岸には千尋以上の深度なる駿河灣あり。海上には黒潮の暖流ありて鯉の漁利多く、鯉節の産額七十萬圓に及び、茶と共に縣

下の二大特産たり。

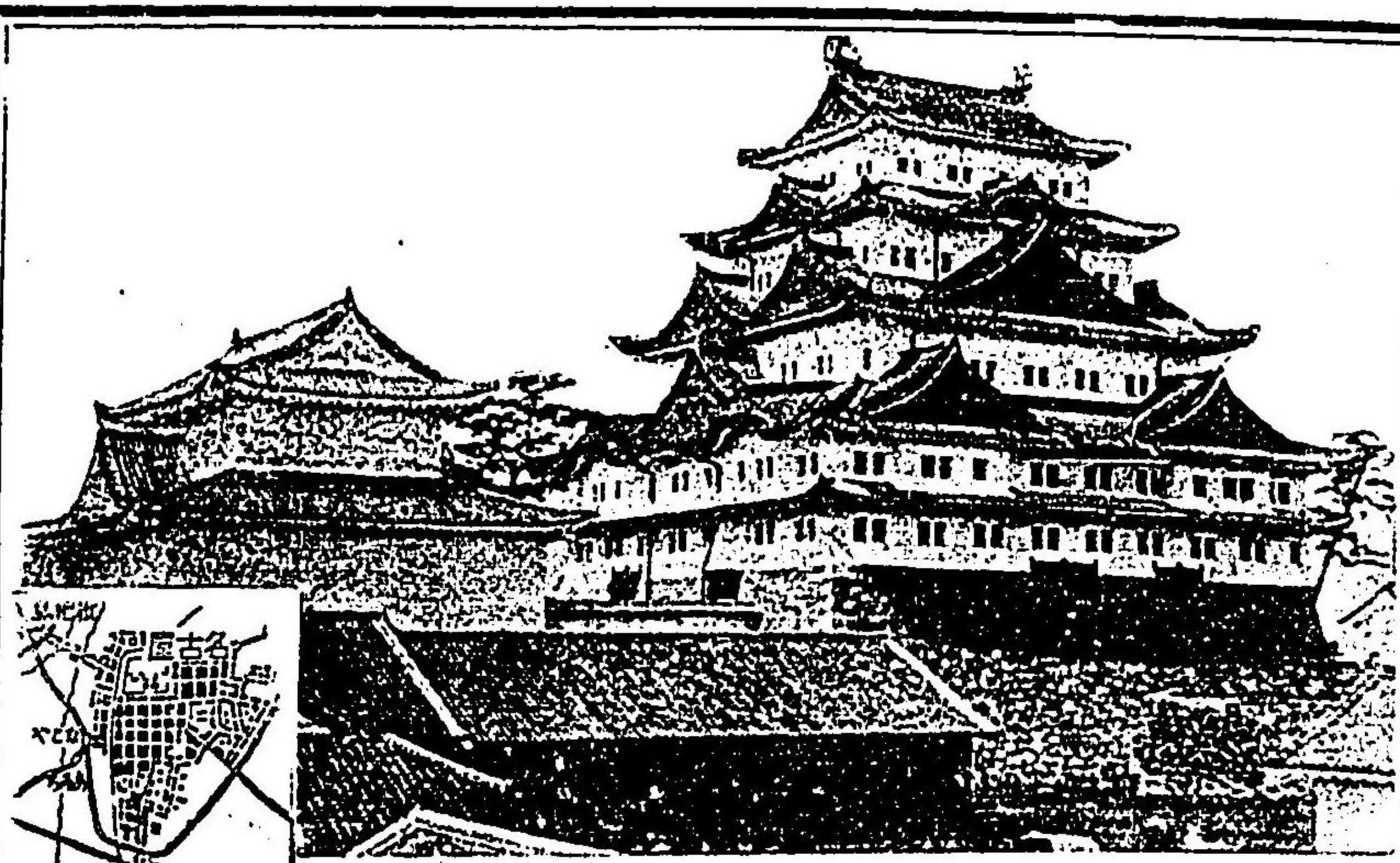
静岡市は駿府城の在りし所、賤機山を負ひ、久能山、安倍川を控へ、頗る要勝の地なり。漆器・竹細工を産し、製茶・半紙の取引多し。商業學校あり。又市外に臨濟寺あり。清水港は開港場にして、前面には三保松原斗出し、風波穩かなり。濱松は天龍川の流域の平地に在りて、其の平地は三方原の古戰場に連り、茶・藪席の製造・取引共に盛に、商業學校あり。

愛知縣 東海地方の中部に位す。尾張の大部は濃尾平野の南部にして、米の産出多し。尾西鐵道西部に通して、東海道・關西の二線を連絡し、武豊線は東海道鐵道の太府より起り、清酒に名ある半田を過ぎ、開港場武豊に達す。北東部は陶器の原料に富み、瀬戸は陶祖藤四郎の窯を開きしより、窯業を以て其の名高く、尾張侯の保護に由りて發達し、多く輸出向



瀬戸陶器改良窯及藤四郎の陶製墓碑

製品を出す。南方知多半島の常滑も亦土管の製出多し。兩地共に陶器學校あり。三河には國名の由りて起れる矢作、太平、豊の三川あり。北東部は山丘連る。鳳來寺を以て名高き鳳來寺山は森林鬱葱たれども、其の他は概ね矮松あるのみ。平地には綿を産し、三河木綿の名夙に著はる。縣内各地紡績機業盛に、絹綿交織の産多し。陶器は本邦第一

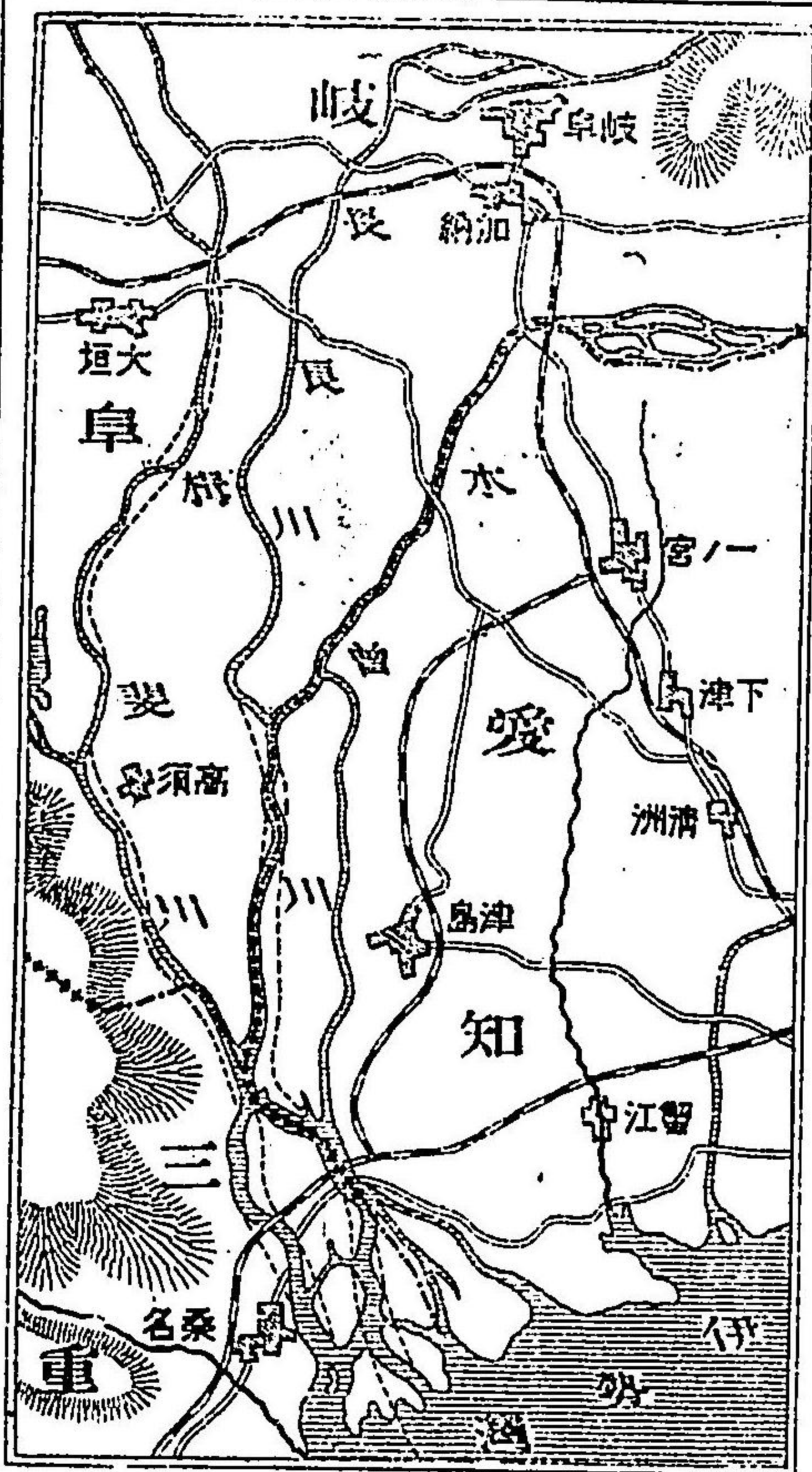


名古屋城及名古屋市の圖

位を占め、一年の産額百萬圓以上に達す。名古屋市は濃尾平野の大市場にして、庄内川に跨り、南方熱田に接し、東海道中仙道の要路にあたる。且つ其の位置恰も東西兩京の間であり、三府との連絡最も密なり。人口二十四萬あり。徳川氏が親藩を置きし地にして、六十二萬石の舊城下たり。其の城は徳川家康の諸侯に課して、造營せしめたるものにて、牙城は金鯱を以て著はれ、現今離宮となれり。城址に第三師團司令部を置く。綿絲織物。

浪を避くるに適す。熱田及び大阪に定期航海あり。四日市は神戸・横濱間第一の港にして、稻葉三右衛門の經營によりて、漕運の便大に開け、開港場の一たり。商業學校あり。萬古焼を産し、洋紙紡績絲の製造亦盛なり。

岐阜縣 東海地方の北部に當り、美濃・飛驒を管治す。北方



木曾川分流水工の事新河の部南の圖
點線は分流水工の事新河の部南の圖を示す

の飛驒は濃飛高原に屬し、其の東境には飛驒山脈の高山相連り、土地高くして寒氣強く、冬季積雪丈餘に及ぶ。交通不便なるを以て、風

俗質朴に、工匠若くは礦業に従事するもの多く、中古以來飛驒匠の名高し。高山町は一位細工を出し、其の北方神通川の上流、高原川附近の神岡礦山は、銀銅鉛を産す。南方濃尾の平野は、木曾川の流域に屬し、長良・揖斐の二大川更に之れを灌溉し、地味極めて肥沃にして、農産最も豊かなり。屢洪水の害ありしが、明治二十年三大川の分流工事に着手してより水災漸く減ぜり。

岐阜市は此の沃野の大都會にして、稻葉山を負ひ長良川に臨み、名古屋より京阪に通ずる要路に位し、繭生絲等の取引多し。又提燈團扇・油團の名産あり。近傍に農學校を置く。南西の大垣は、揖斐川・株瀨川の間在り。大垣城は慶長五年關原役の初め石田三成の本營を置きし所にして、徳川家康は其の北西石灰岩に名高き赤坂附近に陣し、西方關原に於ける

産業は地質に關す

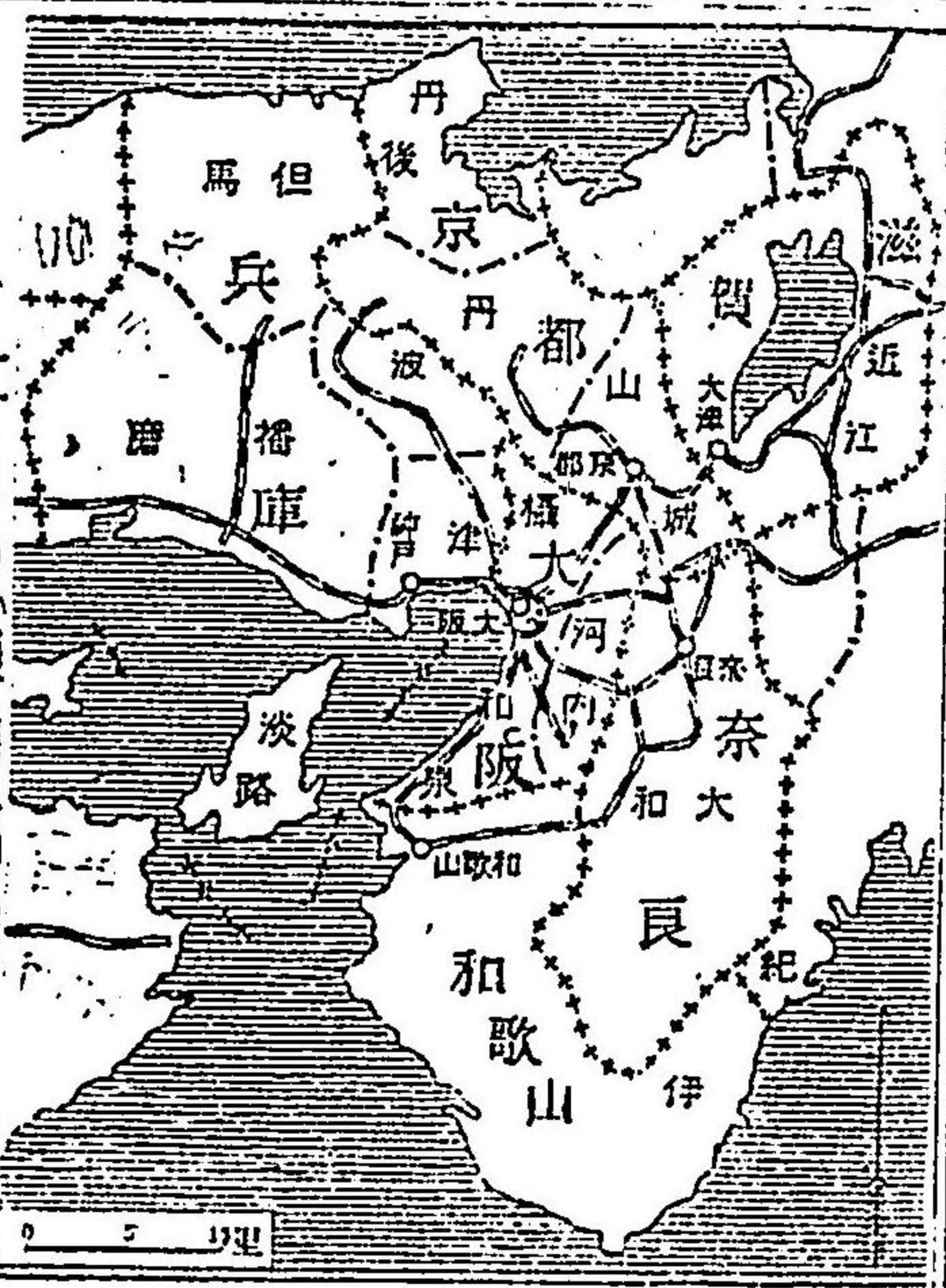
大戦となれり。濃尾平野の南東地方は、陶土に富み、廉價にして實用を主とする美濃陶器の産甚た多く、多治見は其の中心市場にして、土岐津には陶器學校あり。

近畿地方

近畿地方は琵琶湖沿岸及び淀川の流域に接續する一帯の地方と、之れと密接の關係ある半島地方及び中國に接する一部を包括す。南方の半島地方は、西方淡路島との間に大阪灣を抱き、北方の丹後半島は其の東に與謝灣を擁し、南北の兩灣共に良港に富む。紀伊半島の大部は、紀伊山脈東西



濃尾地方の圖



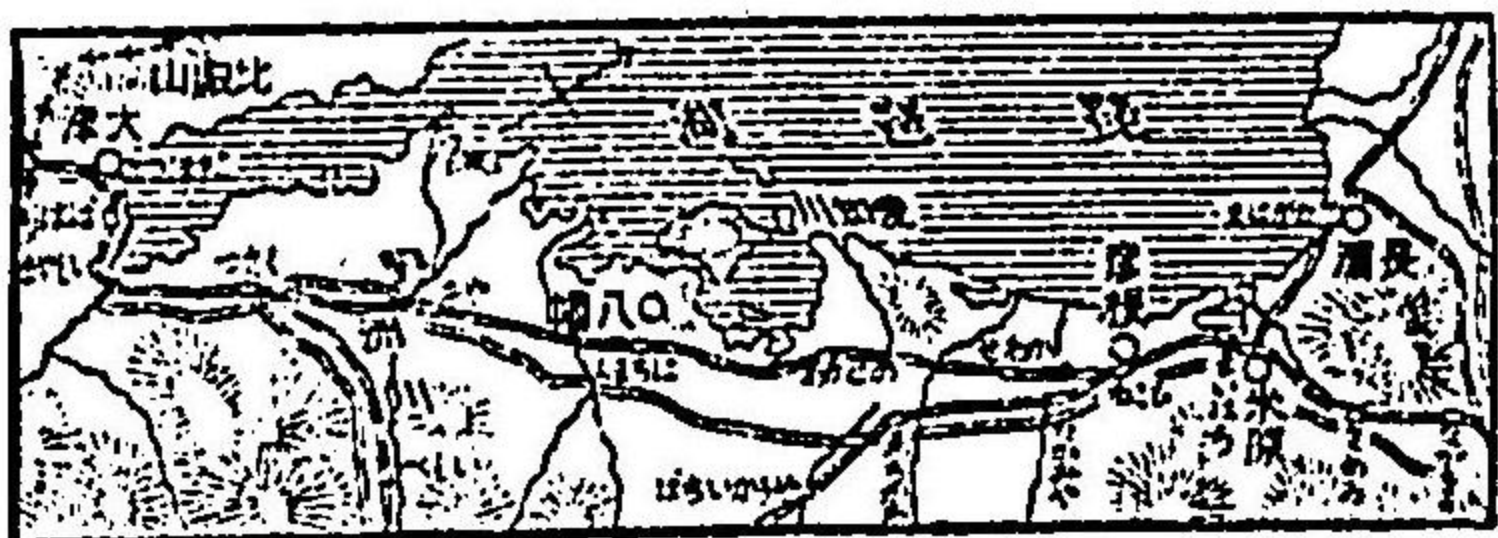
府縣名	廳所在地	其の人口	距離(汽車程)
滋賀	大津市	三、四	岐阜を三時四九分
京都	京都市	三五、三	東京を二時八分(急行)
奈良	奈良市	三、一	京都を一時五十分
和歌山	和歌山市	六、四	大阪を二時二七分
大阪	大阪市	八二、一	京都を一時一八分
兵庫	神戸市	二一、六	大阪を一時一分

に連り地勢高峻にして、紀伊川之れに沿ひて西流す。丹後半島の南方には、中國山脈東西に亘りて北陸地方に連り、日本海と日本内海との分水嶺を成す。由良川・朝來川は北流して日本海に入り、淀川・市川・楫保川は南流して日本内海に入る。以上は二府四縣の分轄に屬す。近畿地方には東海道・北陸山陽・南海・關西・奈良・阪鶴の諸鐵道

の外、兵庫縣には其の中部を南北に通ずる山陽鐵道播但線あり。和歌山縣には紀伊川に沿へる紀和鐵道あり。其の他高野鐵道、河南鐵道等の小鐵道あり。紀伊半島は大阪、熱田間の航路に由りて、沿海地方水運の便あり。淡路島は海底電線にて、和歌山縣、兵庫縣及び四國と連絡す。

滋賀縣 琵琶湖四周の地にして、四面に山岳を繞らし、東境には鈴鹿伊吹の兩山脈あり。北境及び西境には、中國山脈高く聳ゆ。中央の低地に在る琵琶湖は稍西に偏し、本邦第一の大湖にして、周回六十里、縣下面積の六分一を占め、野洲、愛知、大上等の諸川を入れ、其の水勢多川となりて、京都府に入る。湖上に汽船の往來あり。琵琶湖に入る諸川の水源は禿山多く、従ひて屢水災あれども、其の沿岸及び湖邊の平地は地味肥沃にして、米、藍、烟草に適す。著名の都會は多く、湖の南

森林なき
山は河川
の水量を
調整せず



0 1 2 3 4 里

東に位し、交通も亦東部最も便なり。官設東海道鐵道は岐阜縣に近き米原より、彦根、草津を過ぎ、馬場にて**大津線**を岐ちて、京都に入り、**關西鐵道**は草津より南東三重縣に通ず。米原は又長濱を過ぎ、柳濱の隧道を経て福井縣に入る**北陸線**の起點なり。琵琶湖の南西角にある**大津市**は水陸交通の要所にして、貨物の集散多く、近江八景の三井寺、石山等は、多く其の附近にあり。大津の北東に位する彦根は又湖畔に在り。其の繁華は湖東第一に居る。長濱は濱縮緬の産地にして、又農學校あり。彦根の南西なる八幡は近傍に商業學校あり。綿、蚊帳、疊表を特産す。又其の南東に日野あり。いはゆる江州商人は多く此の地方より出づ。

京都府 滋賀縣の西方に位し、管下は北西に延びて日本

海に臨める丹後を包括す。中國山脈東西に亘りて分水界を成し、山城に比叡、鞍馬、愛宕の諸山あり。丹波は中國山脈間の山地にして、養蠶盛に行はれ、又材木、薪炭を出す。山城の南部は勢多川の下流なる宇治川の流域にして、此の川は淀に至りて淀川と呼ぶ。其の支流鴨、桂、木津の三川は畿内平野の北部を灌漑し、其の流域に京都、伏見、宇治の都邑あり。織物、陶器、茶等著名の産物多し。殊に織物は精巧を以て其の名高く、産額三千餘萬圓に達し、府縣中第一を占む。伏見は豊太閤築城の地にして、京都南面の要勝に當り、歩兵第十九旅團司令部の設あり。此の地より大阪に至る、漚船の便あり、其の南東の宇治は、茶所として著はれ、産額多し。平等院、鳳凰堂あり。宇治の南東にある笠置山は、木津川の南岸に峙つ峻嶺にして、後醍醐天皇行宮の遺址あり。北方與謝灣には舞鶴港あり。其



天橋立の圖

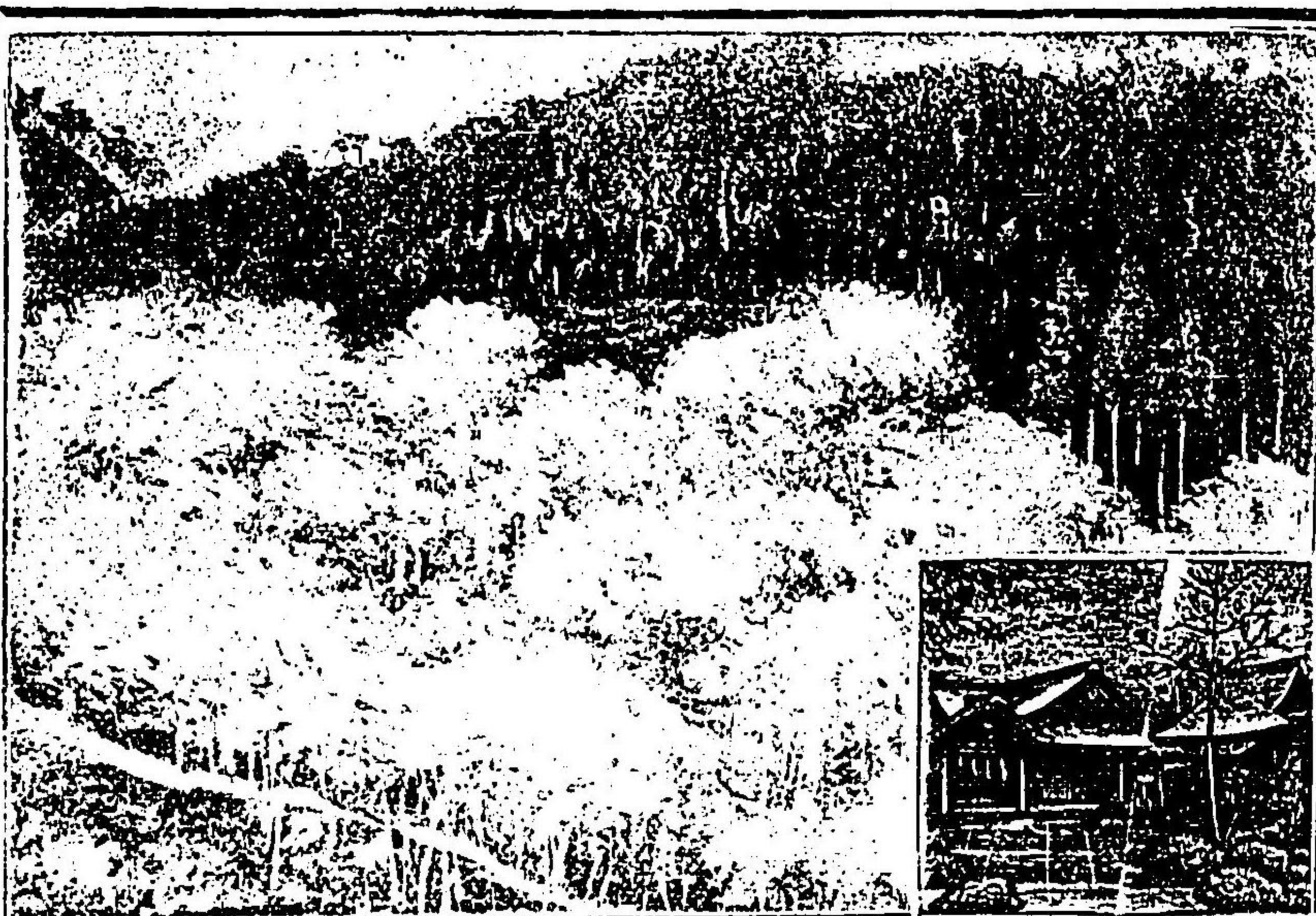
砂嘴あり 幅三十二間 長二七町 十四ふ

の東灣餘部は軍港にして本州日本海沿岸大部の警備に任ずる第四海軍鎮守府の所在地なり。灣内水深く、安全の錨地なり。由良川中流の福知山には第二十旅團司令部あり、舞鶴北西の宮津港も亦安全の良港にして、開港場の一たり。港の北西なる天橋立は、一帯の白砂濱北より延びて、海上を横絶し、青松其の上に繁茂して、最も絶景なり。

奈良縣 京都府の南部にして、吉野川其の中央を西流し、縣域を南北に分つ。南部は紀伊山脈連りて、彌山、大臺原山等聳え、良材を産す。此の山間を南流

する北山川・十津川は、河谷極めて狭けれども、木材運搬の要路を成し、アンナモニーの産ある十津川郷は山間に僻在す。北部にも亦笠置・葛城の二山脈ありて、大和川流域に屬する北西部の外は平地少し、東境名張川に沿ひて月瀬梅林あり。大和川附近の平地は地味肥沃にして、七代の帝都たりし奈良及び郡山等の都邑あり。奈良を中心とする奈良鐵道は京都及び南方櫻井に通じ、之れと連絡する關西鐵道は南西郡山及び王寺を連ねて櫻井に達す。南和鐵道は高田より起り、紀伊の境に近き五條に至り紀和鐵道に連絡す。縣下は神武天皇の皇基を定め給ひし地なれば、平安京以前の歴代の帝都は、概ね此の縣内にあり。従ひて舊蹟甚だ多し。

奈良市は、古の奈良の都の地にして、社寺古蹟に富み、春日神社・興福寺・大佛殿・正倉院等、美術工藝の模範を後世に垂る、

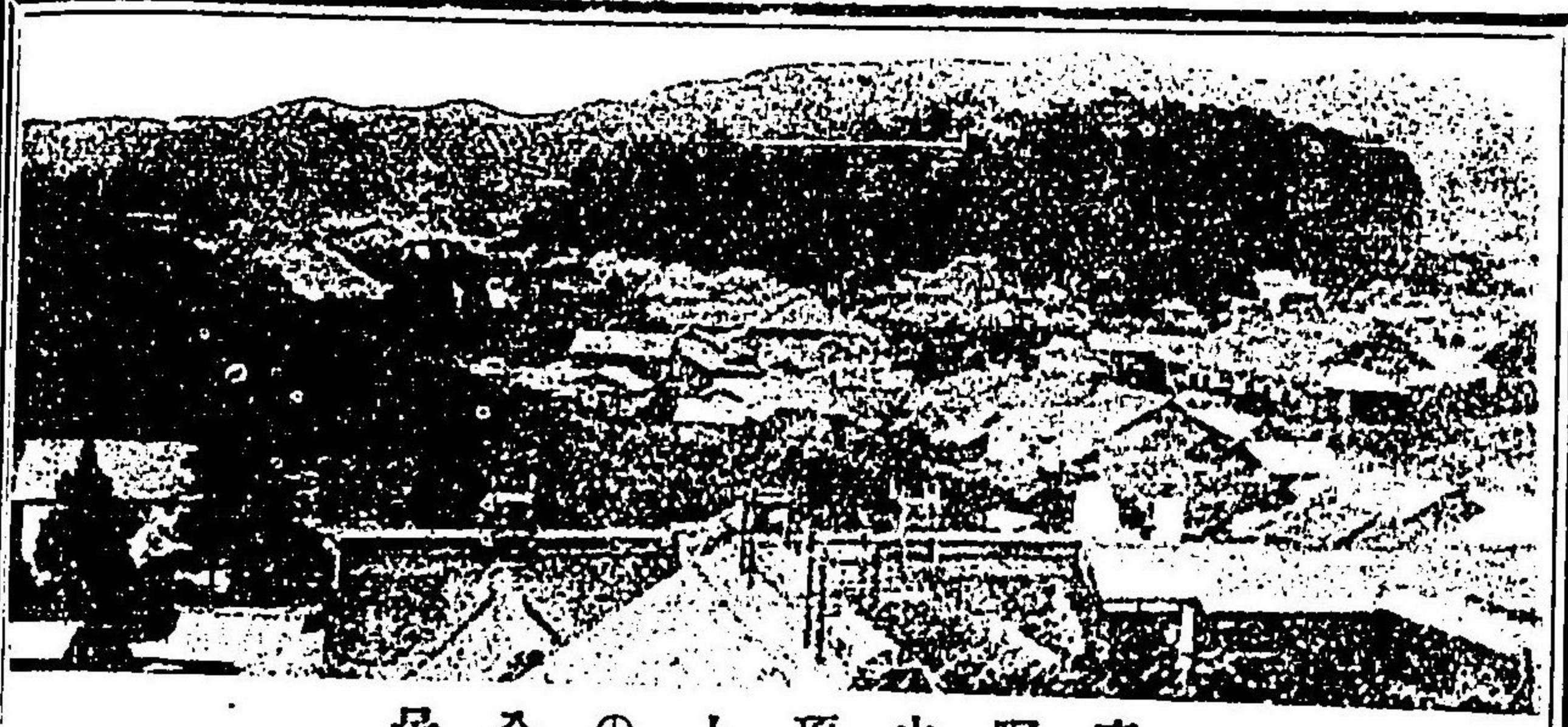


吉野山の桜花及び吉水神社の山

天皇の行在所たる吉野山は、吉水神社、吉野宮、及び御陵あり。山中の櫻花は一目千本の勝あり。吉野飛白、吉野葛亦著はる。之れより南部の地方は造

もの多し。奈良帝室博物館あり。晒木綿・奈良漬・根來塗・鹿角細工を名産とす。郡山・法隆寺も亦市を距ること遠からず。神武天皇を祀れる橿原神宮及び畝傍山御陵は其の南に當る。

吉野は山間の僻地なれども、南朝三代皇居の地にして其の行在所たりし吉水神社、後醍醐天皇を祀れる吉野宮、及び御陵あり。山中の櫻花は一目千本の勝あり。吉野飛白、吉野葛亦著はる。之れより南部の地方は造



高野山頂上の全景

山頂多のく寺坊と高野村とあり乃此の一小都會を成す

林事業盛んに行はれ、大淀村には農林學校の設あり。

和歌山縣

近畿地方の南部に位し、其の

全部は紀伊山脈連り、險崖直に海に迫り、河

流の附近に少しく平地あるのみ。北西部の

高野山は、眞言宗古義派の本山、弘法

大師開基の金剛峯寺を以て、其の名

高く、山頂別に一小都會を成す。南東

の那智山には熊野三社の一なる熊野神社

あり。其の山腹の那智瀑布は高八十四丈に

して、熊野浦を過ぐる者は船中より之れを

望むべし。

河流には西流する紀伊川、有田川、日高川、南

流する熊野川あり。何れも流域廣からず。従ひて耕作の利に乏し。氣候は溫暖にして雨量多きを以て、良材、薪炭を出す。紀伊川は吉野地方より、熊野川は熊野山中より出す。木材輸送の通路を成し、熊野川口に近き新宮、紀伊川口の和歌山にてこれを集散す。又有田川、日高川の沿岸地は蜜柑を名産とす。縣の南部は山深くして、陸地の交通不便なり。南端の潮岬は



那智瀧

瀧ノ二ノ瀧ノ三ノ瀧ノ此のありの瀧ノ一ノ瀧ノ最の著名なる瀧なり

岬下に黒潮流れ、潮勢最も急なり。其の東側大島は安全の錨地を擁す。東方一帯熊野沖は鯨獵を以て著はる。

大阪灣口に近き和歌山市は徳川氏の親藩紀州侯の舊城下にして、水陸運輸の便あり。商業盛にして、夙に紋羽織を産せしが、市人瀬戸十助綿フランネルを發明してより、今は其の製織甚だ盛なり。南西一里に在る海濱を和歌浦と云ふ。風光明媚を以て稱せらる。市の北東に當る根來に根來寺あり。根來塗の原産地なり。現今は和歌山市の南なる黒江の漆器工業最も盛に、紀州塗の名を博せり。

大阪府 京都府の南西に當り、南東境には葛城山脈ありて、史上に名高き生駒山・金剛山を起す。其の他の大部は畿内の平野にして、之を貫流する淀川及び大和川の流域は地味肥沃にして、農産多く、綿の産は府縣の第一に位す。淀川には伏見に至るまで汽船の便あり。其の川口は數派に分る。其の一派安治川は河村瑞軒の開く所にして、他の一派木津川

共に船舶の出入多し。川口の天保山には燈臺あり。府下は綿絲摺附木の製造、清酒の醸造最も盛なり。

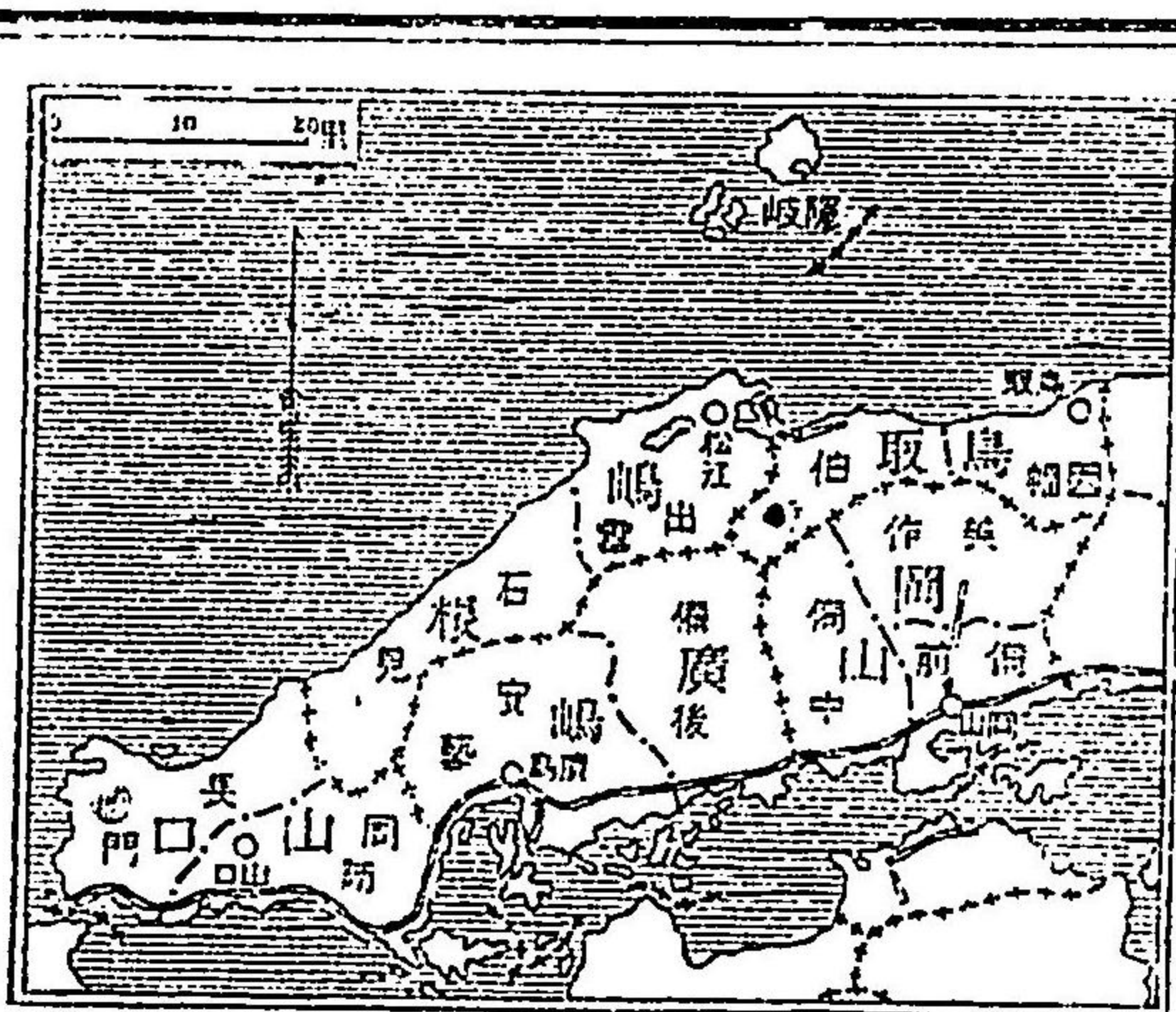
堺市は大阪市の南に當る。曾て大内氏の外國と通商せし所にして、豪商多く、清酒・段通・刃物を出す。大阪の北西に當れる池田は阪鶴鐵道に沿ひ、醸造業に名高く、又由多加織を産す。

兵庫縣 近畿の西部に位す。中國山脈、縣の中部に亘りて分水嶺を成し、朝來川は北に流れて其の沿岸に豊岡あり。加古川・市川・楫保川・千種川は南に流れて、南部の平地を灌漑す。姫路市其の平野の中央に在り。内海沿岸は製鹽に適し、西部の赤穂最も著はる。又東部は氣候溫和、風景絶佳にして、名邑多く、須磨・舞子・明石は最も風光に富み、山間の有馬は温泉を以て著はる。神戸の北東に在る御影・西宮を灘地方と稱す。水質醸造に適し、灘酒の名は全國に鳴る。大阪府界に近き尼

崎伊丹も亦醸造に名高く、縣下の産額凡そ五十萬石に達す。又縣下は新潟縣に次げる米産地なり。
 姫路市は飾磨港を控へ、交通至便の一商區にして、姫路革を名産とす。其の城には第十師團司令部の設あり
 北部日本海に傾ける地方は、柳行李を産する豊岡附近の外平地乏しく、海岸險崖多くして港灣なし。朝來川下流の城崎は温泉を以て有名なり。播但線に沿へる生野は、銀山を以て知らる。又但馬地方は牧牛盛にして但馬牛の名高し。
 淡路島は四國、本州の間に在り、概ね山地とす。其の特産淡路焼は輸出品の一にして、四國に通ずる福良附近を其の産地とす。東端の由良は和歌山縣加太岬と相對して、大阪灣口を扼す。要塞の設あり。

中國地方

近畿地方の西に當り、中國山脈其の中部を東西に貫き、諸川の分水嶺を成す。東大川・西大川・川邊川・太田川等は南流して、瀬戸内海に入り、加露川・日野川・斐伊川は北流して日本海に



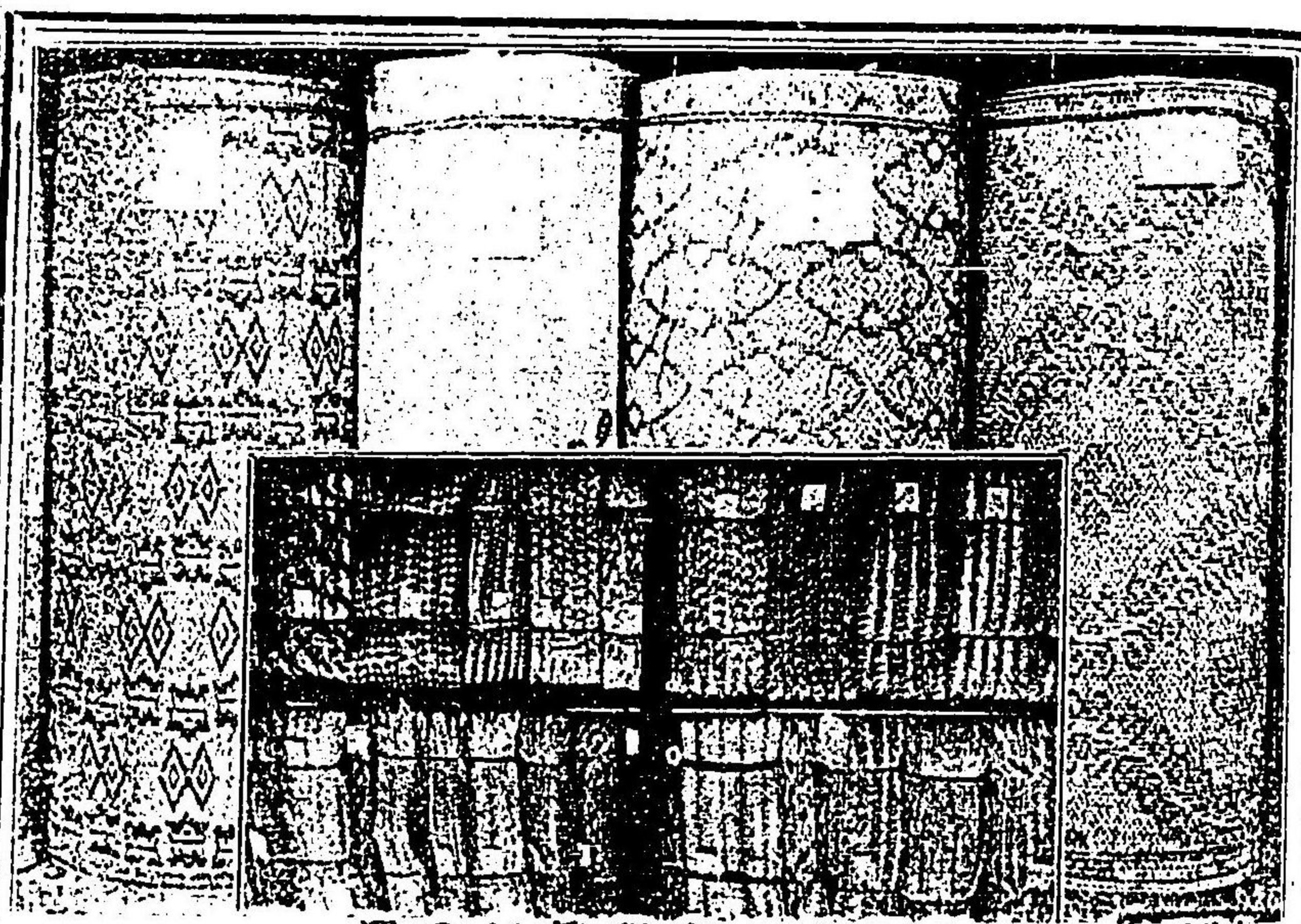
中國地方の圖

縣名	廳所在地	其の人口	距離(汽車程及び里程)
岡山	岡山市	五、八	神戸より六時一五分
廣島	廣島市	一、二	岡山より七時三七分
鳥取	鳥取市	二、八	神戸より四時〇一分、二十五里
島根	松江市	三、五	岡山より二時一八分、卅三里餘
山口	山口町	一、七	廣島より六時〇八分、五里餘

入る。只江川は山脈を横斷して北流し、中國の大河を成す。日本海岸は沿岸最も單純にして、僅に中海を擁する島根半島

と隠岐とあるのみ。之れに反して瀬戸内海には無数の半島島嶼ありて、瀬戸を作り灘を分つ。神戸に起れる山陽鐵道は、山陽道交通の幹線を成し、岡山・廣島を過ぎて下關に達す。中國鐵道は岡山に起りて北の方津山に達す。山陰地方は鐵道の便乏く、國道は海岸に沿ひて鳥取・松江を連ね、南東は京都に、南西は山口に達す。又松江・鳥取より岡山・姫路に達する道路あり。日本海沿岸諸港は、神戸・小樽間の航路に當り、隠岐には島根縣との間に海底電線あり。

岡山縣 中國地方の東部瀬戸内海に面する地方にして、中國山脈より發する吉井川・旭川・川邊川これを貫流す。旭川・川邊川流域の水田は盛に蕎麥を栽培し、苡り取れる後更に稻田こなす。蕎麥類の産額三百餘萬圓。又麥稈眞田の産額も百



花筵及苡麥稈眞田の圖

八十萬圓に及び、共に全國第一に居る。牧牛亦盛なり。

岡山市は旭川に跨り、川口に三幡港を控へ、交通至便にして、紡績絲及び蕎麥、花筵の製造盛なり。第六高等學校及び岡山醫學專門學校、商業學校、工業學校あり。後樂園は日本三公園の一と稱せらる。市の東方に伊部焼を産する伊部あり。北方の津山は津山川に沿ひ、水陸交通の便あり。雲齋織・足袋

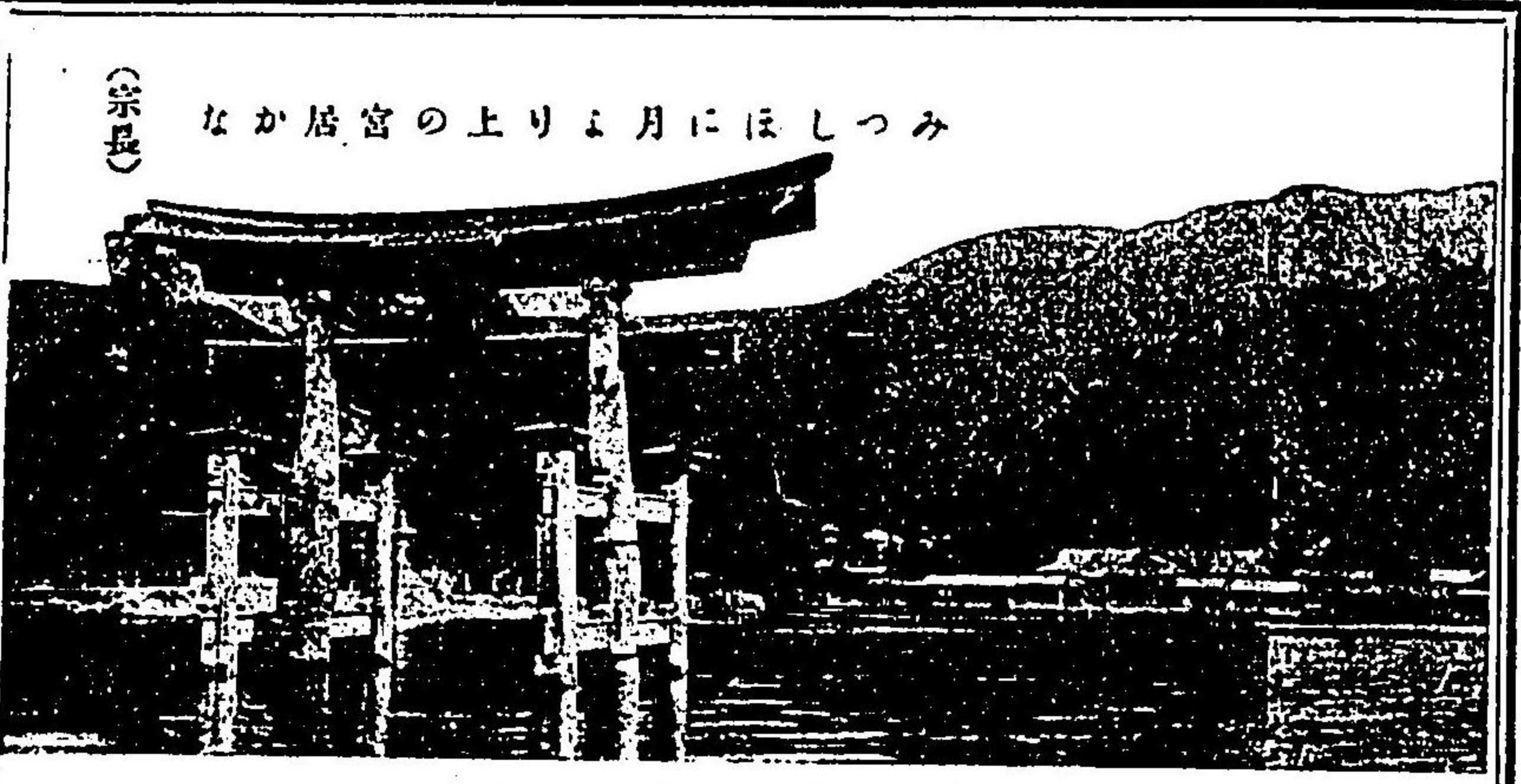


岡山の附近地圖

を名産とす。川邊川に沿へる**高粱**は、西部の都會にして、麥稈眞田の製造盛なり。其の川口に近き**玉島港**は、水島灘の良泊にして、縣下西部に於ける物貨の集散地たり。

廣島縣 中國地方の西部に當り、瀬戸内海に面す。中國山脈北境に亘り、江川之れを貫きて島根縣に入る。其上流に三次、吉田の名邑あり。太田川及び蘆田川の流域は、平地開けて、繭・米・棉を産し、備後表の名を博したる疊表・花筵は其の産額岡山縣に次ぐ。蘆田川の下流に沿ひて**福山**あり。尾道・**絲崎**又其の西に當る。縣内牧牛の盛なること府縣中第一とす。又廣島灣の牡蠣は、京阪人の食膳に上る。

廣島市は太田川の三角洲に跨り、第五師團司令部其の舊城地にあり。明治二十七八年の役に、大本營を置かせられたる所なり。控訴院・廣島高等師範學校・職工學校・商業學校を置く。



（宗長） なか居宮の上りよ月にほしつみ

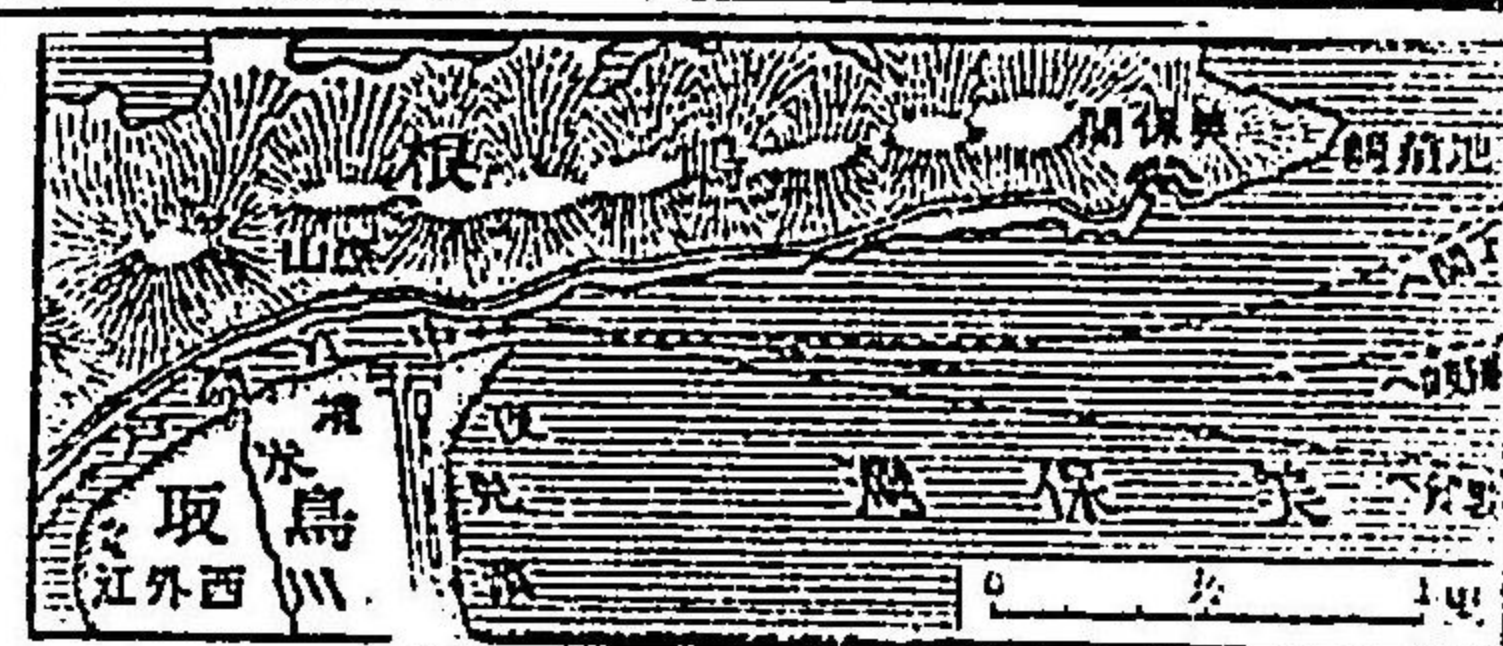
嚴島の圖
嚴島神社は市杵島姫を祀る

南方の**宇品**は築港完成して市の港となり、内海の船舶輻湊し、征清出師も亦多く此の地よりせり。南東の**呉港**は穩戸の瀬戸を東門とし、南西に、**江田島**等を控へたる軍港にして、内海の警備に任ずる第二海軍鎮守府を置く。**江田島**には海軍兵學校あり。廣島灣の西部に嚴島神社を以て名高き**嚴島**あり。江山樓閣水に映じ、風光最も美なり。日本三景の一とす。竹細工の名産あり。**尾道市**は前面に向島を控へ、風波穩かにして、内海の廻船業盛に、商業學校あり。其の西の**絲崎**は開港場の一とす。又其の西に**三原**・**忠海**あり。其の南な

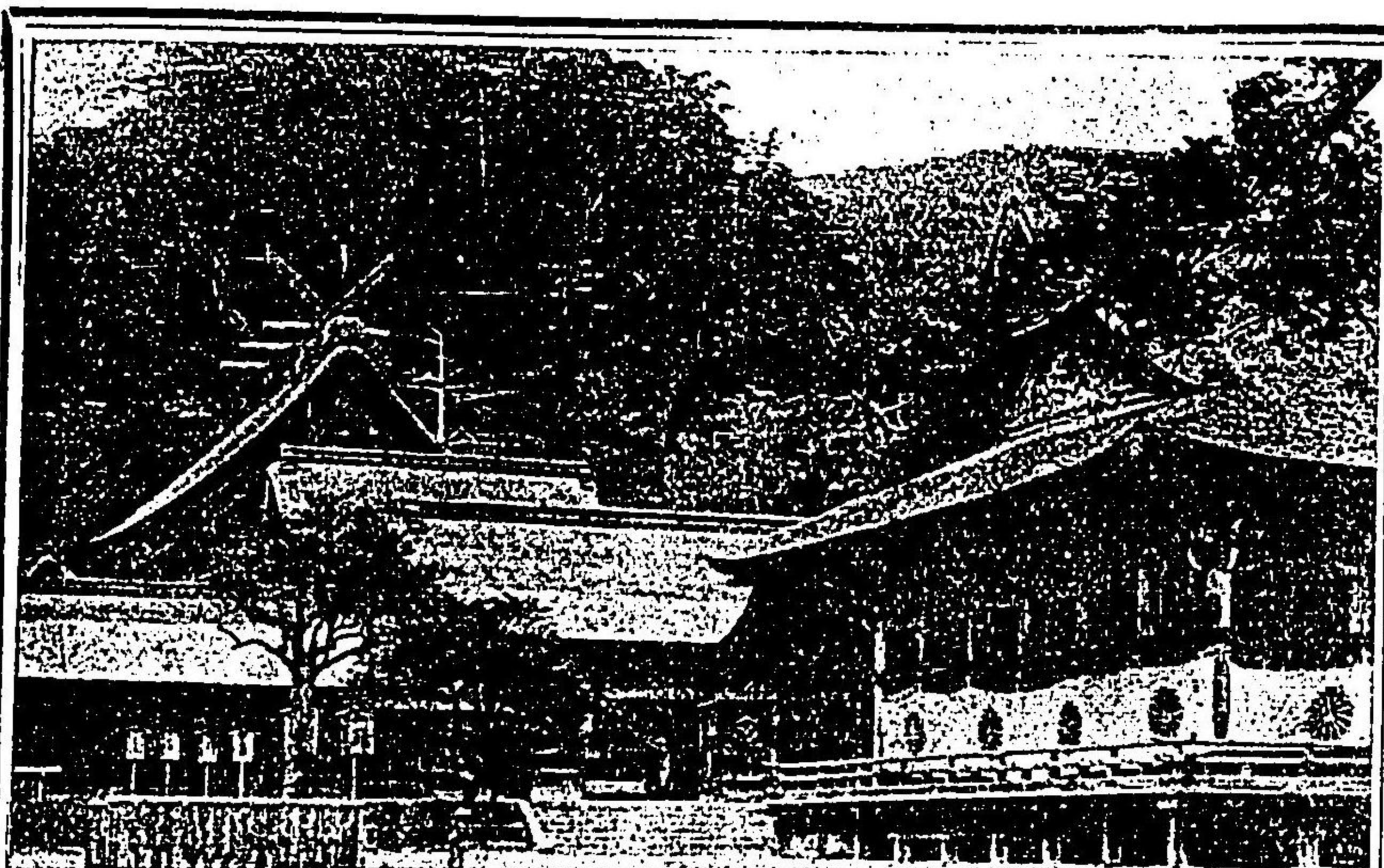
る大崎上島に商船學校を有す。

鳥取縣 中國地方の東部、日本海に面する地方にして、中國山脈南部に亘り、大山其の西部に聳えて、地勢概ね丘陵に屬す。平地は賀露川及び日野川の流域にあるのみ。日野川は陰陽交通の要路に當り、其の上流地方には砂鐵を産し、島根縣に次げる産額あり。其の東の大山原は牧牛盛にして、中部の倉吉は生絲・木綿・稻扱を名産とす。

鳥取市は賀露川に臨み、歩兵第四十聯隊の衛戍地なり。川口に加露港あれども港内水淺く安全ならず。境港は開港場の一にして、夜見濱の北端にあり、島根半島其の北を掩ひ、冬季に於ても稍安全の泊地とす。敦賀・下關の間に定期の航海あり。境の南中海に臨める米子は、伯耆第一の都會とす。



境港附近の圖



出雲大社の圖

島根縣 中國山脈南東を限りて、廣島縣の背面に當り、山地は砂鐵多く、鐵の産額巖手縣に次ぐ。又日本海沿岸火山脈の三瓶山は中部に聳え、山中に鳥地獄あり、山麓の三瓶原には牧牛行はる。其の西に大森銀山あり。江川は中國の大河なれども流域平地狹し、宍道湖に注ぐ斐伊川並に其の西を流る。神門川下流の沿岸は地味肥沃にして、其の農産山陰第一に居る。其の西日本海に瀕して杵築あり。大國主命を祀れる出雲大社あるを以て其の名高し。松江市は宍道湖より中海に注ぐ大橋

川に跨り、鳥取縣下の境港と相待ちて、水運の便宜し。商業學校の設あり。鱸を湖の名産とす。附近に布志名焼の産あり。南西の濱田は瀬戸島其の北を擁し、開港場の一にして、下關及び境に定期航海あり。紙の取引多し。

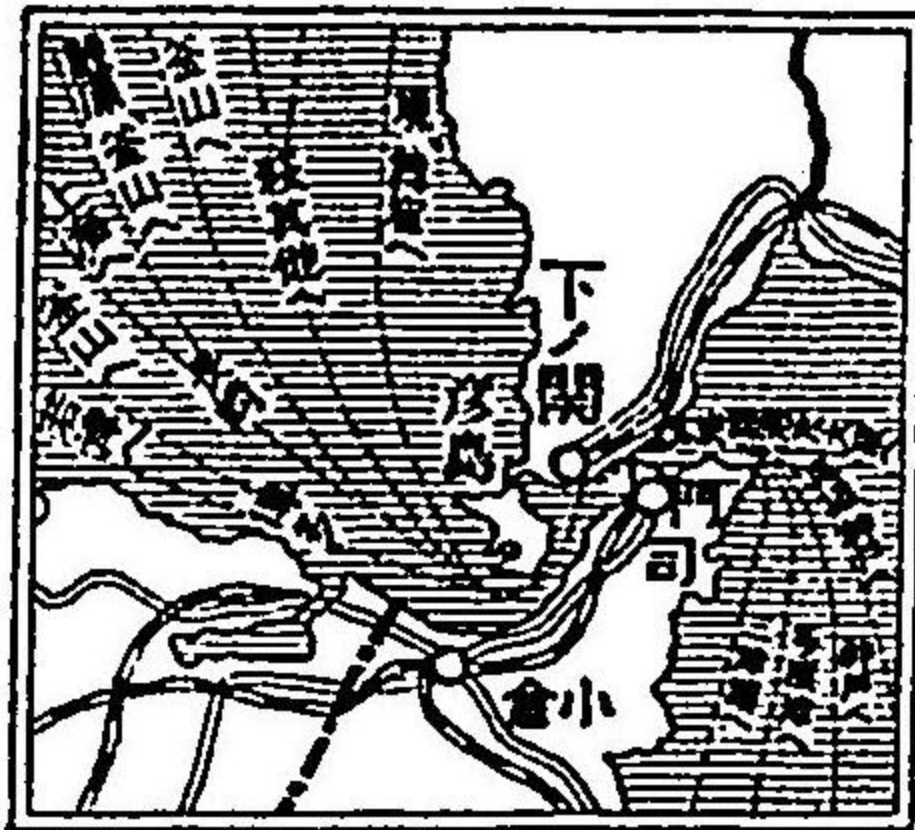
隱岐は知夫里、中西の三島を含める島前、及び其の北なる島後より成る。火山岩質にして、地味耕種に適せず。生業は牧牛・漁業を主とす。鯛は殊に名高し。島後の南端西郷港は諸風を避くるを得て最も安全の錨地なり。

山口縣 中國地方の西部にして、本州の南西端に當る。中部は山丘起伏して平地少く、石炭の産あり。岩國川・厚東川・榎野川は南流して内海に入る。其の沿岸は土地肥え米産多し。厚東川上流の秋吉臺は大理石を出し、川口に近き小野田はセメントを産す。内海沿岸には平地多く、鹽田最も能く開け、

中央部の三田尻其の第一に居る。日本海岸は鯨獵に名高く、又朝鮮近海に出て、漁業に従事するもの多し。山陽鐵道は岩國縮と錦帯橋とを以て名高き岩國・縞木綿の産ある柳井津及び三田尻を経て下關に至る。夫れより十五分間にして、九州に渡るを得べし。

山口町は榎野川の上流に沿ひ、山丘四周の地なるを以て、周圍の交通不便なり。戰國の頃大内氏之れに居り、周防の京と稱せられし地なり。第廿一旅團司令部・山口高等學校を置く。農學校亦其の近傍にあり。

下關市は本州の南西端に位する開港場にして、南東は福岡縣の門司と相對し、西に彦島を控へて一大灣を擁す。瀬戸内海西門の要地にして、汽船の出入多く、石炭・米・綿布を輸出し、大豆・肥料を

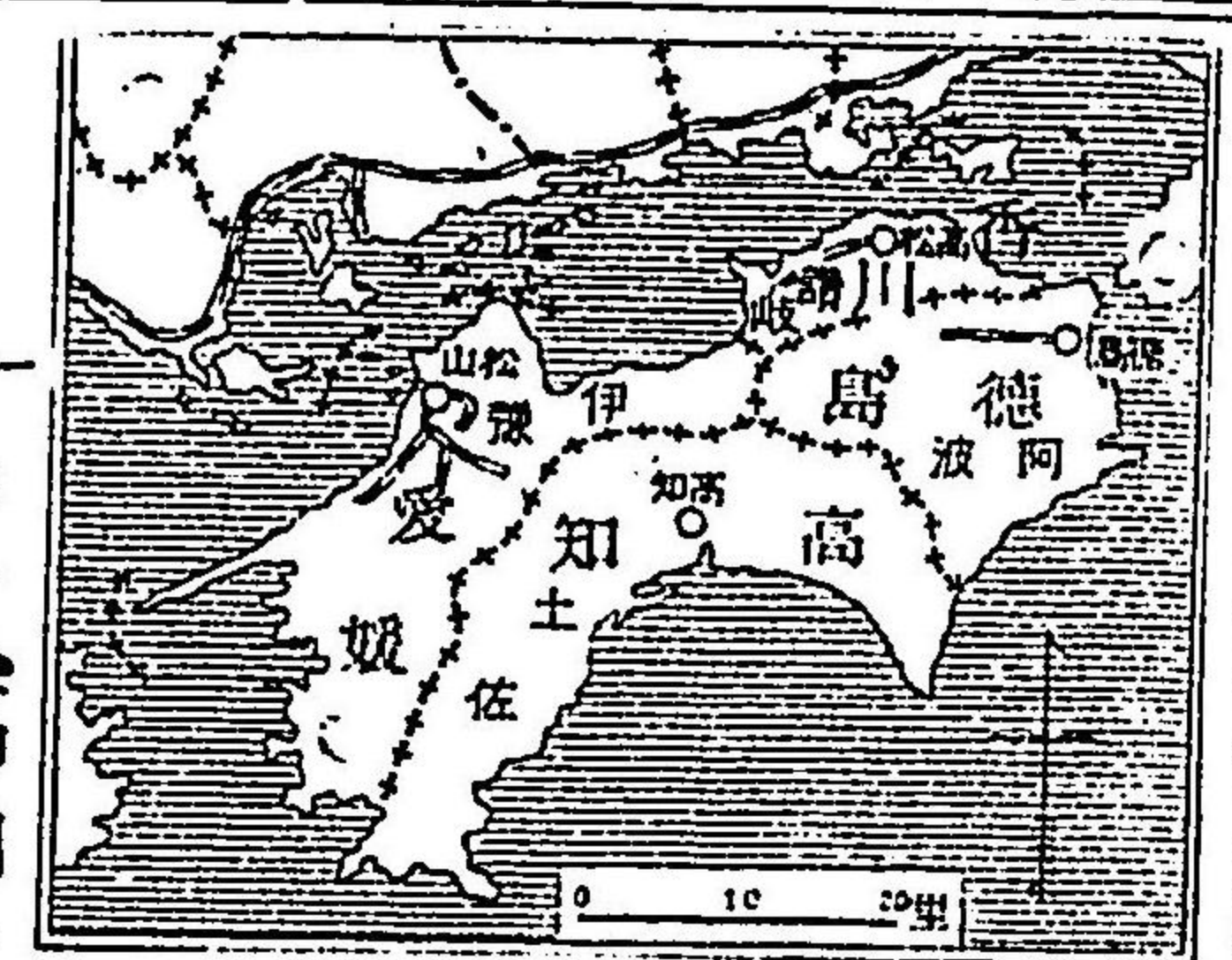


圖の近附關下

輸入す。商業學校あり。市内に安徳天皇を祀れる赤間宮あり。壇浦は市の東部に當る。

四國

四國島は中國地方の南に横はる一大島にして、讚岐・阿波・土佐・伊豫の四國に分る。東は紀伊水道を隔て、紀伊半島に對し、北東は鳴門海峡を隔て、淡路に對す。南方は室戸・蹠蹠の兩岬斗出して、其の間に土佐灣を擁し、西方の佐田岬は遠く海中に斗出して九州と相對す。四國山脈其の中央部を東西に走り、吉野川の外諸川の分水嶺を成す。阿波に那賀川、土佐に仁淀川、渡川、伊豫に肱川あり。平野は吉野川流域の外皆大ならず。都會は概ね沿海の地にあり。四國島には各縣を貫通する鐵道なく、唯德島・高松・松山附近



四國の圖

縣名	廳所在地	其の人口	距離(海里及び汽車程)
香川	高松市	三、四	神戸より六六哩
德島	德島市	六、二	神戸より五一哩
高知	高知市	三、七	神戸より一四二哩
愛媛	松山市	三、七	神戸より一四九哩、二〇分

に其の敷設あるのみ。國道は高松より德島を經、吉野川沿岸地に沿ひて高知に至り、又高松より松山に至る。又高松より四國山脈を横きりて、高知に至る一線路あり。沿海各地には汽船の便あり。殊に内海沿岸を然りさす。海底電線は香川縣の北部より兒島半島に、佐田岬より大分縣に、又德島縣より淡路に通ず。香川縣 四國の北東瀬戸内海に面する部分にして、三面は内海に瀕し、南方德島縣の境に讚岐山脈あり。地勢は内海に向ひて傾き、海面無數の島嶼ありて、中國との間に散布す。

北東の小豆島北西の鹽飽諸島



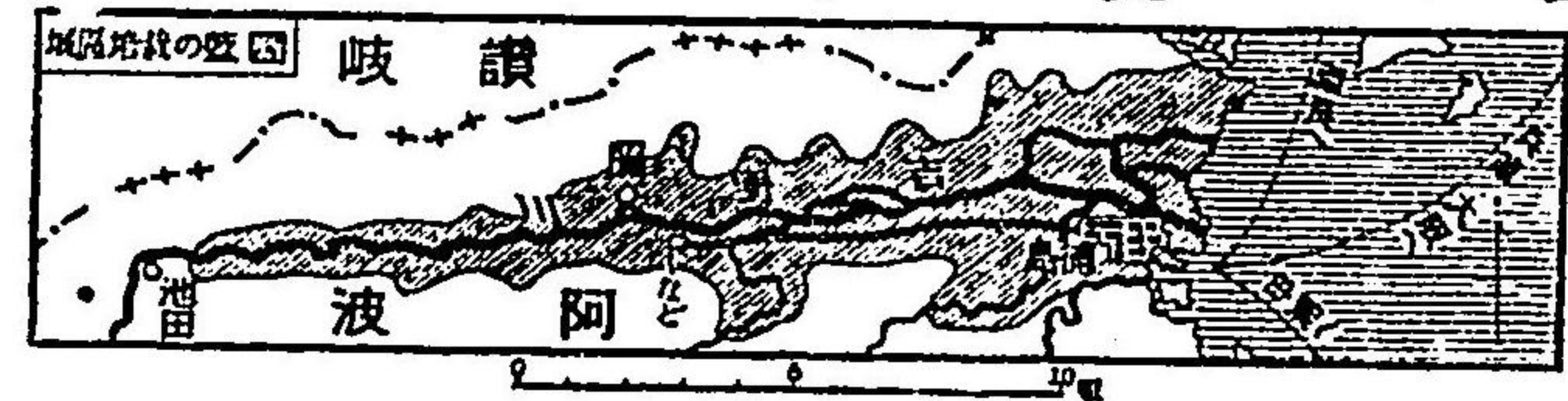
圖の宮維比刀金び及町平琴
りあに麓山は街市に腹半の山頭象は宮

は大抵海岸にあり。高松・丸龜・多
渡津を其の主要なるものごす。
讚岐鐵道は此等の都會を連ね、
さらに南方金刀比羅宮を以て
名高き琴平に到る。縣内産業能
く發達し、砂糖の産額は臺灣に
次ぎ、沿岸一帯製鹽業亦盛なり。
高松市は近年其の港の改築以
來水陸交通の便最も宜しく、汽
船の出入絶えず。保多織を産す。
工藝學校あり。有名なる栗林公
園は市の南半里に在り、屋島の

信仰は都
會繁榮の
一原因な
り

古戰場は市の東に當る。多度津は縣下の良港にして、港内
廣く且つ深し。金刀比羅參詣の要港ごす。琴平は象頭山の山
麓に在り。其の金刀比羅宮は參拜者常に絶えず。白
峯の山頂には崇徳天皇の御陵あり。多度津・琴平の
間にある善通寺は第十一師團司令部の在る所ご
す。此の地又弘法大師の遺蹟多し。東部徳島縣の境
にある引田は砂糖・醬油を産出す。

徳島縣 四國の南東部に於て、四國山脈其の中
部を走りて、吉野川・那賀川の流域を分ち、南西部に
劍山を起す。吉野川は四國第一の大河にして、其の
沿岸は地味肥沃にして、米穀・藍・大豆に適す。殊に藍
は品質産額共に帝國第一に居る。中流に位せる脇
町を其の中心地ごす。又中流の池田附近は烟草を

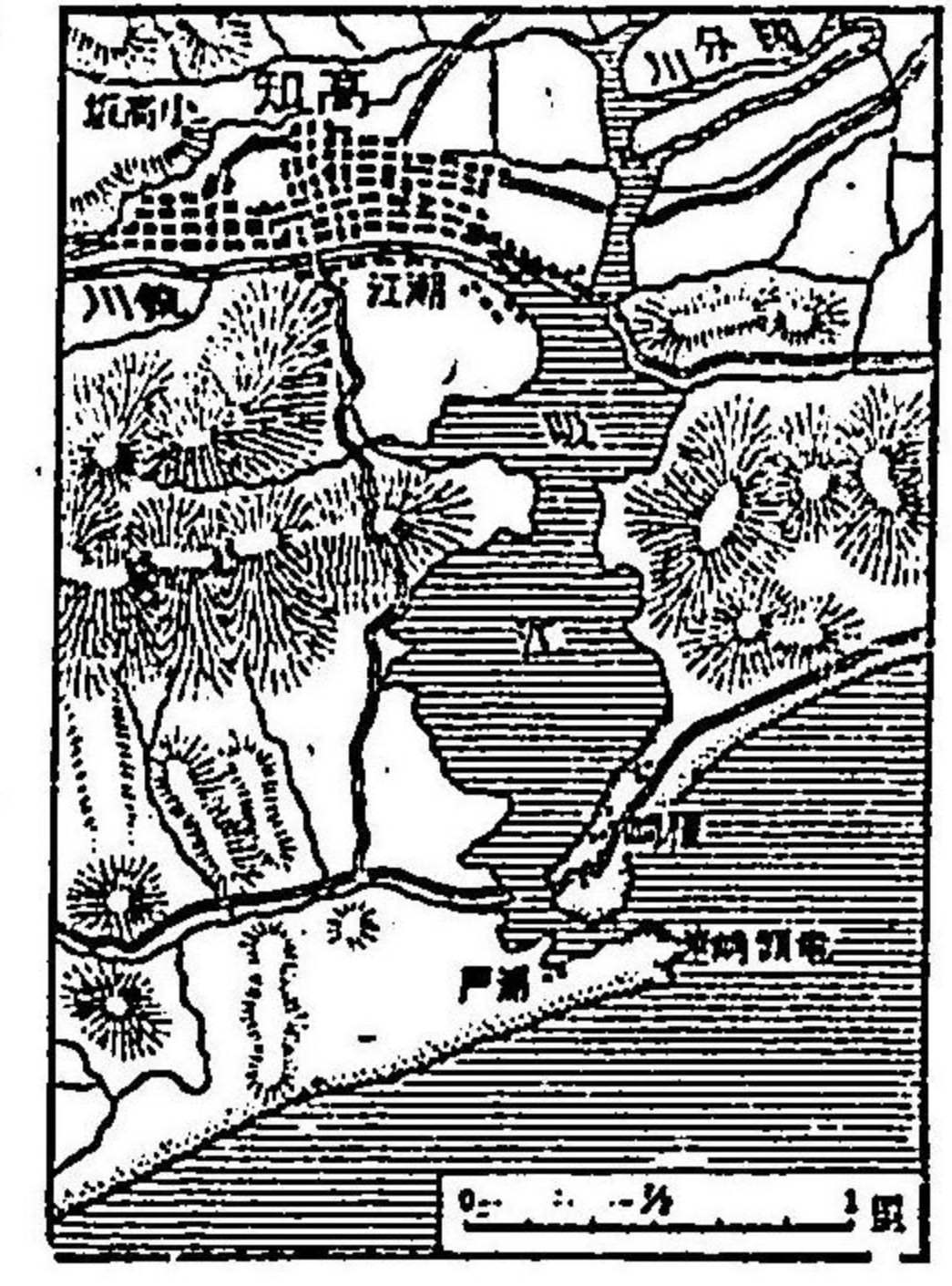


産す。池田の南方祖谷地方は山深く、交通最も不便にして、自ら別世界をなす。那賀川の流域は縣下の米作地にして、又茶、甘蔗を産す。北東部沿岸には製鹽業の盛なる撫養あり、齋田鹽の本場とす。撫養の前面に大毛島あり。鳴門海峽に横はる。鳴門は潮勢急にして大渦を成し舟行危険なり。

徳島市は吉野川口の右岸にあり、絨織を産す。神戸・大阪との間に日々數回汽船の往復あり。葉烟草、藍の集散地にして、商業盛なり。徳島鐵道は西走して、船戸に通ず。富岡は那賀川口の右岸にあり。上流地方より輸送する木材の取引多し。

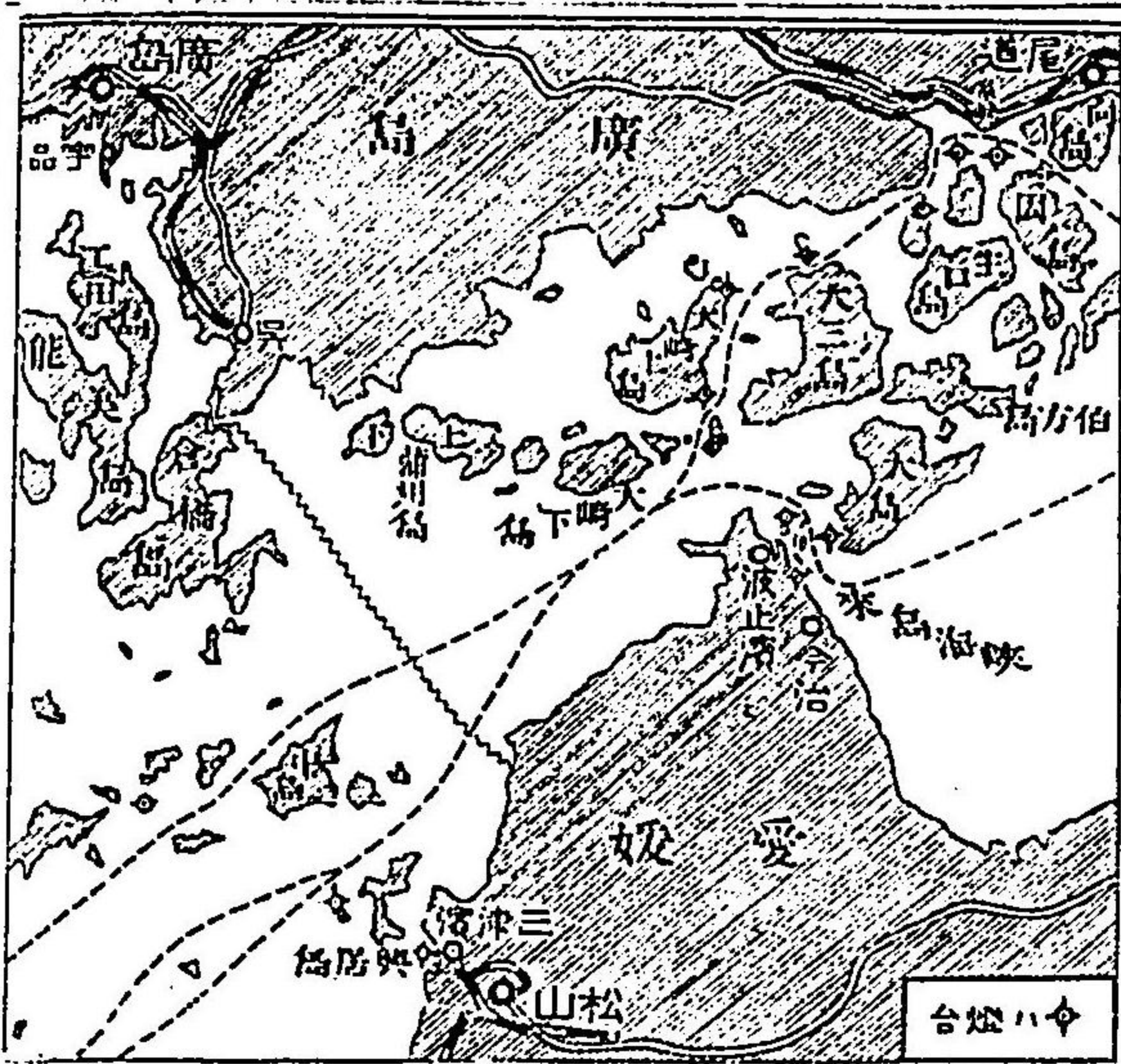
高知縣 北境には四國山脈連り、支脈更に南方に延び、縣の大部は山岳重疊し、杉、檜の良材を出す。縣の中央を南流する物部、仁淀二川の沿岸は、土地平坦にして、高知市其の中間に位す。又二川より吸江に通ずる溝渠ありて、灌漑の利大なり。

り。其の他北部を東流して、徳島縣に入る吉野川、西部を貫流する渡川(四萬十川)あれども、其の流域は概ね峽谷に過ぎず。縣下の平地は僅に十分一を占むるのみ。海岸線は百里に達し、海上は黒潮に洗はるゝを以て漁業盛に、鯉節の産額は静岡縣に次げり。土佐灣の中部に浦戸・須崎の二港あり。其の東なる津呂港は野中兼山の開きたる所にして捕鯨場あり。西部の宿毛は土佐珊瑚を以て其の名高し。



高知市は鏡川に臨み吸江に接し、農業學校、商業學校あり。夫より吸江の海上三湮を隔てたる灣口に浦戸港あり。船舶の出入困難なれども、四國の諸港及び大阪・神戸に航運の便あり。縣内貨物の集散地たり。

愛媛縣 高知縣の北、瀬戸内海に瀕する地方にして、南部の縣界地方には山岳多くして、石槌山其の中央部に聳え、北部には高繩半島突出して、燧灘と硫黄灘とを分つ。燧灘沿岸には新居濱・今治等の諸港あり。製鹽業盛なり。硫黄灘には三



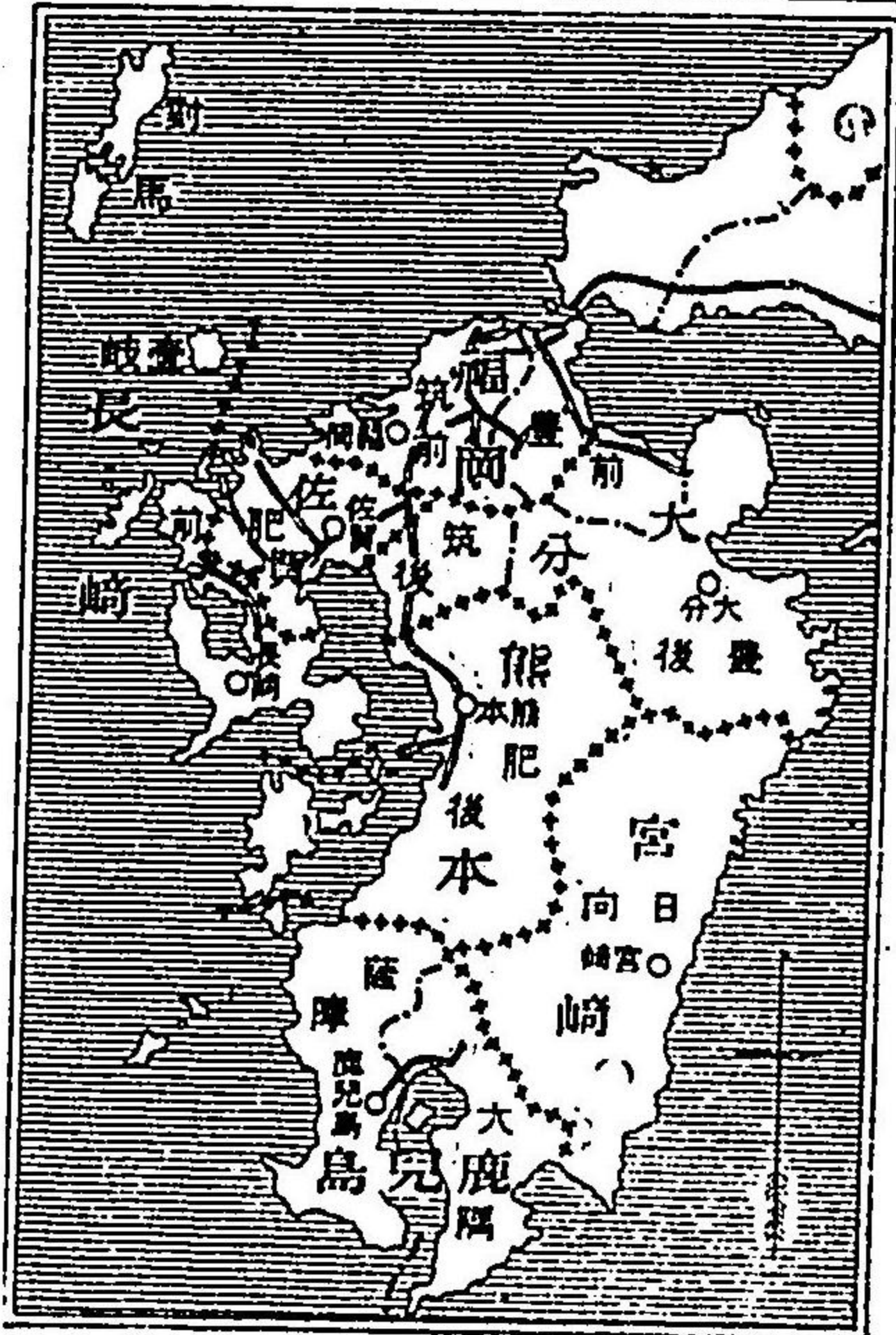
來島附近の圖

津濱あり。西部の佐田岬は海中に斗出すること十三里に及ぶ。縣内平地少く、西部渡川及び肱川の流域には製紙業及び機業行はれ、宇和島其の中心たり。中部重信川の流域は田野開けて、松山市あり。松山市は松山縞の産地にして、第十旅團司令部のある所たり。四方に伊豫鐵道分岐し、三津濱道後郡中等に

通ず。道後は有名の温泉場にして、又農業學校及び商業學校あり。新居濱は南境の別子銅山と鐵道にて連絡し、精銅所あり。別子の産額は足尾に次ぐ。北西の市川はアンチモニを産す。宇和島は大阪・神戸に定期航海あり。又九州に渡る要津なるを以て、商業の盛なること松山に次ぎ、織物紙の取引多し。

九州

中國・四國の南西に横はれる一大島にして、九國に別る。北西に壹岐・對馬の二國あり。南西には琉球に連れる薩南諸島あり。地勢は北部に筑紫山脈あり。南部に九州南部山脈あり。阿蘇火山脈は其の中間に起り、霧島火山脈は其の最も南方に連る。全島山岳多く、平野は筑後川流域の筑紫平野を最大



九州の圖

とし、其の南なる白川附近之れに次ぐ。南部の川内川は九州第一の長流なれども、其の流域大ならず。海岸は西部最も不規則にして、且つ島嶼の多きこと、恰も瀬戸内海の如し。東部は極めて單純なり。以上は七縣の分治する所たり。

其の人口

距離汽車程及び道程

縣名	應所在地	其の人口	距離汽車程及び道程
福岡	福岡市	六、六	門司より二時五二分
佐賀	佐賀市	三、三	福岡より二時二四分
長崎	長崎市	一〇、七	佐賀より五時〇八分
熊本	熊本市	六、二	福岡より五時一五分
大分	大分市	一、三	門司より三時四四分
宮崎	宮崎町	八	大分より四八里
鹿兒島	鹿兒島市	五、四	宮崎より一時一八分二五里

交通の幹線は九州鐵道の掌る所にして、北端の門司を起點として福岡・佐賀・長崎を連れ、其の一支線は南進して久留米・熊本を経て八代に達す。又若松に起りて福岡縣南部の諸炭田に達する支線あり。更に小倉より別れて海岸に沿ひ中津を経て長洲に至る一支線あり。北部及び西部の交通は最も便なるに反して、南東は未だ全く鐵道の敷設を見ず。南部には鹿兒島灣頭に短距離の官設鹿兒島線あるのみなれども、大阪・鹿兒島間に定期航海あり。鹿兒島は又大阪・沖繩の航路に當る。海底電線は、佐賀縣より壹岐・對馬を経て朝鮮に、長崎より上海及びウラヂポストクに、鹿兒島より種子・屋久並びに琉球を経て臺灣に達する三線あり。大陸諸國との關係頗る親密なり。

福岡縣

本州に最も接近せる九州最北の地方にして、南



遠賀川流域炭脈露出の圖

東境には英彦山あり。筑紫山脈は中央部に起伏し、地勢を南北に二分す。北部の水は北流して玄界灘に注ぎ、遠賀川の流域其の大部を占む。南部は筑後川の流域に屬し、其の水南西に流れて有明海に注ぐ。又北西に流る、那珂川あり。福岡市は其の川口にあり。筑後川は筑紫平野を灌漑する九州中の大河にして、屢洪水の患あれども、流域地味肥沃にして、縣下の米産額は新潟、兵庫、愛知の諸縣に次げり。久留米は其の中流に在り。柳川及び若津港は其の南西に當る。有名なる三池の炭山は更に其の南に位し、大牟田港を控ふ。遠賀川の流域は最も炭田に富み、炭坑各所に開けて其の採掘額は全帝國の七割を占む。従ひて洞海の北岸枝光には、現に

特産は都
會繁榮の
一原因な



門司附近の圖

新潟縣下の赤谷及び清國産の鐵鑛を原料とする大製鐵所の經營中なり。又川口の蘆屋港、洞海の口に當る若松、本州山口縣に對する小倉、門司等、多くは石炭の取引によりて繁榮す。縣内又生絲、織物、花筵の産あり。鰯、鰯、鰯等の漁利また大なり。

福岡市は九州北部の大部會にして、京都帝國大學、福岡醫科大學及び農工商業學校あり。博多織に名高き博多も、亦本市の一部を占む。其の北には志賀島に連れる海中の突出ありて、博多灣を擁し、殘島、玄界島、其の口に當る。灣内風波穩かにして碇泊の便宜し。開港場の一たり。古來外國交通の要津たりし所にて、附近には舊蹟多し。姪濱は市の西にあり。箱崎、香稚は市の北東にあり。太宰府は其

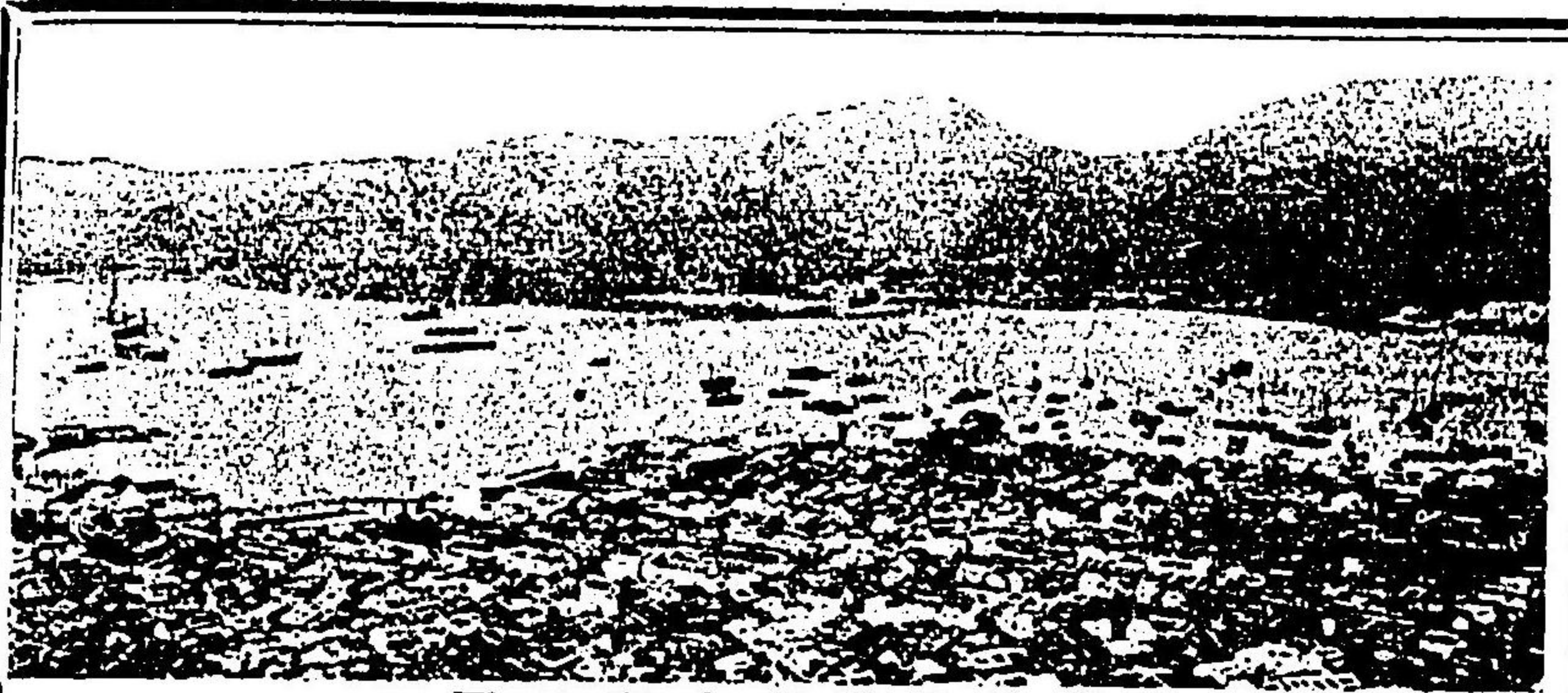
の南東に當る。門司市は門司半島の西面に位し下關に對す。開港場の一にして南方に廣大なる炭田多し。此の地は九州鐵道の起點にして、僅々十餘年間に、一小漁村より人口二萬五千の都會となり、内外諸港との航海絶えず。石炭は其の重要輸出品なり。南西の小倉は第十二師團司令部の所在地にして小倉織の名産あり。工業學校を置く。久留米市は南部の大都會にして、久留米飛白を産す。工業學校、商業學校あり。又第廿四旅團司令部の所在地とす。

佐賀縣 肥前の東部を管治す。筑紫山脈其の中央部を東西に走れども、地勢高からず。北部は日本海に傾きて東松浦半島北に斗出し、其の東の唐津灣には、石炭の産地を控へたる唐津あり。又其の西の伊萬里灣には伊萬里あり。陶器に名高き有田は、其の南に當る。南部は筑紫平原の一部にして、

水淺き有明海に面す。地味肥沃、農産豊かにして、其の中央部に佐賀市あり。九州鐵道長崎線は有田より支線を伊萬里に出す。又唐津には唐津線あり。

佐賀市は鍋島氏の舊城下にして農學校、工業學校あり。農産物の取引多し。有田は陶器の名産地にして起原は遠く豊公征韓役の時にあり。高價なる美術品を出す。東松浦半島の北端なる名古屋は、豊公征韓役の本營を置きし所にして、壹岐・對馬を経て朝鮮に達する海底電線其の附近に起る。

長崎縣 佐賀縣の西に隣れる最も不規則の半島部、及び九州北西の島嶼を管治す。地勢は山岳多く、島原半島は南東に延びて有明の海と千々石灘とを分つ。半島の中央部には温泉岳あり。多良岳其の北に當る。西彼杵半島は北西に延びて大村灣を擁し、北松浦半島又北西に延長して、多くの島嶼

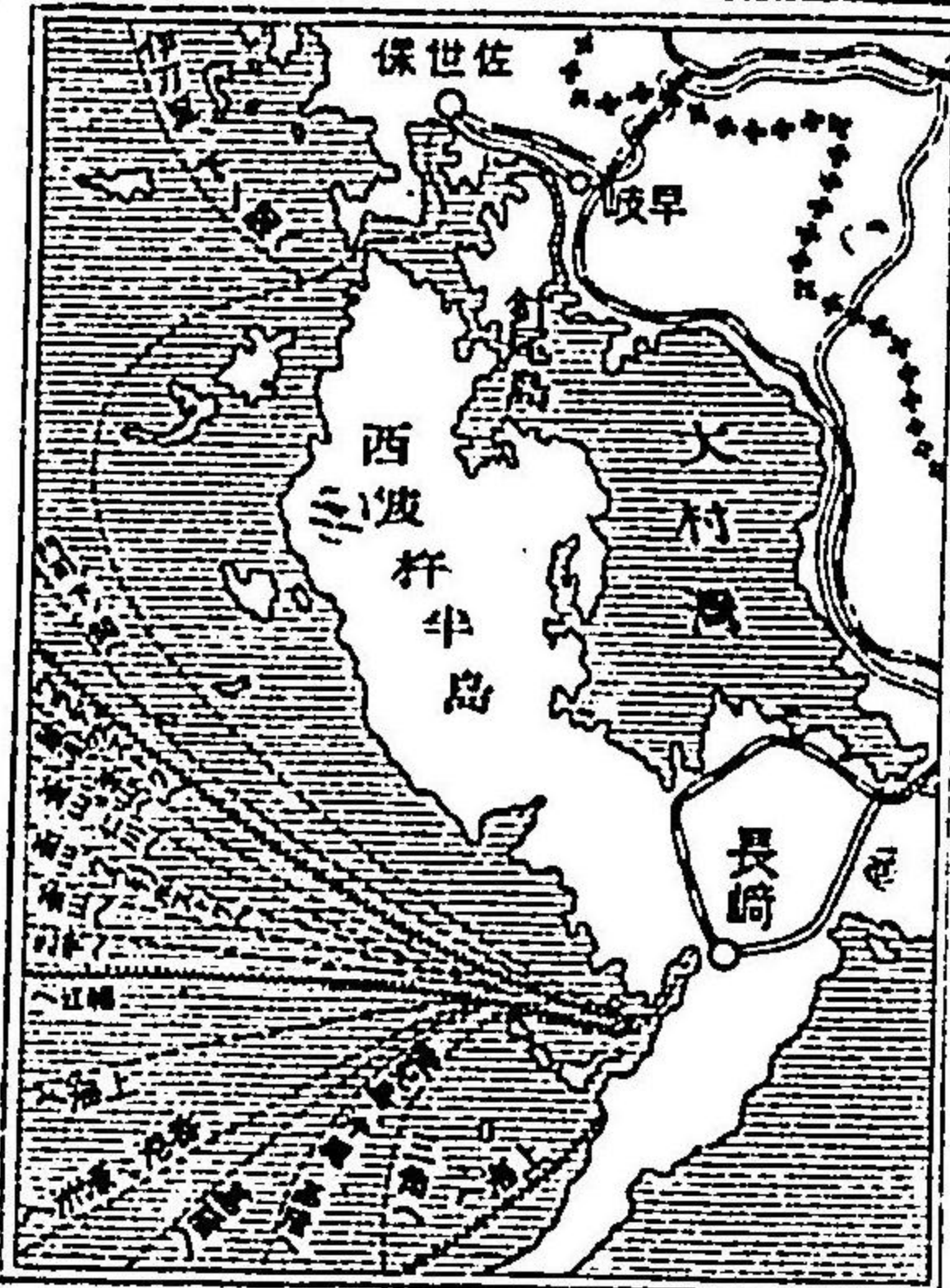


長崎港及び市街の圖

對岸に砲浦にして山丘の其の後に部に接す

こなる。平戸島最も之れに近く、其の南西に五島列島あり。又壹岐對馬は北西に連り、對馬海峽と朝鮮海峽とを扼す。沿海は烏賊、鰯、海鼠の漁利を富源の要部とす。五島近海は捕鯨を以て著はる。縣下海岸線の屈曲多きこと府縣中の第一に居り、從ひて良港に富む。長崎・口津の開港場及び九州の大部並びに壹岐・對馬・琉球・臺灣・澎湖島の警備に任ずる佐世保軍港あり。九州鐵道は早岐に至りて佐世保線に分つ。又長崎附近より五島列島・對馬及び上海・ウラヂボストクに至る海底電線あり。

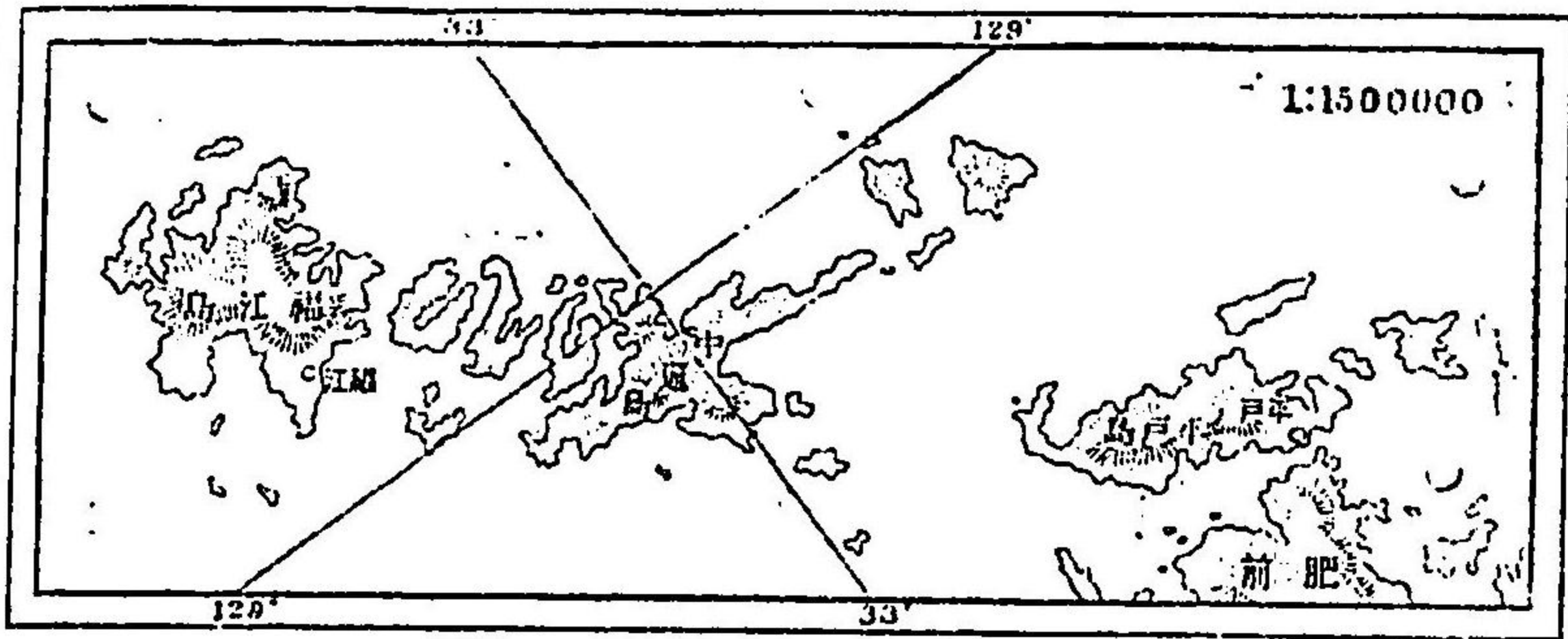
長崎市は開港場の一にして、陸上土地狹



長崎附近の圖

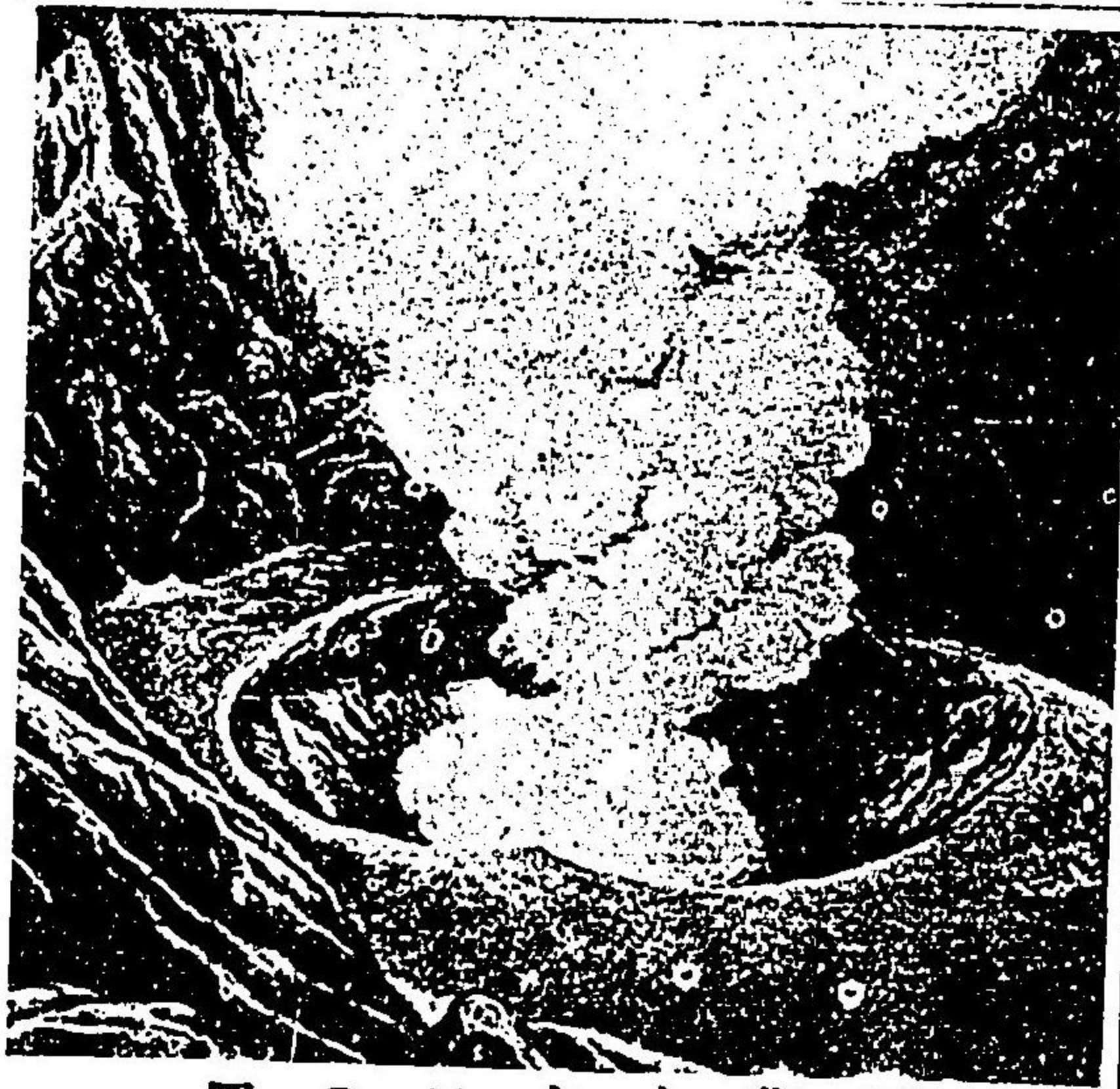
けれども、港内水深く風波穩かにして泊船の便最も宜しく、朝鮮・支那及び濠洲との交通の衝に當る其の貿易額は横濱・神戸・大阪に次ぎ、米・石炭・樟腦を輸出し、油糟・大豆・綿・砂糖を輸入す。控訴院・醫學專門學校・商業學校あり。刻煙草を産す。此の地は維新前よりの外國通

商港にして、久しく歐洲文明の輸入口たりし所なり。對岸の飽浦には造船所あり。南西の高島及び端島は良質の石炭を産す。大村灣頭の大村には第二十三旅團司令部あり。灣口に針尾島横はり、針尾・早岐の兩瀬戸をなす。此の島の北は即ち佐世保軍港にして、佐世保其の北岸に位し、海軍鎮守府の設あり。



五島列島の圖

平戸島の平戸は、古來外國の貿易場たりし所にして、五島列島の一大島なる福江島には福江の漁港あり。壹岐は地味肥えて大豆の産あり。海上亦魚介の利に富む。勝本は其の北部の名邑なり。對馬は上下二島に分れて、其の間に淺茅浦を挟み、竹敷の要港を成す。日本の防禦上最も肝要なる所とす。下島の東岸に嚴原あり。開港場の一にして、島廳警備隊あり。朝鮮航行の汽船此に寄港す。又上島の西岸にある鹿見、佐須奈の二港も亦開港場とす。北端の鰐浦は、韓國釜山を距ること、海上僅に十八里に過ぎず。晴天の日は遙に其の炊烟を望むべし。



阿蘇火山の口

中部は火山口の壁に絶つてし丘の口は部中

熊本縣 福岡縣の南に連れる地方にして、北部は阿蘇火山脈の主峰、阿蘇活火山あり。山中温泉に富む。宮地町に阿蘇神社あり。又農業學校を置く。山中に發する白川は、鮎返の瀧をなして西流し、有明海に注ぐ。之と平行して北に菊池川あり。南に緑川あり。共に灌漑の利あり。肥後米及び麥、烟草の産地にして熊本、宇土、隈府等の都會、其の流域に在り。南部の縣界には九州南部山脈連り、山岳重疊して殆ど別社會を成せる。五家莊あり。平家の落人の隠れし所なりと云ふ。球磨川此の近傍に發し南流して人吉を經、北西に轉して八代に注ぐ。

林正盛の經營に由りて、人吉以下十六里の間通船の便あり。下りは七八時間に過ぎざるも、上りは三日を要する急流なり。其の上流の山地には木材を産す。球磨川口の八代にはセメントの産あり。八代の前面八代海を隔て、天草上下二島あり。島内嶮はしくして平地に乏し。甘藷・甘蔗の産あり。魚鹽の利亦少からず。其の西の海を天草灘といふ。縣下に牧馬の盛なること巖手・福島二縣に譲らず。

熊本市は白川の下流に跨り、飛白織を産す。第五高等學校の設あり。又近傍に工業學校・農業學校あり。有名なる熊本城は市の中央にありしが、明治十年の役概ね兵火に罹れり。城址に第六師團司令部を置く。市の北に當れる植木・田原坂も、亦官軍の苦戦せし所にして、史上に其の名高し。又隈府には南朝の忠臣菊池氏一族を祀れる菊池神社あり。三角港は開

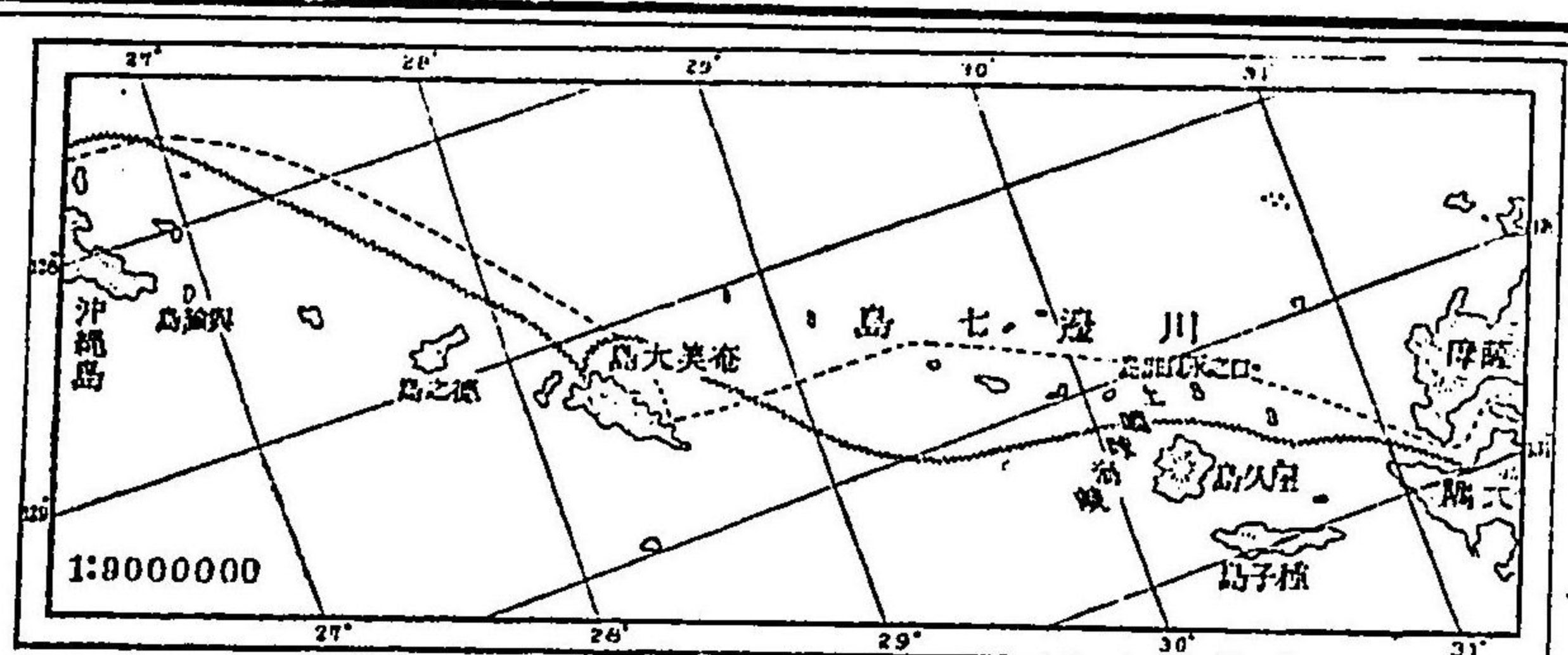
港場の一にして、宇土半島の西端に位し、前面に大矢野島を控へて、碇泊に便なり。宇土より此の地に達する鐵道あり。

大分縣、福岡・熊本二縣の東に位し、筑紫及び九州南部兩山脈間の東部を占め、阿蘇火山は脈を北東に延きて國東半島に至り、地勢を兩分す。北西境に英彦山あり。南境に祖母山あり。温泉各地に湧出す。英彦山には彦山神社あり。山中に發する山國川は、北東に流れて中津に至り、周防灘に入る。其の上流に有名なる耶馬溪あり。祖母山に發する大野川は、北流して別府灣に入る。其の下流の流域は、大分川に連る。縣内大都會と稱すべきものなきも、別府灣岸には、大分・杵築・別府等あり。佐賀關の南方に臼杵・佐伯の二港あり。縣下製絲織物業盛んにして、いはゆる琉球(疊表)は百二十萬圓に達し、府縣の隨一たり。水産の利亦尠からず。鐵道の便は中津を經

て長洲に至る九州鐵道の支線あるのみ。長洲の南に官幣大社宇佐八幡宮を以て名高き宇佐あり。夫より國道は更に大分を經、南進して宮崎縣に入る。

大分は大分川に臨み大阪・宇和島の航路に當る。檜物細工を産す。此の地より別府に至る電車鐵道あり。別府は温泉を以て名高く浴客多し。臼杵には農學校あり。

宮崎縣 九州南部山脈西部を限りて、熊本縣と腹背を成し、地勢は次第に東に傾き、五箇瀨川・大淀川等の諸流、皆西境に發して概ね東流す。又南西鹿兒島縣の境に霧島の活火山あり。山頂は東西の二峯にわかる。國中大部は山岳を以て滿され、原野の開拓せられざるもの亦多し。山林は良材・巨木に富む。又樟腦・砂糖紙の産あり、農産は五箇瀨川及び大淀川の流域を最こす。海岸平直にして出入極めて乏しく、且つ



薩南諸島の圖

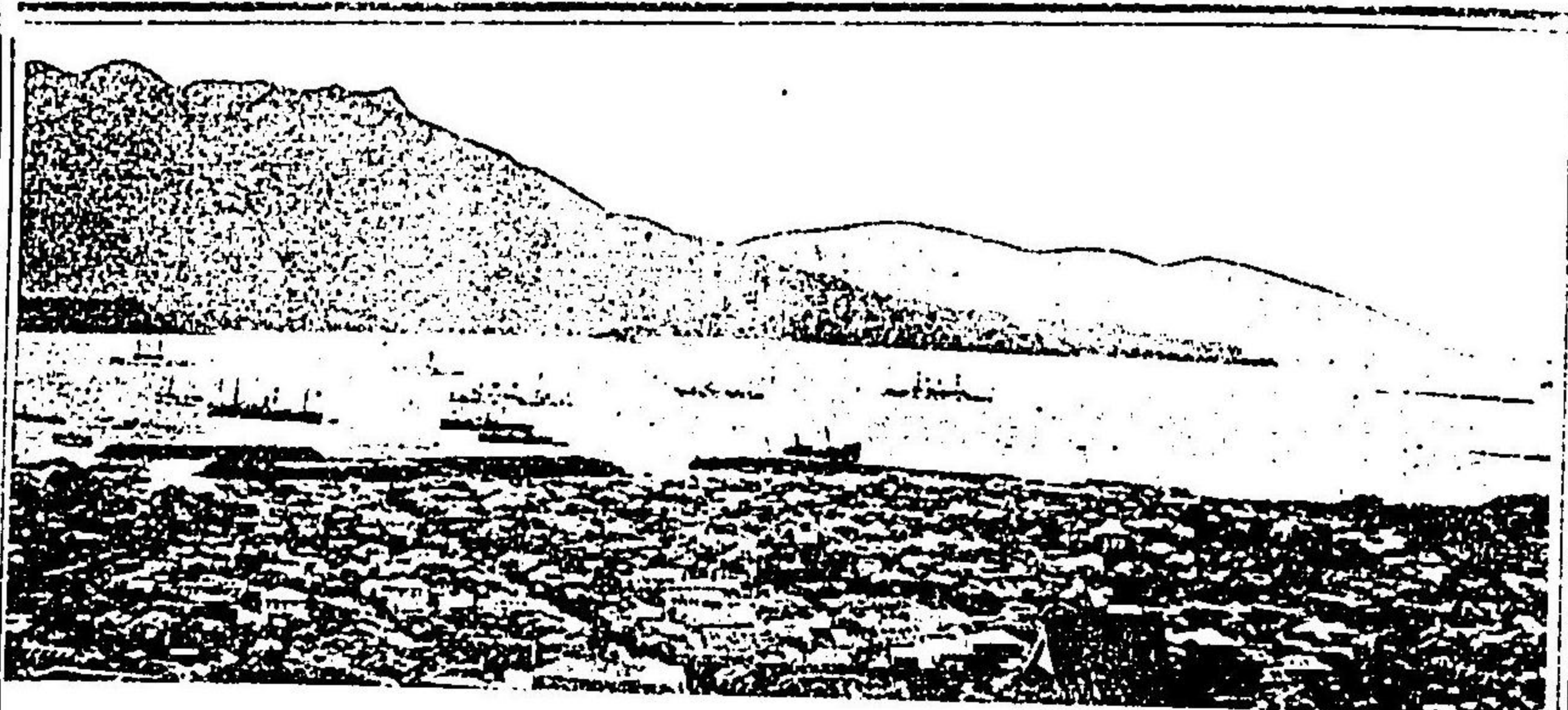
暗礁あり。港は北に細島南に油津あるのみ。水陸の交通最も不便なり。従ひて人口粗にして、都邑の大なるものなし。

宮崎は大淀川に跨り、置廳以來稍發達せしも、人口未だ一萬に達せず。近傍に農學校あり。南西鹿兒島街道の**都城**は縣内第一の名邑とす。**油津港**は都城の東方海岸にあり。附近の**飫肥**には珈琲・幾那等の熱帶植物試作場あり。五箇瀨川流域の**延岡**は北部の名邑とす。**細島港**其の南に當る。大阪に定期航海あり。

鹿兒島縣 九州最南の地方にして、大隅・薩摩の二大半島を成して、鹿兒島灣を擁す。其の大隅半島の南に、大隅海峽を隔て、種子・屋久の二大

島あり。土噶刺海峽の南には、川邊七島散布し奄美大島を含める大島群島又其の南に列り、與論島は沖繩島に接近す。又薩摩の西には甑島あり地勢は九州南部山脈北部に連り、霧島火山脈は霧島山に起りて、櫻島及び川邊七島に其の脈を延く。北部を南西に流る、川内川は九州の大河にして、其の流域稍大なれども、其の他は概ね山間の溪流に過ぎず。縣内平地に乏しく、米・麥の産多からず。雖も、氣候暖かなるを以て草木繁茂し、甘蔗・煙草・甘藷を産す。殊に牧馬は府縣の第一位を占む。金の産額も亦多く、北海道に次ぐ。西海岸には鯨の漁利多く、鯨節の産額は静岡高知に次ぐ。又大島群島には砂糖・紬・蠶表の産あり。

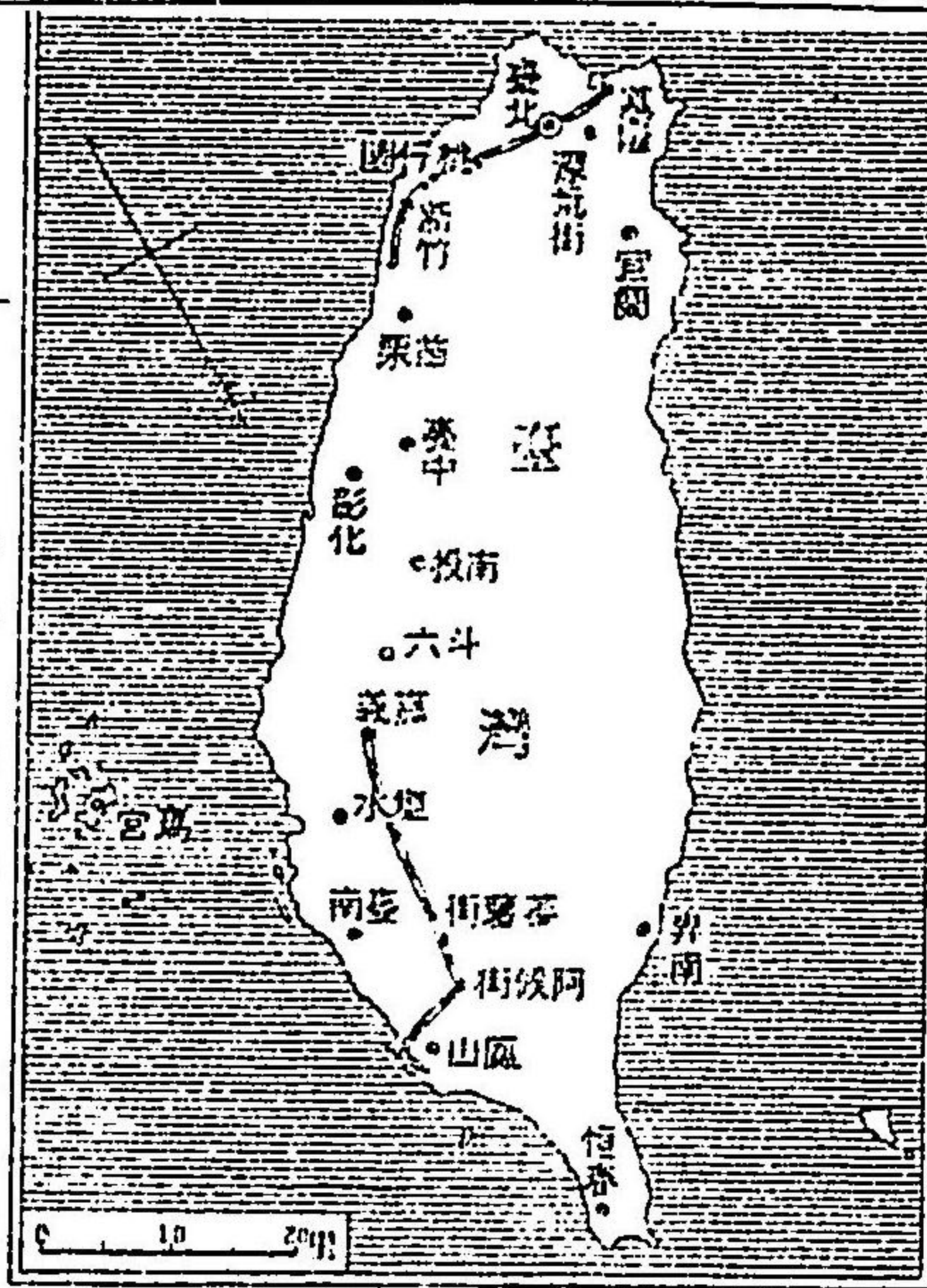
縣内主要の都會を鹿兒島・加治木・國分とす。皆鹿兒島灣頭に在りて、鐵道之れを連絡す。又縣の南部より種子屋久並びに



鹿兒島市街及び櫻島山の圖
城山公園より望みたる景色なり

奄美大島を経て沖繩に至る海底電線あり。鹿兒島市は島津氏の舊城下にして、城山を負ひ、櫻島を控ふ。第七高等學校造士館の設あり。薩摩飛白を産す。其の港には島津齊彬の築造に係れる波止場あり。神戸・沖繩・臺灣間の定期航路に當る。北東の國分は煙草の産を以て名高く、西方伊集院村附近には、薩摩燒の産あり。鹿籠の金山は其の南に當り、芹野金山は北西に當る。燒酎の産ある阿久根は尙其の北西に位す。又鹿兒島の南なる谿山は錫の産あり。

琉球及び臺灣

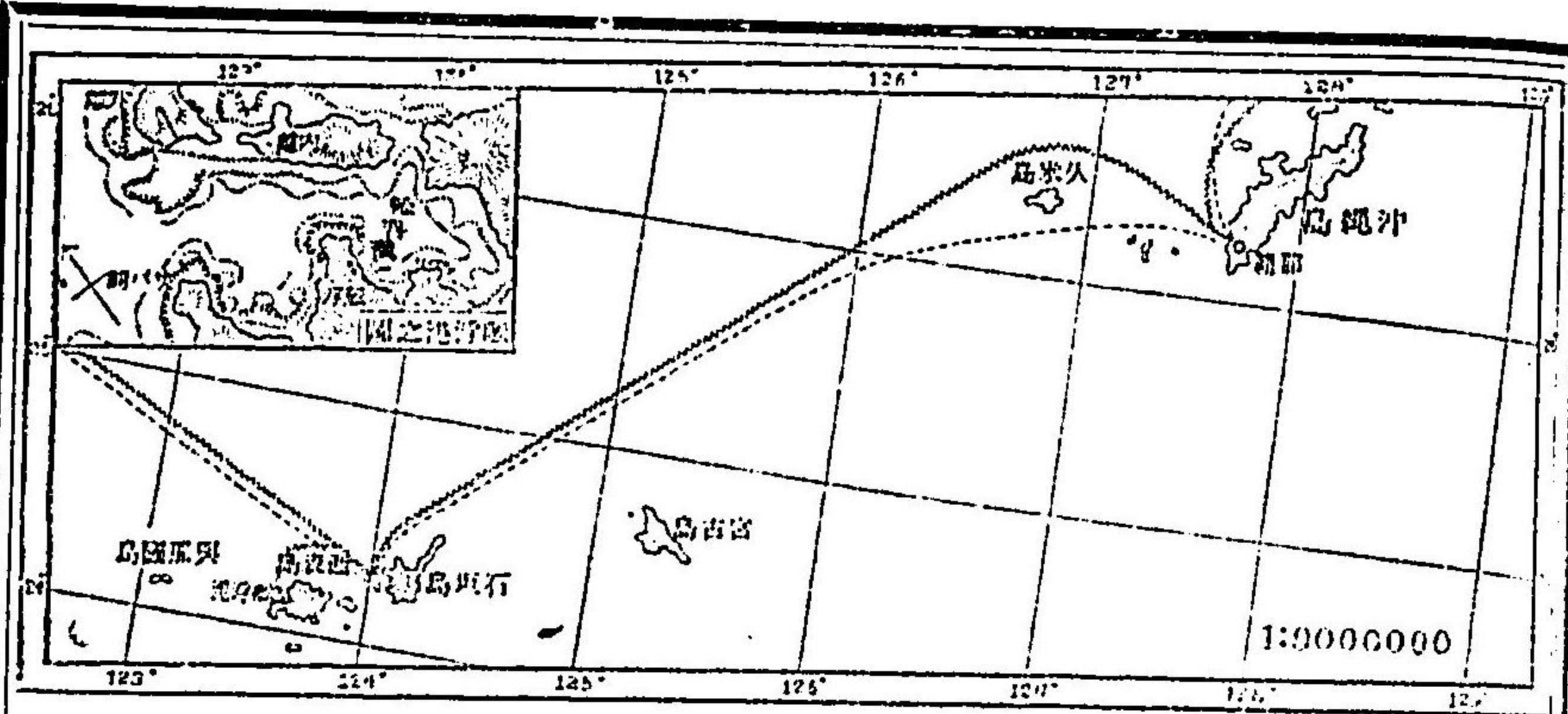


臺灣の海

きて、之を管治せしむ。臺灣は古の高砂にして、琉球の南西に位し、臺灣海峡を隔て、近く南清地方に接す。西に澎湖列島、南東に紅頭嶼、火燒嶼等の屬島あり。北方の臺北に臺灣總督府を置き、其の下に二十の廳を置きて之れを管治す。沖繩島には北東は奄美大島を経て鹿兒島縣に、南西は八重山群島を経て基隆に達する海底電線あり。更に臺灣には北

府縣名 所在地及び其の人口 海里程(汽車程)
 沖繩 那覇 三、五 鹿兒島 三、六
 臺灣 臺北 六、〇 沖繩 四〇四 鹿兒島 九、九
 總督府 臺北 一時一〇分

帝國の最も南西に位せる部分にして、琉球は薩南諸島の南西に連れる沖繩群島及び先島列島より成り、明治十二年以來沖繩縣を置



琉球の圖

部淡水より南清地方に通ずる一線と、南部安平より澎湖島に達する一線とあり。海上には大阪・沖繩間に定期航路あり。神戸・基隆間に門司を経由する直航の定期航路あり。門司・基隆間の海路七五〇哩、約四日にして達すべし。又沿海航路あり。鐵道は臺灣より基隆・淡水及び新竹の南なる中港に通じ、又臺南より嘉義・鳳山・打狗に至る。

沖繩縣 琉球は北東より南西に向ひて十里に亘れる、大小五十餘の島嶼より成る。北の沖繩群島は薩南諸島に接近する沖繩島を其の主島とし、南の先島列島は宮古列島と八重山群島とより成る。八重山群島の石垣島は、臺



琉球人の服装 東京帝國大學理科人類學教室所蔵

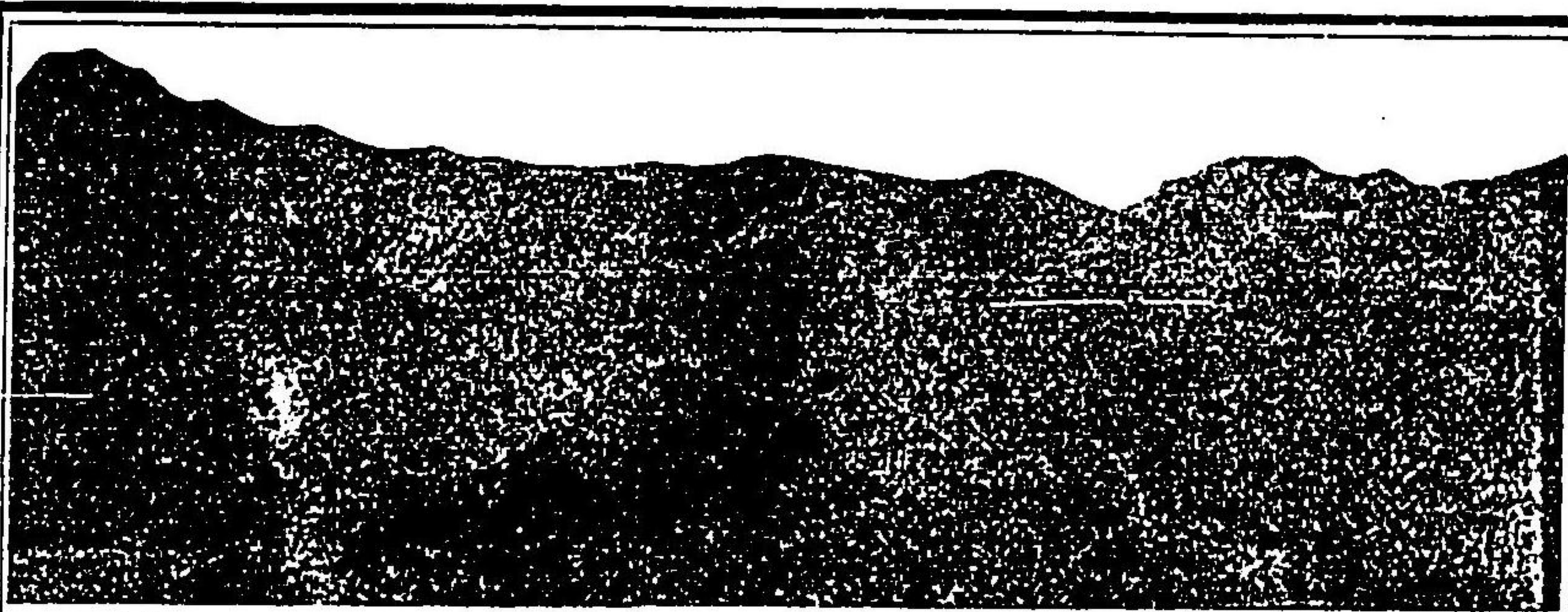
男は髪を髷にして、女は頭巾を用いて、物に載せ搬運し、専ら労働に服す

灣基隆港と相距ること一四二
哩なり。港は沖繩縣の北部に運
天港あり。南部には開港場那覇
港あり。西表島に船浮港あり。縣
下の三良港と稱せらる。地勢
は島形に従ひて丘陵連り平地
少し。地味穀類に適せず。住民は
甘藷を常食とし、多く豕を飼養
す。其の位置熱帯に近き海面に
在るを以て、氣候は熱くして、年
中降雪なく、寒暑の差少し。夏秋
の候屢、颶風襲ひ來るを以て、家
屋の構造低く、其の周圍に石垣

平野及び
河川の分
布は山の
位置及び
向に由る

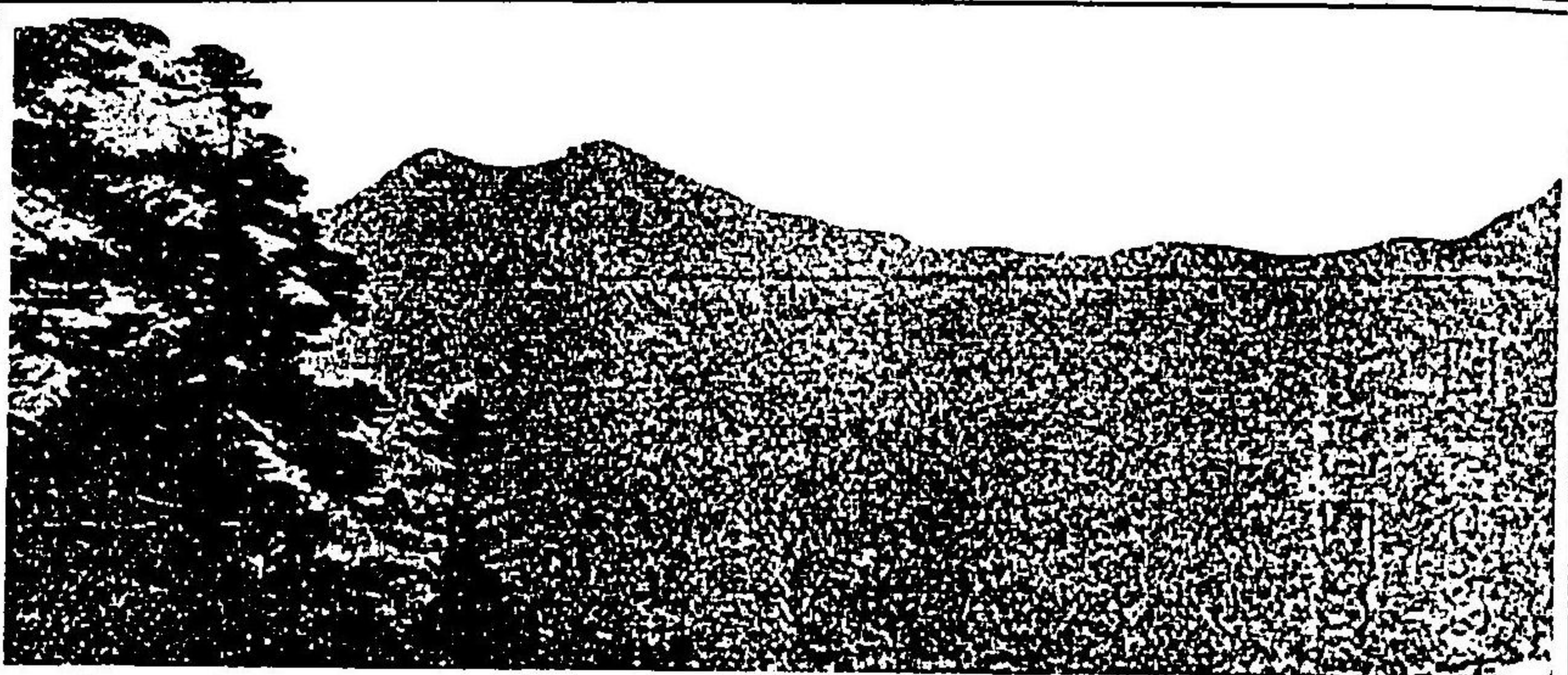
を廻らす。砂糖・甘藷を主産とし、又芭蕉布・飛白・紬・泡盛・漆器を
出す。那覇區は開港場の一にして、沖繩第一の繁盛地とす。
其の港は珊瑚礁を廻らし、海浪を防止すれども、水淺きを以
て大船は港外に碇泊するを常とす。砂糖・泡盛・飛白を輸出し、
米穀を輸入す。東方里許に首里あり。舊藩王尙氏の城地なり。
臺灣 地勢 臺灣の山系は數條の山脈より成る。東部に
連亘せるシルヴァ山脈は、北部に海拔一萬三千尺のシルヴァ
ア山を起し、其の南に當り新高山脈あり。島の殆ど中央部に
て海拔一萬四千尺以上に達し、帝國の最高地點たる新高山
を起す。以上を島中の主脈とす。又島の北端に近き大屯火山
帯は、脈を琉球北部より延きて、澎湖島に達す。

以上の山脈は本島の分水界を成し、之れによりて本島を東
西二部に分つ。西部は平野遠く連り、河川大に發達し。シルヴァ



新 高 山 全 景

ア山北麓の水を集めて、臺北の平野を北西流する淡水河、本島中部の水を集めて西流する西螺溪及び大突溪、新高山の南麓に發して南流する下淡水溪を其の最も大なるものとす。此等諸川の貫流する西部の平野は、風土大に開け、臺灣の首都臺北を初として、臺中、彰化、嘉義、臺南等繁盛の都會多し。此の平野を南北に縦貫すべき臺灣鐵道は、未だ完成に至らず。東部には西部の如き平野を見ず。河流も北に宜蘭の平野を東流する濁水溪、南部に卑南平野を南流する卑南溪及びこれと反對に北流する秀枯樂溪あれども、西部の河川の如く長大ならず。宜蘭、卑南の平野に、同名の市街あれども、風土未だ全く開けず。蕃人の住所となれ



新高山より望みたる景色なり

る所多し。

海岸 本島の海岸は最も單純にして、殆ど出入なく、岬は北端に**富貴角**あり。南端に南灣を擁する南西岬及び帝國の最南端なる南岬あるのみ。西岸は平坦にして砂丘大に發達すれども、尙淡水、鹿、安平、打狗等の諸港あり。東岸は險崖にして東岸第一の良港なる蘇澳灣の外、花蓮、卑南の二碇泊地あるに過ぎず。東岸一帯の海上には黒潮あり、北進して九州、四國の南岸に至る。

氣候 本島の南半は既に熱帯に入り、氣候は熱帯性にして、臺南は夏季三六度九に昇り、帝國中の最高温度に達す。風位は北部には冬季北東風多く、南部には夏季驟雨を伴ふ南西風あり。一般に夏秋の

候暴風あり。澎湖島は風力殊に強し。

産物 本島は植物の發育極めて盛んにして、平地には榕樹・樟樹・鳳梨・芭蕉等の熱帶植物繁茂し、高山地方には檜・檜等温帶植物の森林あり。耕地には主として米・茶・甘蔗を産す。米は一年二回の收穫あり。茶は北部に最も適して、四季共に摘葉することを得べく、甘蔗は南部に適す。礦産は基隆附近の砂金・石炭を主とし、大屯火山彙の硫黄之れに次ぐ。水産は概ね本州近海に異ならず。鰯・牡蠣の漁利多く、食鹽は政府の專賣たり。茶・砂糖・樟腦は本島主要の輸出品にして、茶は臺北附近を主とし、砂糖は臺南附近を第一とし、共に四百萬圓内外の産額あり。樟腦は中央部の苗栗附近最も盛にして、産額百五十萬圓に達す。又内地よりは穀物・酒・其の他の飲食物を、清國よりは臺灣人の嗜好する阿片及び綿布・毛布を淡水・安平・

塗葛窟を経て輸入す。

本島の住民は二百八十萬人あり。其の内、内地人は、四萬人あり。清國より移住せるもの、子孫、即ちいはゆる臺灣人大多數を占め、馬來種に屬する蕃人これに次ぐ。蕃人には臺灣人の感化を受けて、農耕を業とする熟蕃あり。又山間に住して漁獵を事とする生蕃あり。

臺北は本島の首府にして、臺北平野を流る、淡水河の上流新店溪・大嵙崁溪の相會する所に位し、總督府・覆審院・混成第一旅團司令部・國語學校及び臺北廳を置く。市街は周圍に石壘を繞らし四面に樓門を設く。附近の臺灣神社には、北白川宮能久親王を合祀す。北門外の**大稻埕**及び西門外の**艋舺**は烏龍茶の産出多く、其の集散甚だ盛なり。臺北の人口は此の二市街を合せて約六萬あり。淡水河口の**淡水港**は本島の

大輸出入港にして、茶・樟腦を輸出し、綿布・阿片等を輸入す。其の總額本島貿易の七割を占む。市街地滬尾には税關及び各國領事館あり。基隆港は本島の内地に對する重要な門口なるを以て、要塞の設あり。附近には石炭及び砂金の産地を控ふ。冬期風波荒れれども、大船の碇泊に適し、神戸直航の定期航海あり。又臺灣の東廻り及び西廻り航路の起點とす。臺中は臺北・臺南の中間にあり。混成第二旅團司令部・臺中廳を置く。市街は其の規模壯大なれども、居民多からず。附近一帶の平原は大肚溪・大甲溪の流域にして農産多く、大肚溪口の塗葛窟は開港場の一にして、其の貿易は淡水・安平に次ぐ。其の南にある鹿港は南清への最近海路に當り、支那船の出入多し。

臺南は製糖業の盛なる臺南平野にあり。本島第二に位する

都會なり。混成第三旅團司令部・臺南廳を置く。其の西に當れる開港場安平港は、水淺くして、貨物の陸揚に不便なれども、砂糖・樟腦の輸出多く、貿易の盛大なること淡水に次ぐ。南方下淡水溪の流域に鳳山あり。又砂糖を産す。打狗の南方、恒春半島の南部にある恒春は、帝國最南の一名邑にして、半島の中央には牡丹社あり。

澎湖列島は臺灣海峽の中心にある帝國南門の要地にして、大小四十七の島嶼より成る。澎湖・漁翁・白砂三大島の間に碇泊極めて安全なる澎湖海を擁し、其の媽宮は開港場にして、要塞及び澎湖廳あり。諸島は一面に火山岩にて掩はれ、地勢概ね平坦にして、河流なく、又全く喬木を見ず。耕作物は只甘藷と落花生とあるのみ。

括論

り。
帝國の天産及び産業 帝國の地積は産業上左の區別あり。

イ		ロ		ハ		ニ		ホ		ヘ	
不生産地三七		山 林 四〇		耕 地 一三		牧場原野 五五		礦 區 一五		宅 地 一	
イ		ロ		ハ		ニ		ホ		ヘ	
不生産地三七		山 林 四〇		耕 地 一三		牧場原野 五五		礦 區 一五		宅 地 一	
面積 全面積一〇〇 生産地 六三											
表 較 比 積 面											

農業

農業 我が國古來瑞穂國と稱し、農を以て國の大本とせしかば、國民の大半斯業に従事す。農産の第一に位する米は産額五千萬石に達し、新潟・兵庫・愛知・福岡等肥沃の大平野を有する諸縣に多く、米質は三重・熊本・岐阜・兵庫・山口諸縣を最良とす。麥は其の産額略ぼ米の半額にして、茨城・埼玉・愛知・兵庫・熊本・千葉の諸縣産出最も多し。米麥は國民の常食に供する外、醸造の原料に供する額亦頗る多く、二百萬石に達す。茶は貿易の主要品にして、一千万貫の産出あり。臺灣は其の産額の四分一を占め、静岡・福岡・京都の諸地方これに次ぐ。本州北部は氣候寒冷なるを以て其の栽培に適せず。砂糖は其の原料に暖地に適する甘蔗と寒地に成長する甜菜との二種あり。白砂糖の産は臺灣に多く、白下は香川縣を第一とす。黒砂糖は沖繩・鹿兒島の二縣を推す。又北州にも多少の産出

あり。葉烟草は全国各地に産す。茨城・鹿兒島・徳島三縣の地味最も其の栽培に適し、良質の名あり。桑の栽培は福島・群馬・長野・埼玉の四縣最も盛にして、繭の産額も亦略ぼ之れに伴ひ、長野縣其の隨一に居る。綿は暖地の産にして、大阪・廣島・鳥取の地方に其の産多きも、全國の産額は僅か五百萬貫に満たず。それすら輸入品に壓せられて、年々減少の傾あり。大麻は栃木縣の地味最も能く適し、葉藍は徳島縣の重要物産す。又た沖繩縣に山藍、臺灣に木藍・山藍あり。近時外國産染料を輸入すること漸く多し。

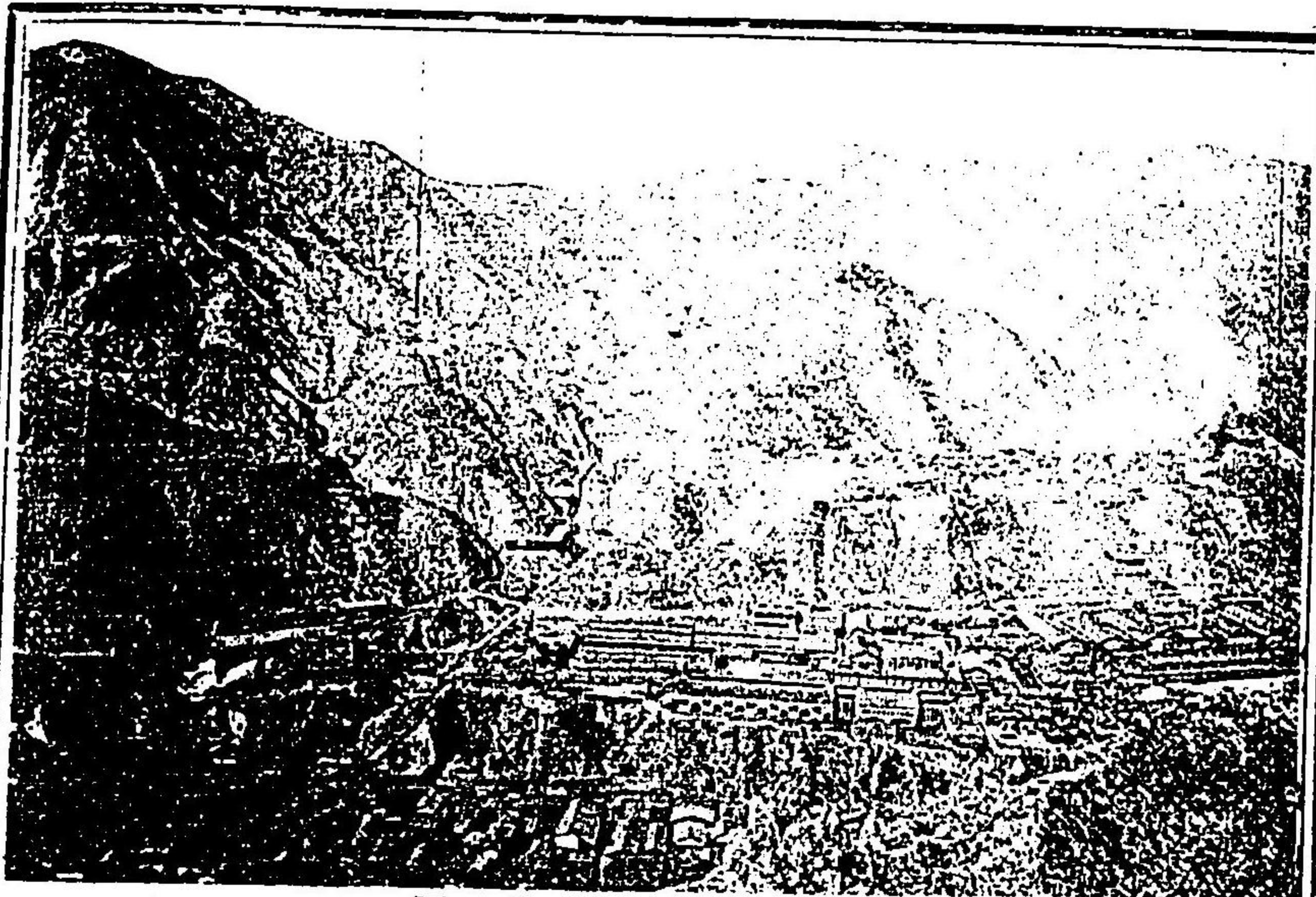
牧畜

牧畜業は未だ盛大ならず。馬は鹿兒島・熊本・巖手・福島の四縣に多く、牛は岡山・廣島・長崎・兵庫の四縣に多し。何れも八萬頭以上あり。南部馬・三春駒・但馬牛は良種と稱せらる。豚の飼養は九州・琉球・臺灣並びに千葉縣に盛なり。又臺灣には水牛多



筑前國和屋郡立花村國有林樟林の圖

し。養禽業は茨城・千葉及び中國の一部に稍盛なるのみ。林業 帝國は山林の地積最も多く、臺灣の平地及び沖繩・小笠原島は熱帯林に屬して、椰子・榕樹・檳榔あり。九州・四國及び本州の南部は暖帯林に屬して、櫛・椎の類繁茂し、其の南部及び臺灣には樟多し。其の他本州及び北海道の南部は温帯林にして、山毛櫸・檜・杉等あり。北海道の大部及び帝國の高山地方は寒帯林に屬し、蝦夷松・榎松等多く繁茂す。就中秋田・青森・天城・木曾・越中・大和・紀伊・日向・臺灣



足尾銅山の圖

一ヶ年産額一千一百萬斤を越ゆる第一銅山のり

等は最も森林に富み、松・杉・檜・樺等の良材を出す。副産物の重要なものは樟腦・檀蠟・漆汁等とす。殊に樟腦は世界唯一の産地にして、政府の専賣事業に屬す。礦産の多きは石炭・銅・銀・硫黄等にして、就中石炭・銅の二品を最とす。石炭は年産額七百萬噸に達し、福岡縣其の七割を占め、北海道・佐賀・長崎・福島の諸地方之れに次ぐ。銅の産出高は四千萬斤に上り、栃木・愛媛の二縣其の四割を占む。金は北州及び鹿兒島・新潟二縣を主と



赤穂鹽田の圖

所々に堆き海を蒸發せしめて砂の上を分選を留せしめためるものなり。こりなものを蒸發して後製す

す。北州は前途多望なり。銀は秋田・岐阜・岡山・兵庫を主産地とすれども、産額年々減少す。鐵は巖手縣を第一とす。島根・鳥取の砂鐵の産額亦多し。石油は新潟縣の獨占にして、硫黄は北州の釧路を推す。水産の豊富なるは世界屈指の一に居る。其の主なるものは鱈・鯉・鮪・烏賊・鰯・鰈・鮭・鱒・鱈・昆布等とす。其の漁場は北州及び千葉縣の沿岸を第一とす。製鹽業は瀬戸内海沿岸最も名高く、香川・山口・兵庫の三縣を其の主産地とす。工業中近年殊に發達せるを綿絲紡績業とす。其の他製絲業・織物業・窯業・漆器業亦盛大

なり。製紙業亦著く發達せり。綿絲業は現今七十八所の紡績工場を有す。大阪府其の全産額の三分一を占め岡山縣兵庫縣これに次ぐ。蠶絲は全國の産出額二百五十萬貫に及び、輸出品の第一位を占む。其の最も盛なるは養蠶の盛なる福島群馬長野埼玉の四縣にして、長野縣其の隨一に位し、群馬縣之れに次ぐ。織物業は其の總産額一億七千萬圓に達す。京都府の絹織物、群馬縣の絹綿交織、福井縣の羽二重、愛知縣の木綿織、滋賀縣の麻織等各特殊の長所を有す。東京、栃木、石川、大阪、埼玉、和歌山等の府縣亦之れに次ぎて盛なり。窯業は全産額七百萬圓に達し、愛知縣其の三割を占め、岐阜、阜、佐賀、京都、石川等の府縣之れに次ぐ。漆器業は和歌山縣を最とし、静岡、石川、京都、福島の府縣亦盛なり。其他製紙は高知、愛媛、岐阜、静岡に、墨表花筵は大分、廣島、岡山に、燐寸は兵庫、愛知

道路鐵道

青森下關
間は五十
時間程
とす

に、清酒は兵庫縣に、醬油は千葉縣に其產出盛なり。
帝國の交通 帝國の交通機關は維新以後長足の進歩を
なし、道路鐵道を始め、航海郵便電信の設備至らざるはなし。
道路は東京より伊勢神宮府縣廳開港場及び師團司令部に
至るまで、並びに府縣廳と師團司令部所在地との間に國道
を通ず。鐵道は既成線路四千餘哩に達し、官設線其の四分
一を占め、日本鐵道線之れに次ぐ。本州にては青森より東京・
大阪を経て下關に通ずる幹線あり。數多の支線之れと連絡
す。北州九州の一部にも亦鐵道能く發達す。四國・臺灣は最も
劣れり。而して東京大阪は此の交通線の中心となり、貨物の
集散極めて多く、名古屋は其の中間に在りて、兩地より十時
間以内にて達すべし。目下鐵道の便なき地方は島根・高知・宮
崎・沖繩の四縣のみとす。

水運

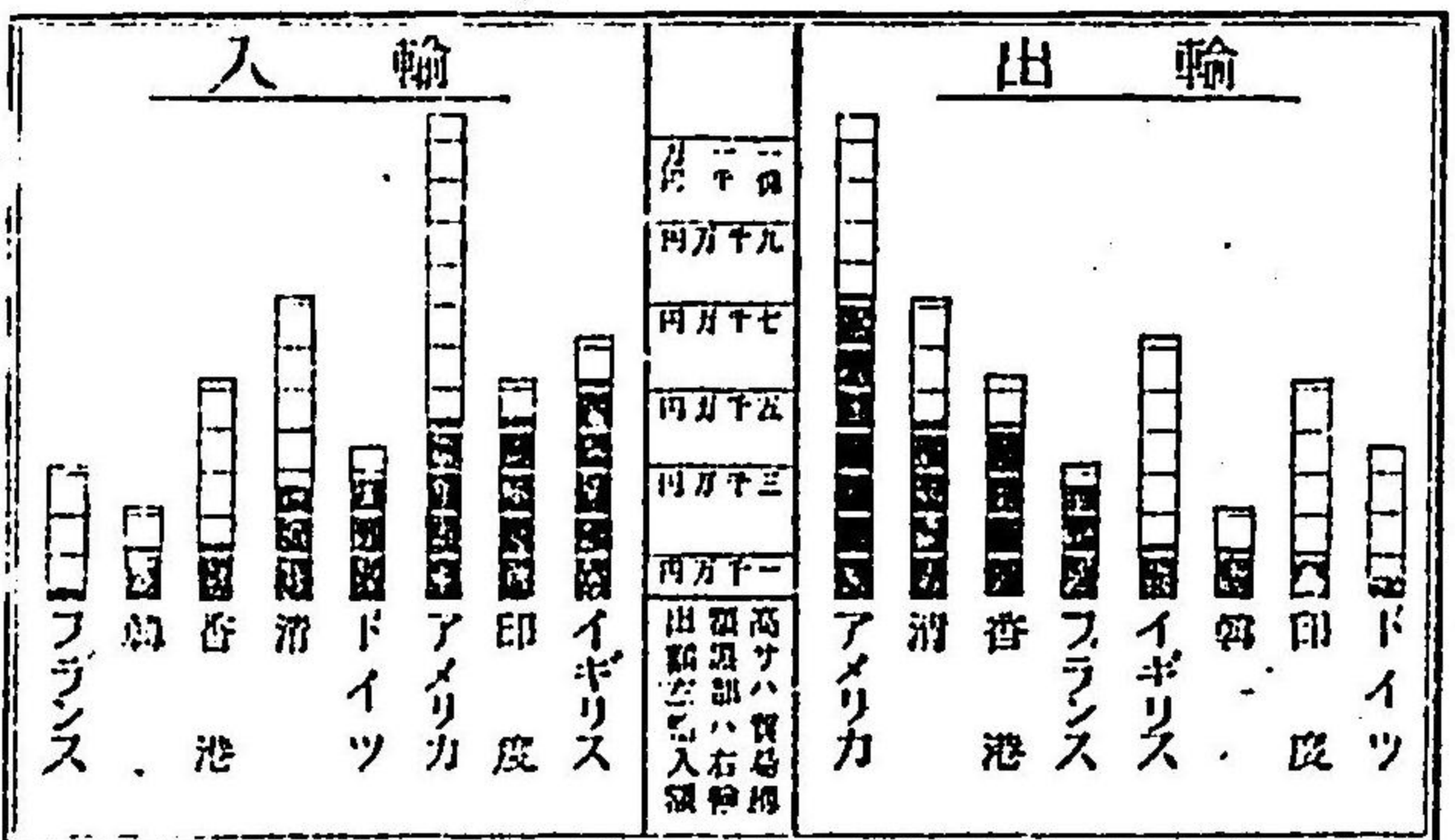
水運は沿海航路を始めとし、明治二十七八年役以後船艦の増加に伴ひて、外國航路の航海亦大に發達の機運に向ひ、現今内外諸港を往復するもの汽船千四百隻、帆船四千隻あり。されども外國取引の貨物輸送は今尙ほ外國船に依れるもの多し。現時帝國の海運を左右する汽船會社は日本郵船會社、大阪商船會社とす。東洋汽船會社亦主要の航路を有す。又大家氏は近年日本海線の航路を開きたり。

郵便電信は各地通ぜざる所なく、殊に帝國郵便は清韓兩國にも其の線路を延長し、北京、上海、京城等に及ぶ。電話は都會に普く架設せられ、東京、神戸間には長距離電話の便あり。

帝國の商業貿易 内國商業は東京、大阪を大中心市場とし、横濱、神戸と相待ちて全國の商業を支配す。本州中部の京都、名古屋、静岡、金澤、新潟、奥羽の仙臺、中國の岡山、廣島境、北州

内國商業

表 較 比 別 國 入 出 輸



外國貿易

二千萬圓の輸入超過あり。而して横濱、神戸は其の七割餘を占む。輸出は横濱を最とし、輸入は神戸を第一とす。其の商品は生絲、綿絲及び綿布、絹布、石炭、茶、金屬及び金屬器等を主要

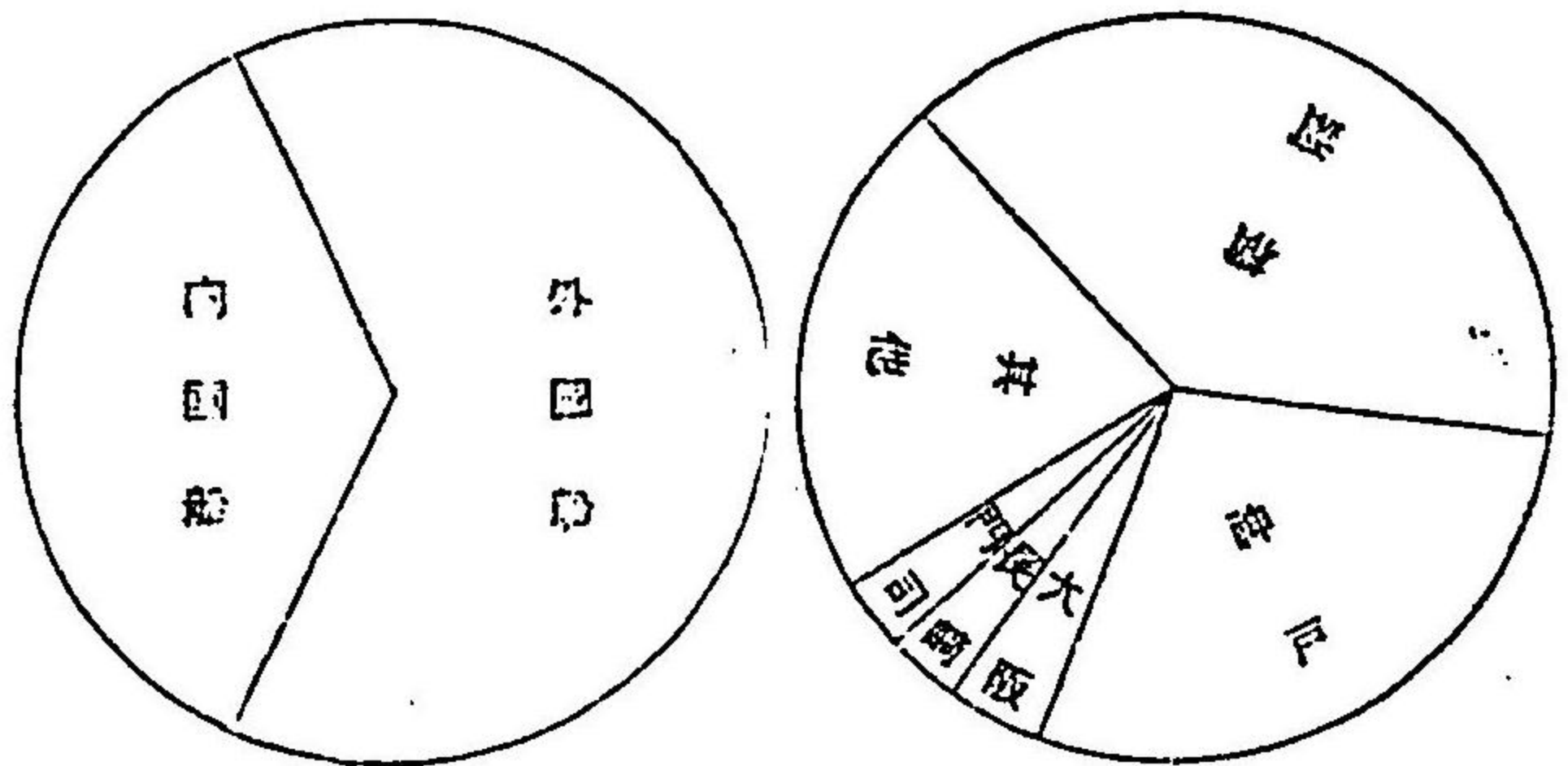


表 較 比 格 價 積 船

表 較 比 別 港

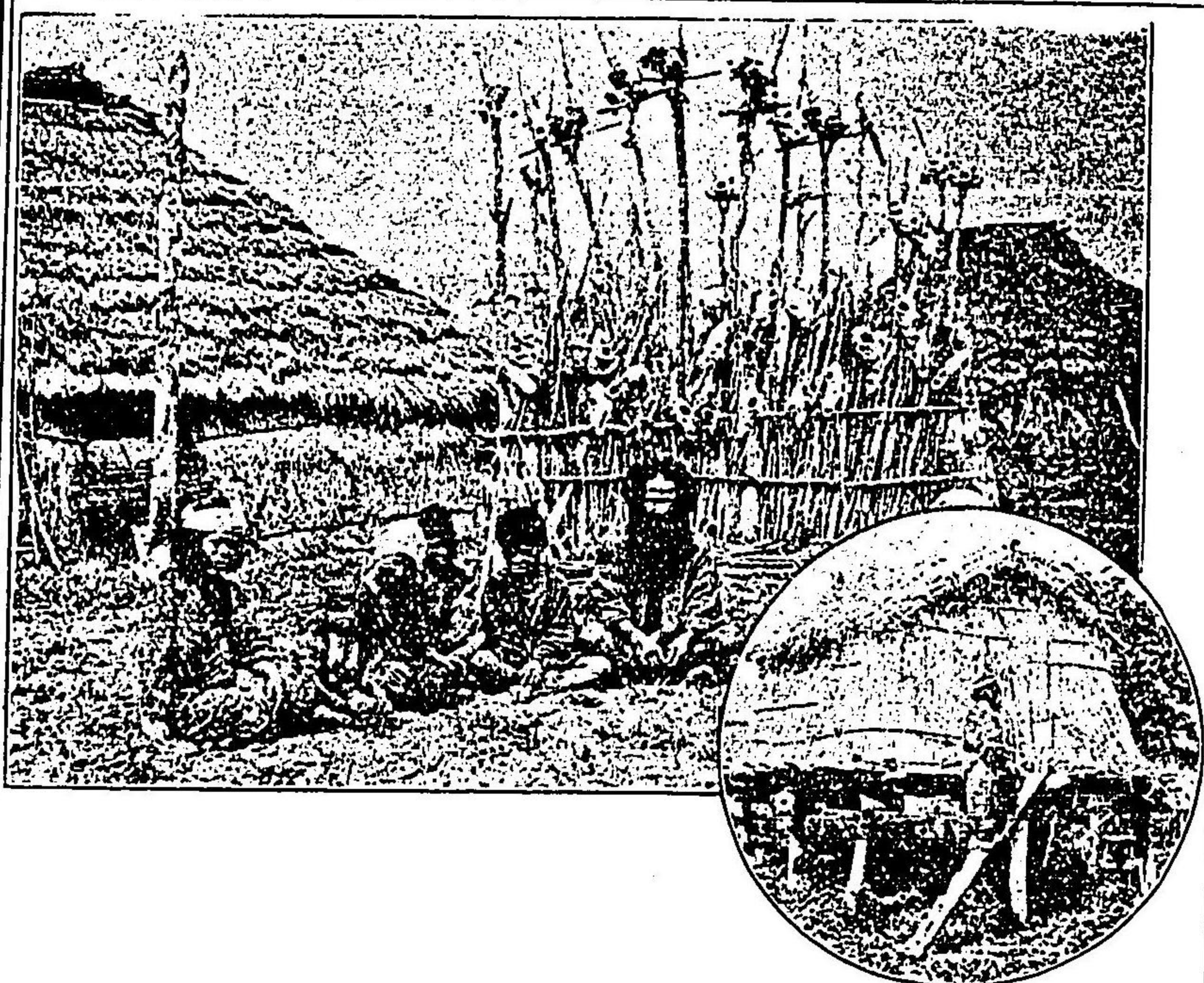
の函館、四國の徳島、九州の福岡、長崎等最も樞要の地位にあり。米、酒、生絲、綿絲等を其の重要なる商品とす。

外國貿易は三十三個の開港場及び八個の特別開港場(臺灣)にて行はる。明治三十四年の貿易總額五億七千萬圓に達し、

人口

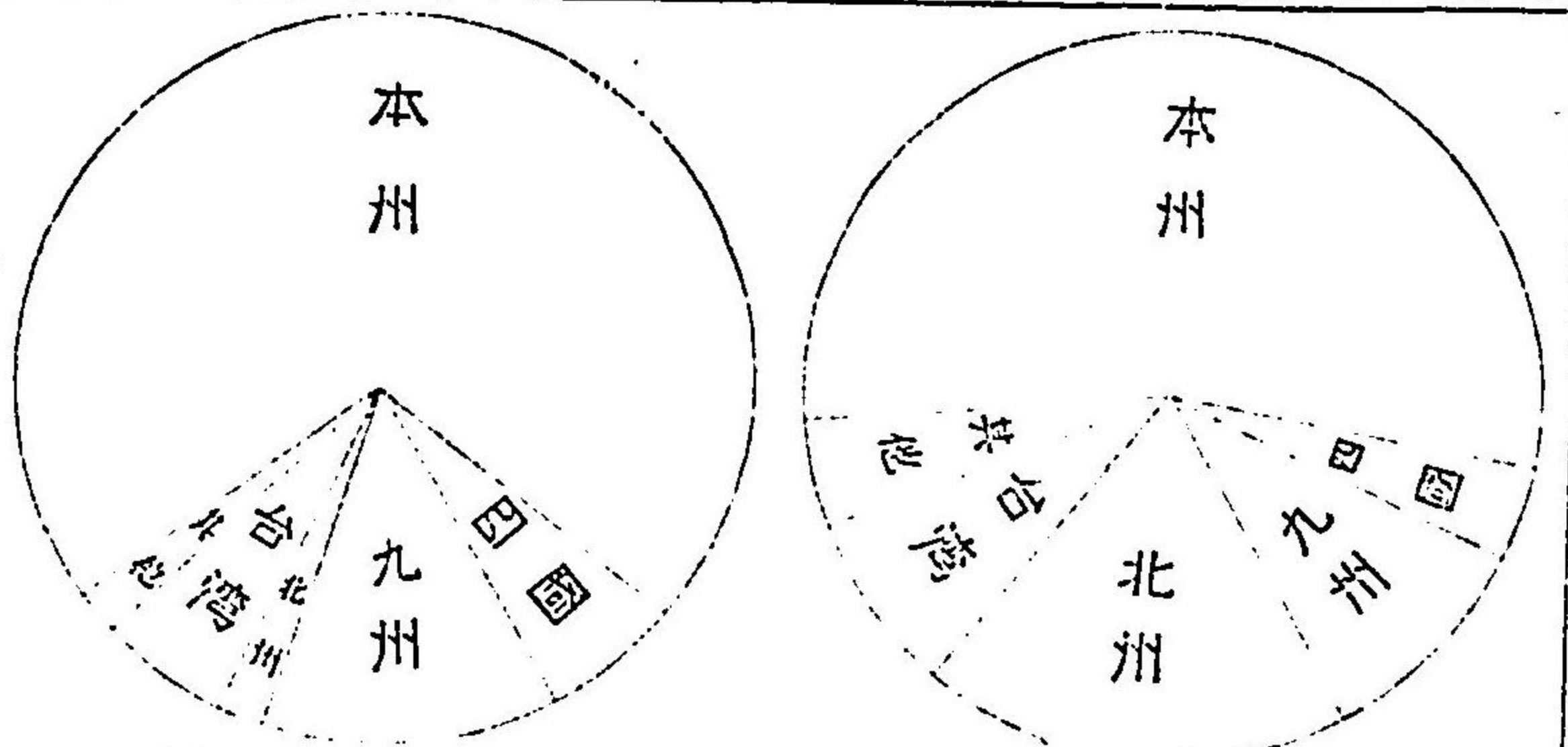
輸出品とし、綿鐵類、砂糖、穀物及び粉類、毛絲、毛織物、石油機械類等を主要輸入品とす。貿易國は通商條約を締結せる二十三國の中、米、英、領香港、清、佛、英を輸出國とし、英、米、清、獨、印度を主なる輸入國とす。金融機關の主要なるものは日本銀行及び横濱正金銀行とす。日本銀行は全國の金融を調理し、正金銀行は外國貿易上の機關となる。

帝國の人口 帝國の人口は四千七百萬にして、年々五十萬人づゝの増加あり。其の過半は本州に住居し、全人口の七割一分を占む北州は人口最も粗にして、僅に全人口の二分に過ぎず。之れをして全國平均密度に達せしめんには尙九百萬人を容るゝ餘地あり。各府縣に就きて之れを見れば、東京、大阪の二府は主要の大平野にあり。且つ大都を包有するを以て最も密にして、一方里に一萬三千乃至一萬五千あ



アイヌの住居及び其の器物の圖
 (東京帝國大學大科理學人類學教室所寫眞)

アイヌは全身多毛にして男子に鬚多し且つ之れを貴重す。女子は口邊に入墨を施す。風習粗野にして開化の度低し。男子は漁獵を事とし、弓箭に長じ、毒矢を用ゐて熊を捕へ、嗜みて其の腦を生食す。衣服は楡樹の纖維にて織れるアツシを以て作り、左衽に着す。食物は百合の根にて製したる澱粉及び粟稗を用ゐる。男子は殊に酒煙草を嗜む。家は土中に柱を建て、茅を以て葺く。大抵「ブ」を稱する物置あり。其の構造は床を高くし鼠害を防ぐべき用意をなせり。現今其の部落は日高國沙流川沿岸の平取及び附近に多し。



人口の百分比の圖 面積の百分比の圖

面積(百方里) 百分比 人口(萬) 百分比

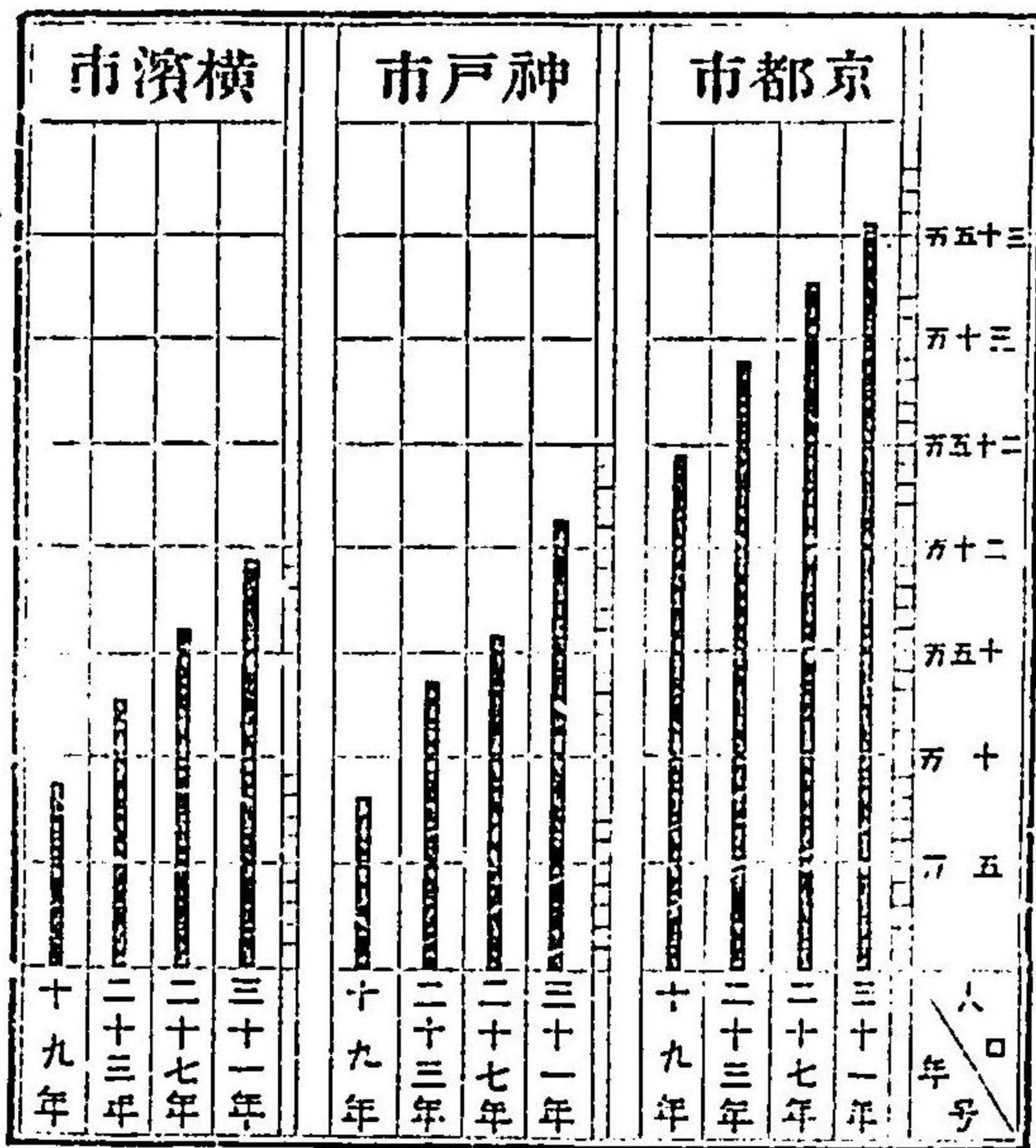
本州	一四六	五四	三三五	七一
四國	一一	四	二九三	六
九州	二六	一〇	六四二	二三
北州	五一	一九	八四	二
臺灣	二三	八	二七六	六

宮崎の二縣は最も粗にして、僅に七百九十三乃至九百四十一に過ぎず。近時又商工業の發達と共に都會の人口激増の勢あり。殊に横濱・神戸・小樽・門司等の貿易港を著しとす。又全人口の内臺灣人二百八十萬人、蕃人十三萬人あり。又アイヌ族一萬七千人あり。其の他現今外人の在留するもの一萬三千人あり。清國人其の過半を占め、英人・米人之れに次ぐ。其の多數は横濱・神戸・長崎に居



臺灣蕃人及び其の跡の圖

臺灣の生蕃は其の種族十以上に及ぶも、何れも馬來種に屬す。只風俗言語の相違あるのみ。圖に示せるは北部に住して自らタイヤルと稱する生蕃の男女にして、男は頭部に鉢巻を用ひ、額及び下顎に直線狀の跡を施し、女は兩頬に網狀の跡を施す。又耳朶に小き管を嵌入して裝飾とす。好みて烟草を用ひ、衣は筒袖の上衣を用ひ、又粗き毛布を纏ふ。性質最も慷慨にして、盜に首狩を行ふ。



人口増加の割合を示す図

住す。帝國の教育 初等教育に屬
 初等教育する小學校は寒村僻邑
 と雖其の設あらざるはなく、其
 の數三萬に達せんことす。されど
 も學齡兒童中には尙一割八分
 中等教育の不就學者あり。中等教
 育は近年長足の進歩をなし、中
 學校高等女學校の設立多し。高
 等教育には東京・仙臺・京都・金澤・熊本・岡山・鹿兒島・山口に各一
 個の高等學校ありて、大學に入るべき豫備教育を施し、又高
 等専門の學術を教授す。東京・京都に帝國大學あり。東京帝國
 大學は法・理・醫・文・工・農の六分科大學より成り、京都帝國大學

専門教育

は法・醫・理工の三分科大學より成る。其他特殊専門の教育
 には東京・廣島に各一個の高等師範學校あり。札幌に農學校
 あり。盛岡に高等農林學校あり。東京・神戸に各一個の高等商
 業學校あり。又東京に商船學校・外國語學校・美術學校・音樂學
 校あり。千葉・仙臺・岡山・金澤・長崎に各一個の醫學専門學校あ
 り。東京・大阪に高等工業學校、京都に高等工藝學校あり。臺灣
 に國語學校あり。又陸海軍將校の養成を目的とするものには
 陸軍大學校・海軍大學校・陸軍士官學校・海軍兵學校あり。華
 族の子弟を教育するが爲には東京に學習院・華族女學校あ
 り。又各府縣には師範學校、並びに實業教育を主とする諸學
 校の設少からず。其の他東京には帝國圖書館を初め、許多の
 私立圖書館あり。教育博物館あり。東京・京都・奈良には帝室博
 物館あり。新聞・雜誌の刊行も亦年々増加せり。

神社

帝國の神社及宗教 我が國俗古來國家人民の爲に鴻業偉勳を建てたる人をば尊崇して、神をなし、社殿を建立して、永く報本反始の志を表はすの風あり。近くは故北白川宮を臺北に奉齋して、臺灣神社に合祀せられたるが如し。従ひて伊勢内外宮・熱田・出雲・賀茂・石清水・鹿島等を初とし、大小の神社各地に多し。又東京九段坂上の靖國神社は維新後國事に死したる人々を合祀せる所なり。神社には社格を定められ、官幣社・國幣社・府縣社等の區別あり。

宗教

宗教は、神道・佛教・耶蘇教あり。神道は我が國固有の教義を説き、十數派に分る。佛教は眞宗・曹洞宗・眞言宗・淨土宗・臨濟宗・天台宗等十二宗に分れ、夙に我が國に傳來して、盛に國民を感化せしが、現時は其の勢稍衰へたり。耶蘇教には新舊等の數派あり。

政體

帝國の族制及び政體 帝國民には族制上皇族・華族・士族・平民の別あり。皇族は皇室典範に定められたる天皇の御一族とす。華族は其の爵に公・侯・伯・子・男の五等あり。社交上の地位高く、政治上多少の特權あり。士族・平民の間には全く此の區別なし。

立法

政體は東洋唯一の立憲君主制にして、萬世一系の 天皇は國の元首として、國家の統治權を總攬し給ふ。其の下に立法・行政・司法の三大機關、及び重要な國務を諮詢せらるゝ樞密院、及び會計の監督に任ずる會計検査院あり。

立法權は帝國議會之れに參與す。帝國議會は貴族院・衆議院より成る。貴族院は皇族・公・侯爵・同爵者中より選舉せられたる伯・子・男爵・勳勞若くは學識若くは各府縣多額納稅者の互選に由りて、勅任せられたる議員を以て組織し衆議院は選